

平成22～24年度プロジェクト研究「Co-teaching スタッフや外部人材を生かした学校組織開発と教職員組織の在り方に関する総合的研究」成果報告書

学校教育における外部セクターとの連携・協力に関する公私立中学校長の意識
～ふたつの調査の対比による17年間の変化～

平成25(2013)年3月

研究代表者 葉養正明
(国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部)

はじめに

本報告書は、全国の公私立中学校長を対象にした「学校における外部人材等の活用に関するアンケート調査」（平成 24 年 8 月実施、国立教育政策研究所）の結果をまとめたものである。平成 24 年 3 月に公にした「学校における外部セクターとの連携・協力に関する市町村教育委員会の意識調査」（平成 23 年 6～8 月実施、国立教育政策研究所）報告書の続編にあたる。

今回の調査についても、平成 23 年調査と同様に、「学校教育の多様化・弾力化を進めるための外部教育セクターとの連携・協力に関する研究」（平成 5・6 年度科学研究費補助金総合研究 (A)、研究代表者：市川昭午）との結果を対比するデザインのもとに進められた。およそ 17 年の変化を分析するためである。そこで、質問紙については、平成 6 年の調査とできるだけそろえることに配慮した。しかし、付加された質問文もあるが、基本的には同じ質問文を用いるという方針で実施されている。質問紙は巻末に掲載される。

コミュニティ・スクール構想に始まって、「新しい公共型学校づくり」、「地域とともにある学校づくり」に至るまで、学校と地域社会との連携・協力を深めようとする潮流は継続している。「開かれた学校づくり」という理念は、昭和 59 年に発足した臨時教育審議会の第三次答申で打ち出されたものであるが、市川科研で解明のすすめられた学校教育と外部セクターとの連携・協力の実態が、この 17 年間にどのように変化したのかの解明は、地域協働型の学校づくりを進めるためには欠かせない作業といってよい。停滞している分野、進捗している分野、後退した分野などを確認することで、その原因を探り、今後の地域協働型学校づくりを進めるための障害や懸案などを探る糸口が得られるからである。

本報告書は、プロジェクト研究「Co-teaching スタッフや外部人材を生かした学校組織開発と教職員組織の在り方に関する研究」（平成 22～24 年度）の一環であるが、市区町村対象調査の場合と同様、収集データの紹介に多くのスペースを要するため別冊の形式をとることにした。なお、本報告書はデータの紹介に力点を置き、考察等については本プロジェクト研究の最終報告書（平成 25 年 3 月）に譲ることとする。

今回の調査でも、全国各地の公私立中学校長には大きなご苦勞をおかけすることになった。にもかかわらず、誠心誠意回答づくりを進めていただいた先生方にはこの場をお借りし心より感謝申し上げたい。

本報告書が、ここ数十年間の教育改革の焦点になってきた「開かれた学校づくり」推進に際して役立てられれば幸いである。

平成 25 年 3 月

研究代表者 葉養 正明

*本報告書のデータ整理については、本研究所の研究補助者である西村吉弘、山中秀幸氏の尽力を得た。

目 次

I	平成6年と24年の調査のデザイン	1
II	平成6年と24年の調査結果の対比	3
III	単純集計結果	21
IV	平成24年調査のクロス集計データ	49
①	公立中学校長別	49
②	男女別	65
③	コミュニティスクールの指定	81
④	地方公共団体の種類	97
V	平成24年調査の調査票	121

I 平成6年と24年の調査のデザイン

- ① 平成6年11月実施（研究代表者：市川昭午、科学研究費補助金総合研究（A）「学校教育の多様化・弾力化を進めるための外部教育セクターとの連携・協力に関する研究」＜平成5～6年度＞）
 - ・公立中学校長 600、私立中学校長 300 を対象とする郵送質問紙調査。
 - ・回答は全体で 722 件（回収率 80.2%）。公私別では公立 83.0%、私立 73.7%と公立が上回る。

- ② 平成24年8月1日～8月末実施（研究代表者：葉養正明、プロジェクト研究「Co-teaching スタッフや外部人材を生かした学校組織開発と教職員組織の在り方に関する研究」＜平成22～24年度＞）
 - ・公立中学校校長 1000（等間隔抽出法）、私立中学校長 381（悉皆調査）を対象とする郵送質問紙調査。
 - ・回答は全体で 896 件（回収率 64.9%）。公私別では公立 69.1%（691件）、私立 53.5%（204件）、不明 1件と公立が上回る。
 - ・質問紙は後掲。

II 平成6年と24年の調査結果の対比

【A】 学校の役割や任務と関連して

1, わが国の学校は多くの役割・任務を引き受けすぎており、「守備範囲」を縮小すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	95.0%	4.6
平成24年	94.4	5.5
私立中学校長		
平成6年	75.1	24.4
平成24年	71.6	27.0

2, 現在、学校が担っている役割や任務の中には、民間の機関や団体に委ねられる事柄が少くない。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	89.4%	10.4
平成24年	80.1	19.4
私立中学校長		
平成6年	68.8	30.3
平成24年	59.7	40.7

3, 学校と塾は協同できる面があると思う。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	27.3%	71.7
平成24年	50.2	49.5
私立中学校長		
平成6年	47.1	52.0
平成24年	72.6	25.5

4, 塾や予備校はわが国の教育において、きわめて大きな役割を果たしていると思う。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	34.7%	64.7
平成 24 年	60.7	39.0
私立中学校長		
平成 6 年	56.6	42.1
平成 24 年	78.4	21.0

5, 塾などの民間教育施設は、学校 5 日制の拡充に伴う「受け皿」としての役割の一端を担うことができると思う。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	18.1%	81.7
平成 24 年	50.2	49.3
私立中学校長		
平成 6 年	36.7	62.4
平成 24 年	57.1	41.9

6, いわゆるダブル・スクール現象は積極的に評価されて良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	17.5%	81.9
平成 24 年	22.8	75.4
私立中学校長		
平成 6 年	23.5	75.1
平成 24 年	29.4	69.6

7, 学校における生徒補導は、PTA などの地域パトロールに期待するところが大きい。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	69.3%	30.5
平成 24 年	49.5	49.9
私立中学校長		
平成 6 年	52.9	47.1
平成 24 年	44.1	55.4

【B】 学校教育への民間人の活用と関連して

8, 体育・音楽・美術などの教科の指導に際しては、できるだけ民間の専門家の協力を求めた方が良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	55.6%	44.2
平成 24 年	49.3	50.5
私立中学校長		
平成 6 年	63.8	35.8
平成 24 年	50.5	48.6

9, 校外ボランティアを教育委員会に登録し、学校教育の領域でも積極的に活用すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	84.9%	15.1
平成 24 年	91.6	8.1
私立中学校長		
平成 6 年	75.6	24.0
平成 24 年	74.5	23.5

10, 国際理解学習の拡充のためには、外国人留学生など民間人の貢献が不可欠である。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	81.9%	18.1
平成 24 年	77.3	22.4
私立中学校長		
平成 6 年	80.1	19.9
平成 24 年	82.9	16.2

1 1、場合によっては、塾や予備校の講師が学校で教えることがあっても良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	19.1%	80.7
平成 24 年	46.3	53.4
私立中学校長		
平成 6 年	30.8	68.3
平成 24 年	62.7	36.3

1 2、生徒相談はスクール・カウンセラーなど民間の専門家に期待するところが大きい。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	67.1%	32.5
平成 24 年	72.9	26.9
私立中学校長		
平成 6 年	80.1	19.5
平成 24 年	79.9	26.9

1 3、教員免許状がなくても、地域や民間の専門家が外部講師として大いに活用されて良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	85.3%	14.7
平成 24 年	81.9	17.9
私立中学校長		
平成 6 年	83.7	16.3
平成 24 年	83.9	15.2

【C】 教科の指導や教育活動と関連して

14, 「プール指導」は原則として民間の水泳教室やスイミング・クラブに委託した方がよい。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	45.6%	54.0
平成24年	44.3	55.0
私立中学校長		
平成6年	55.2	43.9
平成24年	52.4	44.7

15, 補習授業に際しては、塾や予備校の援助をうけることがあってよい。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	10.2%	89.0
平成24年	46.5	53.0
私立中学校長		
平成6年	25.3	73.8
平成24年	55.9	43.6

16, 高校では予備校の通信衛星授業が利用されて良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	32.1%	64.1
平成24年	60.3	36.7
私立中学校長		
平成6年	43.9	54.8
平成24年	54.0	45.1

17, 公立学校における外国人子弟の教育に際しては、民間の教育機関やスタッフの協力が不可欠である。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	88.4%	10.6
平成24年	88.6	10.5
私立中学校長		
平成6年	72.4	21.3
平成24年	72.1	16.2

18, 民間の機関や施設と連携して、勤労体験学習を積極的に推進すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	95.0%	7.5
平成24年	94.2	4.7
私立中学校長		
平成6年	85.1	14.5
平成24年	85.3	13.3

19, セカンド・スクール（移動学校・移動教室）の実施に当たっては、民間の教育機関や施設との提携も望まれる。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	93.6%	5.6
平成24年	88.9	10.2
私立中学校長		
平成6年	90.1	8.6
平成24年	88.7	9.3

20, スポーツ・芸術領域で才能豊かな生徒は、民間のクラブや団体に委託して、特別な教育・訓練が受けられるように公費で措置すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	56.2%	43.4
平成24年	63.7	35.3
私立中学校長		
平成6年	65.6	33.9
平成24年	67.2	30.4

21, 高校と専修学校・各種学校との単位の互換制度はさらに拡充される必要がある。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	89.0%	9.4
平成24年	83.6	13.4
私立中学校長		
平成6年	52.0	47.1
平成24年	51.4	46.1

22, 中学校についても、学校外における学習成果（英検・漢字検など）が教科活動の一部として認定されても良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	67.3%	32.3
平成24年	83.6	13.4
私立中学校長		
平成6年	82.8	16.3
平成24年	78.4	20.1

23, 塾などの民間教育施設における教育も、一定の条件さえ満たせば、フォーマルなものとして認められて良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	30.3%	69.3
平成24年	33.3	65.5
私立中学校長		
平成6年	31.2	67.4
平成24年	26.3	71.8

24, 学校掃除には教育的な意味があり、業者に委託することは望ましくない。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	85.5%	14.1
平成24年	83.7	15.6
私立中学校長		
平成6年	84.2	15.4
平成24年	77.5	20.6

25, 不登校児に対する教育に関しては、塾など民間教育施設に期待するところが大きい。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	47.6%	52.0
平成24年	48.4	50.8
私立中学校長		
平成6年	57.0	41.6
平成24年	61.2	36.3

【D】 進路指導・入試・テストなどに関連して

26, 進路指導にあたっては、塾や予備校の進学・受験情報を大いに活用するべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	13.1%	86.6
平成24年	45.0	54.6
私立中学校長		
平成6年	61.5	37.1
平成24年	81.8	18.1

27, いわゆる業者テストには効用があり、一定の条件付きで、学校が利用するのは構わないと思う。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	42.8%	56.6
平成24年	88.5	11.3
私立中学校長		
平成6年	65.2	33.9
平成24年	93.2	6.4

28, ケースによっては、学内テストの採点を一括して業者に委託することが考えられても良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	19.1%	80.5
平成24年	50.1	49.8
私立中学校長		
平成6年	16.7	81.9
平成24年	24.5	75.5

29, 補助教材やテストは業者の作成にかかるものを利用した方が良いと思う。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	22.7%	75.9
平成24年	49.9	49.8
私立中学校長		
平成6年	30.8	67.9
平成24年	34.3	65.2

30, 入試に際しては、ボランティア活動など学校外における活動が考慮されて良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	76.9%	22.3
平成24年	81.8	18.0
私立中学校長		
平成6年	58.4	40.7
平成24年	65.2	34.8

【E】 部活動と関連して

3 1, 部活動はほんらい各学校で行われるべきではなく、地域の教育・文化・スポーツ活動の一環として位置づけられることが望ましい。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	62.1%	37.4
平成 24 年	50.8	48.9
私立中学校長		
平成 6 年	33.0	66.1
平成 24 年	27.9	72.0

3 2, 学校教育上、部活動はきわめて重要な役割を果たしており、今後も存続させるべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	65.1%	34.3
平成 24 年	81.3	18.4
私立中学校長		
平成 6 年	81.9	16.7
平成 24 年	84.8	15.2

3 3, 部活動はほんらい学校の役割とは言えず、徐々に縮小すべきだと思う。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	57.8%	41.6
平成 24 年	34.3	65.7
私立中学校長		
平成 6 年	26.2	72.4
平成 24 年	17.2	82.3

34、学校における部活動は原則として廃止し、地域や民間の団体に委ねた方が良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	44.6%	54.6
平成24年	29.0	71.1
私立中学校長		
平成6年	15.4	82.8
平成24年	14.2	85.8

35、現在のように学校単位で部活動を行うのではなく、地域の複数の学校が共同で実施するシステムが考えられて良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	60.2%	39.2
平成24年	66.9	32.9
私立中学校長		
平成6年	39.4	59.3
平成24年	44.6	54.9

36、部活動の指導者として、地域や民間の専門家を積極的に活用すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	84.7%	14.9
平成24年	82.2	16.4
私立中学校長		
平成6年	76.5	22.6
平成24年	75.8	22.3

37, 部活や生徒会のリーダーに民間の機関や施設で研修を受ける機会が与えられた方が良い。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	75.5%	23.7
平成24年	72.8	24.2
私立中学校長		
平成6年	70.6	28.5
平成24年	74.0	21.5

【F】 学校施設・設備の管理や利用と関連して

38, 学校の警備や施設・設備の管理は原則として全面的に民間に委託すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	79.7%	19.7
平成24年	83.6	16.0
私立中学校長		
平成6年	60.6	38.9
平成24年	54.4	44.6

39, 地域の教育・文化・スポーツ活動のために、学校の施設・設備をもっと積極的に開放すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	86.6%	13.1
平成24年	76.4	23.4
私立中学校長		
平成6年	69.7	29.4
平成24年	64.2	35.3

40, 多様な教育活動を展開するために、民間の施設・設備をもっと活用すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	95.4%	3.8
平成24年	94.9	4.9
私立中学校長		
平成6年	93.2	5.9
平成24年	92.2	7.9

【G】 教員養成や教員研修と関連して

4 1, 教員研修に際しては民間の講師を大いに活用すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	97.0%	2.6
平成 24 年	89.2	10.5
私立中学校長		
平成 6 年	95.9	3.2
平成 24 年	89.7	9.8

4 2, 民間機関や施設での教員研修が積極的に推進されるべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	95.0%	4.6
平成 24 年	86.8	12.9
私立中学校長		
平成 6 年	91.9	6.8
平成 24 年	89.2	9.8

4 3, 教員養成の過程において民間での教育・訓練を制度化することが必要だと思う。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 6 年	76.5%	23.1
平成 24 年	67.2	32.4
私立中学校長		
平成 6 年	68.3	29.4
平成 24 年	62.2	36.8

【H】 学校給食・食堂などに関連して

44、小・中学校における給食指導は、教育活動の一環をなしており、学校給食は今後も原則として存続させる必要がある。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	47.0%	52.6
平成24年	76.6	16.4
私立中学校長		
平成6年	35.8	62.9
平成24年	57.3	39.2

45、高校ではもちろん、中学校でも可能な限り民間経営の食堂を設けるのが望ましい。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	44.4%	54.8
平成24年	41.0	58.6
私立中学校長		
平成6年	65.2	33.9
平成24年	64.0	35.1

46、学校食堂・売店・カフェテリアなどは原則として民間に委託すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成6年	66.1%	31.1
平成24年	71.8	26.9
私立中学校長		
平成6年	82.4	16.3
平成24年	79.9	18.6

【I】 学校事務

47, 学校事務職を教職員の中の不可欠な人材として重視する立場から、民間（外部）委託の可能な分野については積極的に委託し、教育事務的な役割を拡大すべきである。

	肯定的な評価	否定的な評価
公立中学校長		
平成 24 年	68.0%	28.9
私立中学校長		
平成 24 年	60.3	37.3

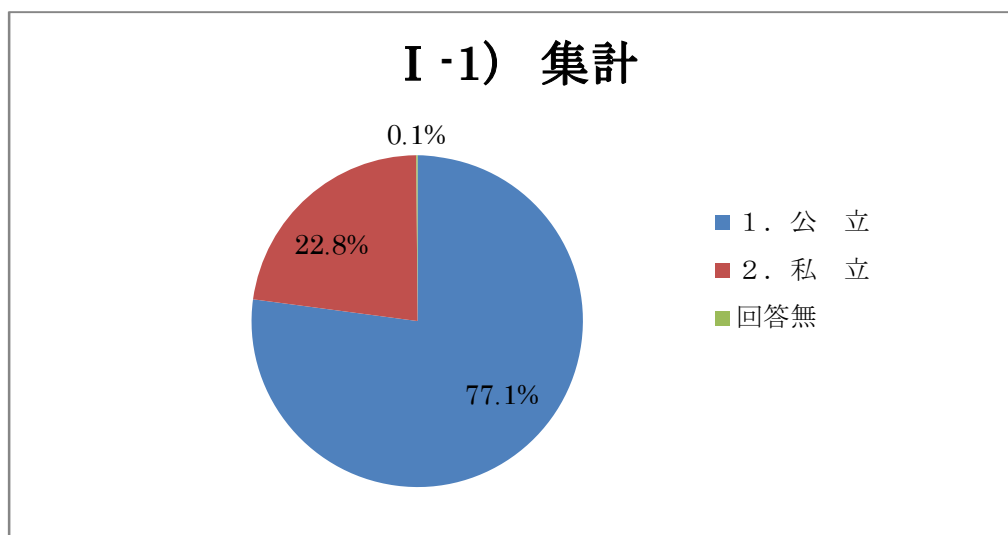
48, 学校事務の民間（外部）委託の現状についてどのようにお考えですか。

	公立校	私立校
ほとんど外部委託せず、専任職員が担当している。	94.3%	61.8
人材派遣のみ活用している。	1.7	15.4
定型的な業務の処理に係わる部分だけ民間（外部）委託している。	1.0	20.1
その他	1.8	1.5

Ⅲ 平成24年調査の単純集計結果

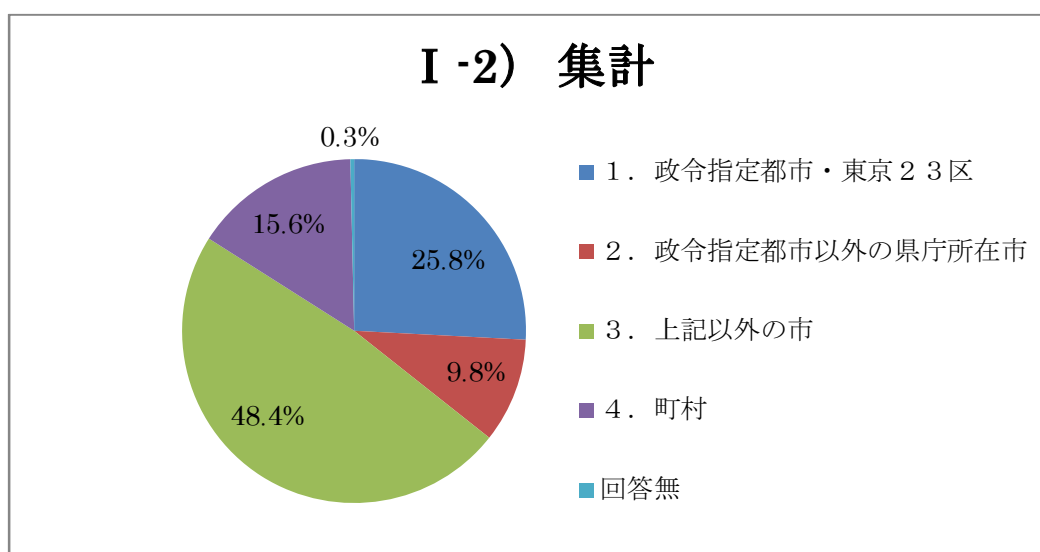
I-1)

勤務校の種類	集計	%
1. 公立	691.0	77.1%
2. 私立	204.0	22.8%
回答無	1.0	0.1%
総計	896.0	



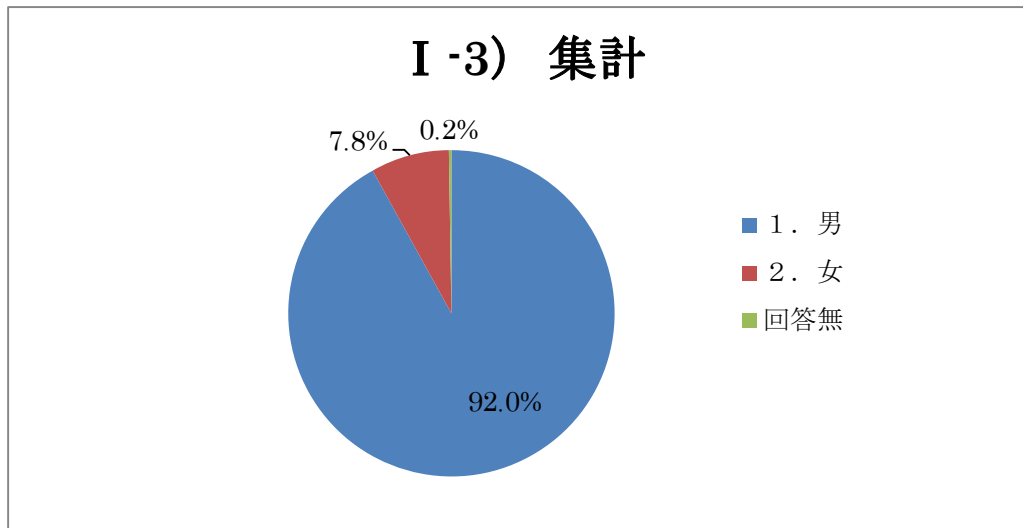
I-2)

学校が所在する地方公共団体の種類	集計	%
1. 政令指定都市・東京23区	231.0	25.8%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	88.0	9.8%
3. 上記以外の市	434.0	48.4%
4. 町村	140.0	15.6%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



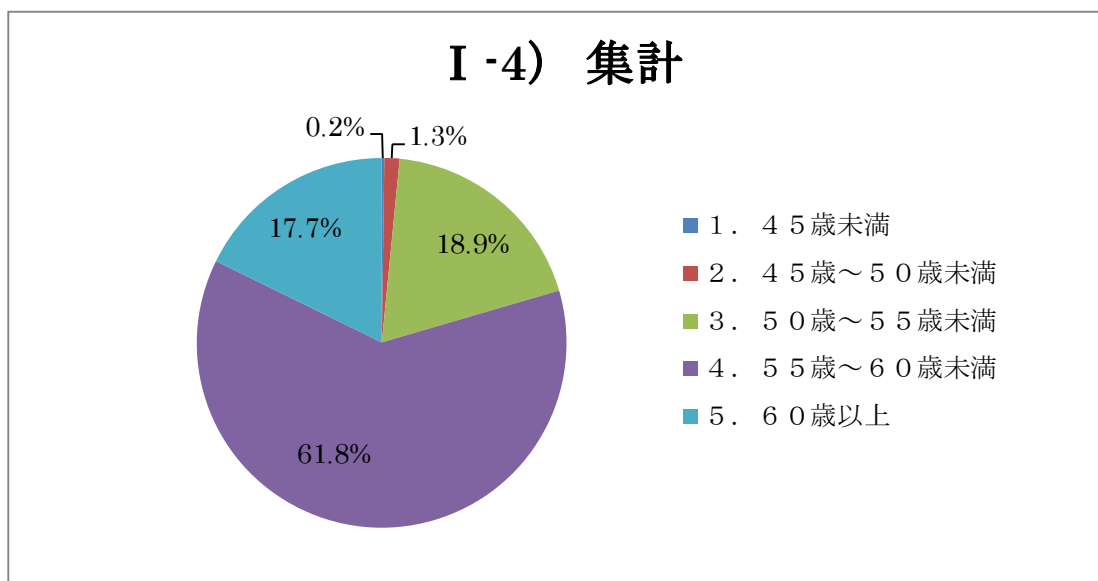
I-3)

性別	集計	%
1. 男	824.0	92.0%
2. 女	70.0	7.8%
回答無	2.0	0.2%
総計	896.0	



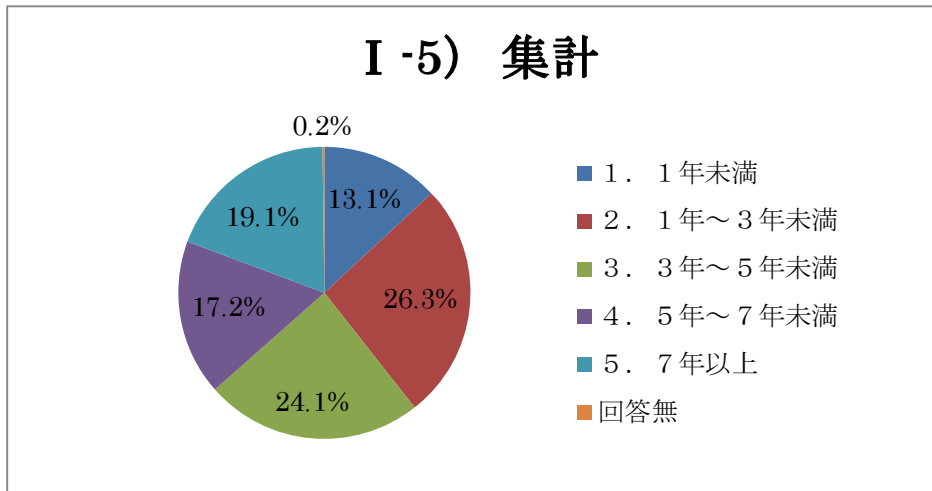
I-4)

年齢	集計	%
1. 45歳未満	2.0	0.2%
2. 45歳～50歳未満	12.0	1.3%
3. 50歳～55歳未満	169.0	18.9%
4. 55歳～60歳未満	554.0	61.8%
5. 60歳以上	159.0	17.7%
総計	896.0	



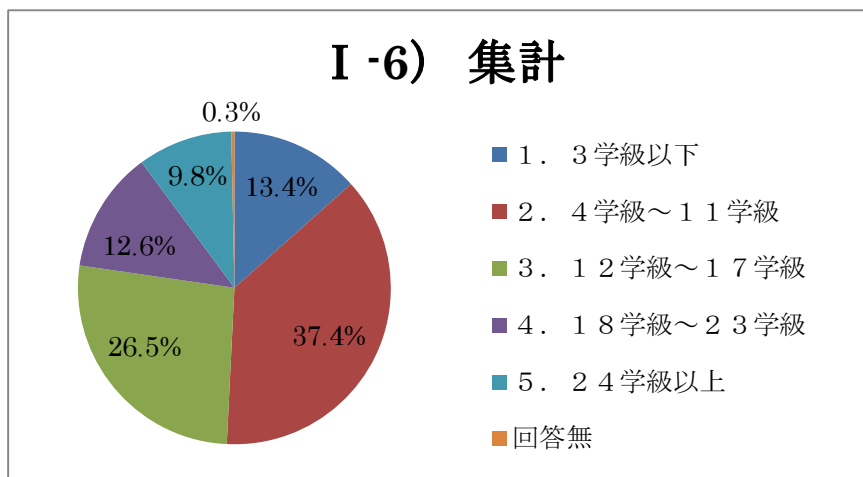
I-5)

校長としての在職年数	集計	%
1. 1年未満	117.0	13.1%
2. 1年～3年未満	236.0	26.3%
3. 3年～5年未満	216.0	24.1%
4. 5年～7年未満	154.0	17.2%
5. 7年以上	171.0	19.1%
回答無	2.0	0.2%
総計	896.0	



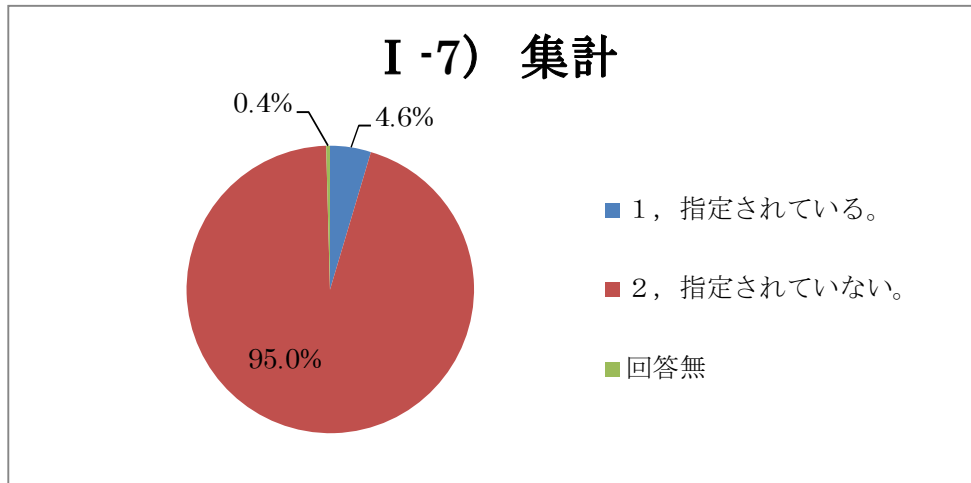
I-6)

学級数 (特別支援学級は含まない)	集計	%
1. 3学級以下	120.0	13.4%
2. 4学級～11学級	335.0	37.4%
3. 12学級～17学級	237.5	26.5%
4. 18学級～23学級	113.0	12.6%
5. 24学級以上	87.5	9.8%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



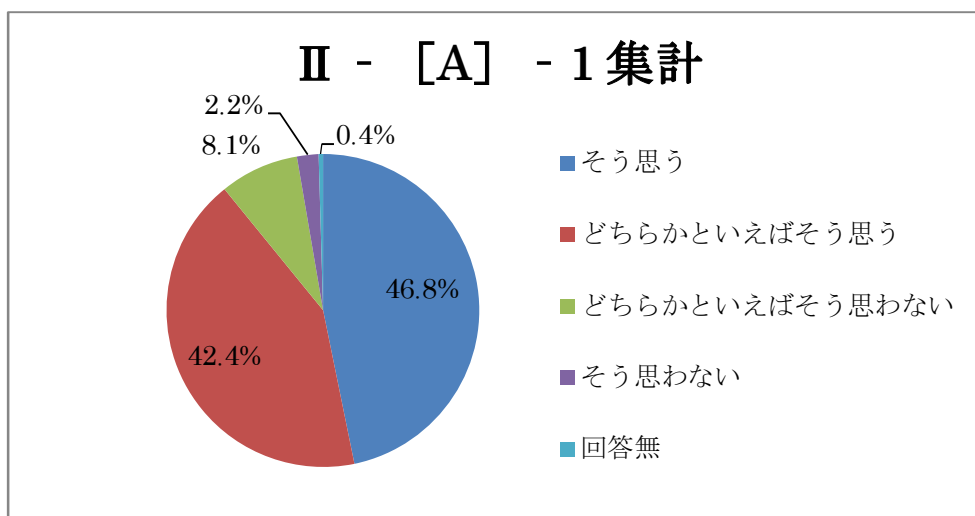
I-7)

コミュニティ・スクールとしての指定	集計	%
1, 指定されている。	41.0	4.6%
2, 指定されていない。	851.0	95.0%
回答無	4.0	0.4%
総計	896.0	



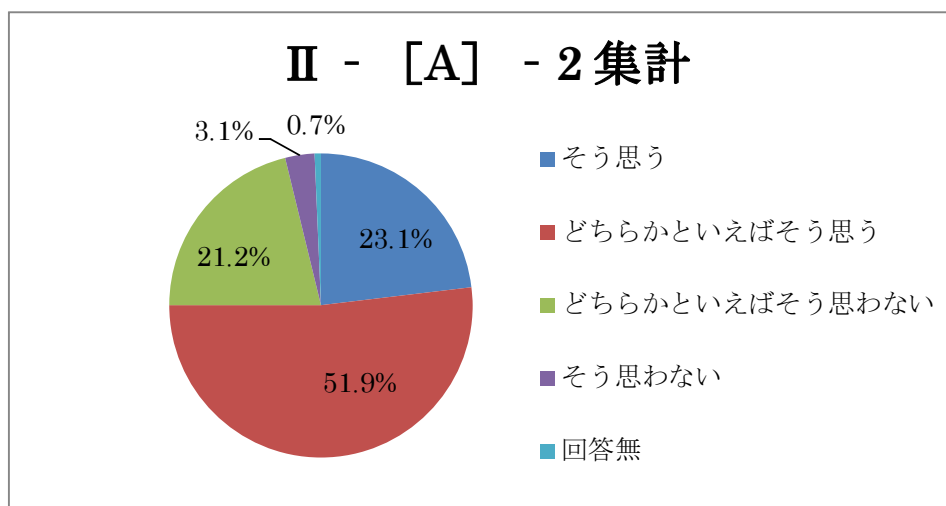
II-[A]-1

わが国の学校は多くの役割・任務を引き受けすぎており、「守備範囲」を縮小すべきである。	集計	%
そう思う	419.0	46.8%
どちらかといえばそう思う	380.0	42.4%
どちらかといえばそう思わない	73.0	8.1%
そう思わない	20.0	2.2%
回答無	4.0	0.4%
総計	896.0	



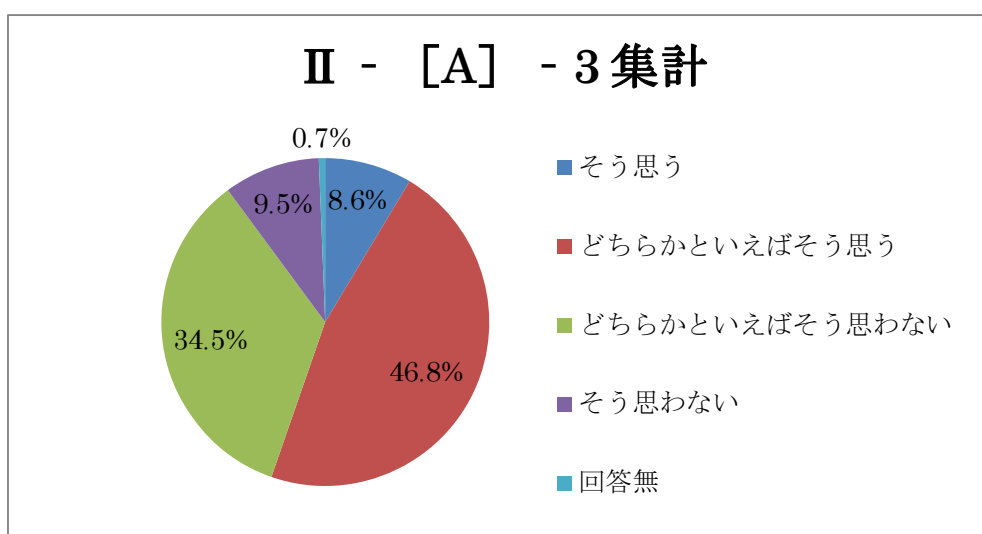
Ⅱ-[A]-2

現在、学校が担っている役割や任務のなかには、民間の機関や団体に委ねられる事柄が少なくない。	集計	%
そう思う	207.0	23.1%
どちらかといえばそう思う	465.0	51.9%
どちらかといえばそう思わない	190.0	21.2%
そう思わない	28.0	3.1%
回答無	6.0	0.7%
総計	896.0	



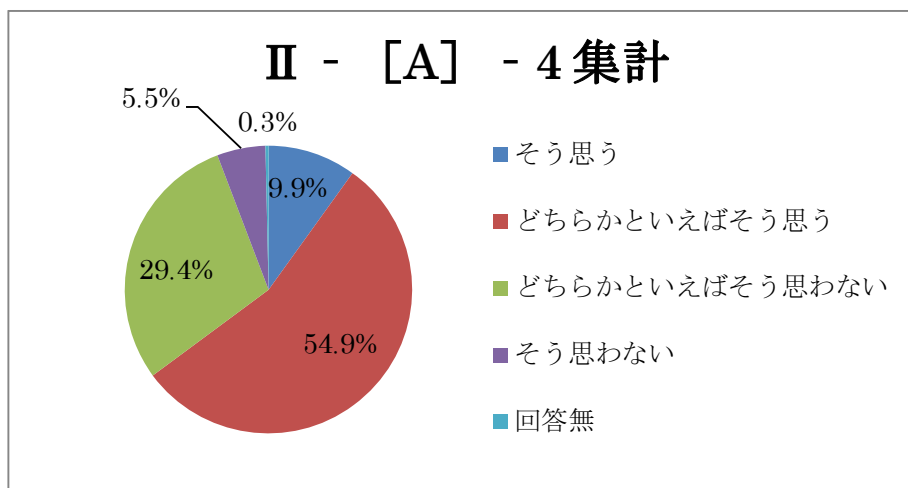
Ⅱ-[A]-3

学校と塾は協同できる面があると思う。	集計	%
そう思う	77.0	8.6%
どちらかといえばそう思う	419.0	46.8%
どちらかといえばそう思わない	309.0	34.5%
そう思わない	85.0	9.5%
回答無	6.0	0.7%
総計	896.0	



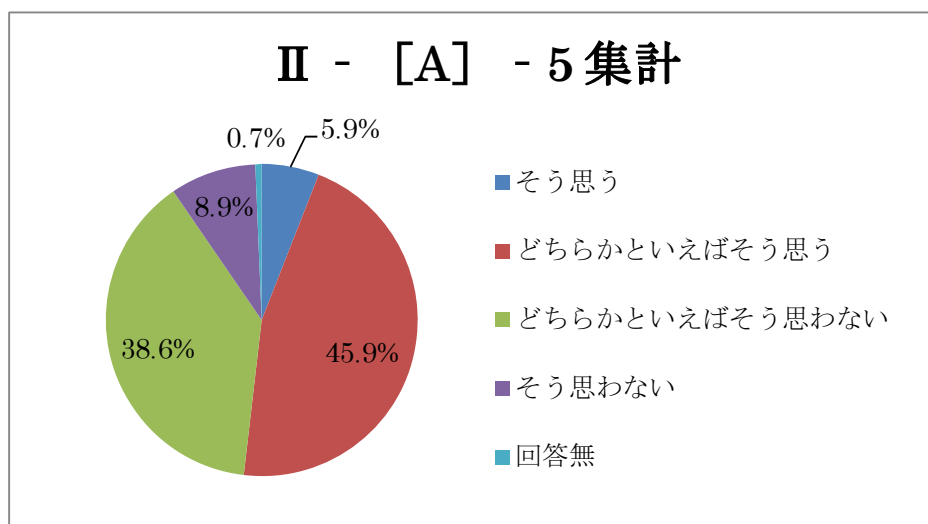
Ⅱ-[A]-4

塾や予備校はわが国の教育において、きわめて大きな役割を果たしていると思う。	集計	%
そう思う	89.0	9.9%
どちらかといえばそう思う	492.0	54.9%
どちらかといえばそう思わない	263.0	29.4%
そう思わない	49.0	5.5%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



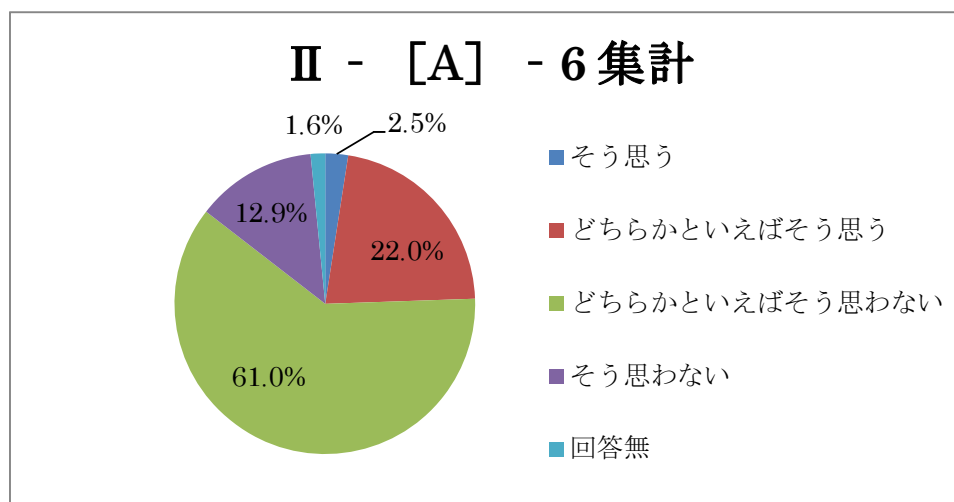
Ⅱ-[A]-5

塾などの民間教育施設は、学校週5日制の拡充に伴う「受け皿」としての役割の一端を担うことができると思う。	集計	%
そう思う	53.0	5.9%
どちらかといえばそう思う	411.5	45.9%
どちらかといえばそう思わない	345.5	38.6%
そう思わない	80.0	8.9%
回答無	6.0	0.7%
総計	896.0	



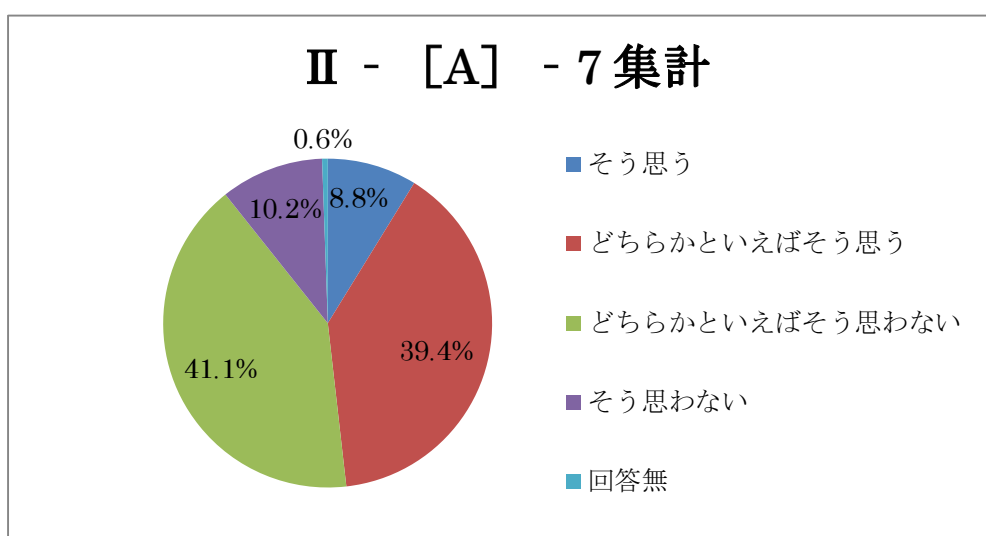
Ⅱ-[A]-6

いゆるダブル・スクール現象は積極的に評価されてよい。	集計	%
そう思う	22.0	2.5%
どちらかといえばそう思う	197.0	22.0%
どちらかといえばそう思わない	547.0	61.0%
そう思わない	116.0	12.9%
回答無	14.0	1.6%
総計	896.0	



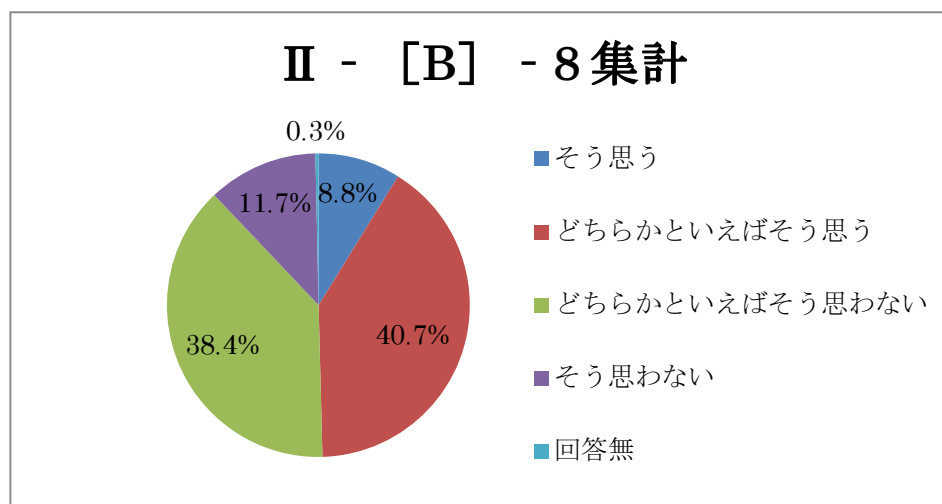
Ⅱ-[A]-7

学校における生徒補導は、PTAなどの地域パトロールに期待するところが大きい。	集計	%
そう思う	79.0	8.8%
どちらかといえばそう思う	353.0	39.4%
どちらかといえばそう思わない	368.0	41.1%
そう思わない	91.0	10.2%
回答無	5.0	0.6%
総計	896.0	



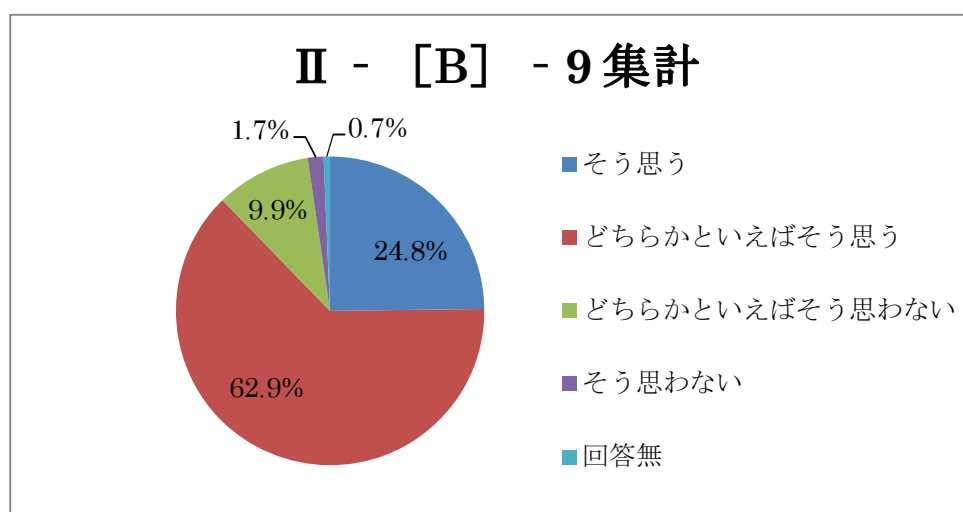
Ⅱ - [B] - 8

体育・音楽・美術などの教科の指導に際しては、できるだけ民間の専門家の協力を求めた方がよい。	集計	%
そう思う	79.0	8.8%
どちらかといえばそう思う	365.0	40.7%
どちらかといえばそう思わない	344.0	38.4%
そう思わない	105.0	11.7%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



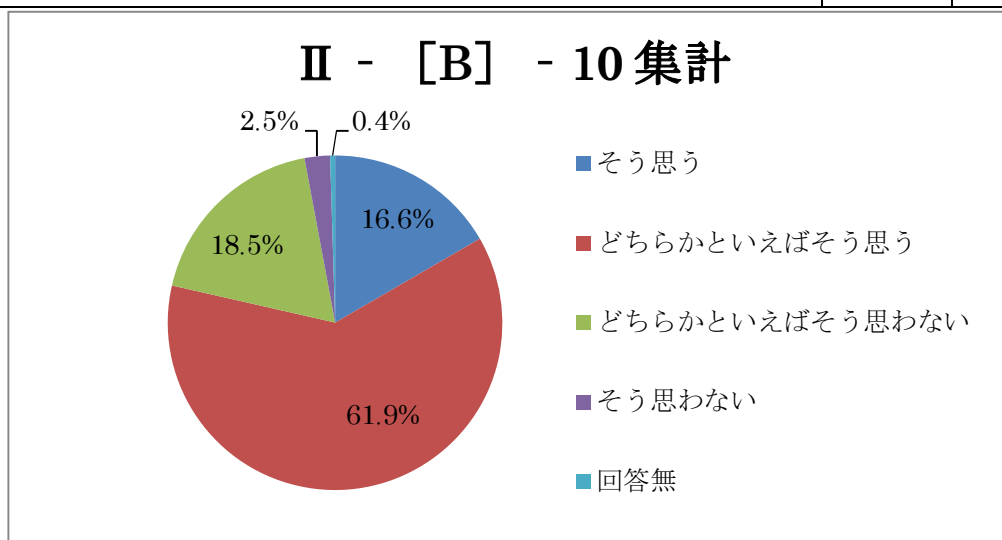
Ⅱ - [B] - 9

校外ボランティアを教育委員会に登録し、学校教育の領域でも積極的に活用すべきである。	集計	%
そう思う	222.0	24.8%
どちらかといえばそう思う	564.0	62.9%
どちらかといえばそう思わない	89.0	9.9%
そう思わない	15.0	1.7%
回答無	6.0	0.7%
総計	896.0	



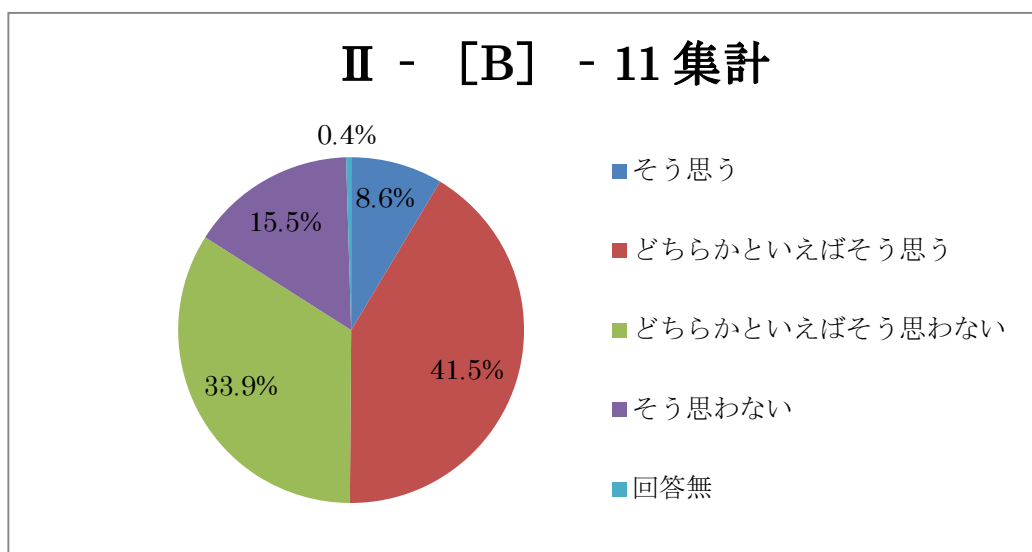
Ⅱ-[B]-10

国際理解学習の拡充のためには外国人留学生など民間人の貢献が不可欠である。	集計	%
そう思う	149.0	16.6%
どちらかといえばそう思う	555.0	61.9%
どちらかといえばそう思わない	166.0	18.5%
そう思わない	22.0	2.5%
回答無	4.0	0.4%
総計	896.0	



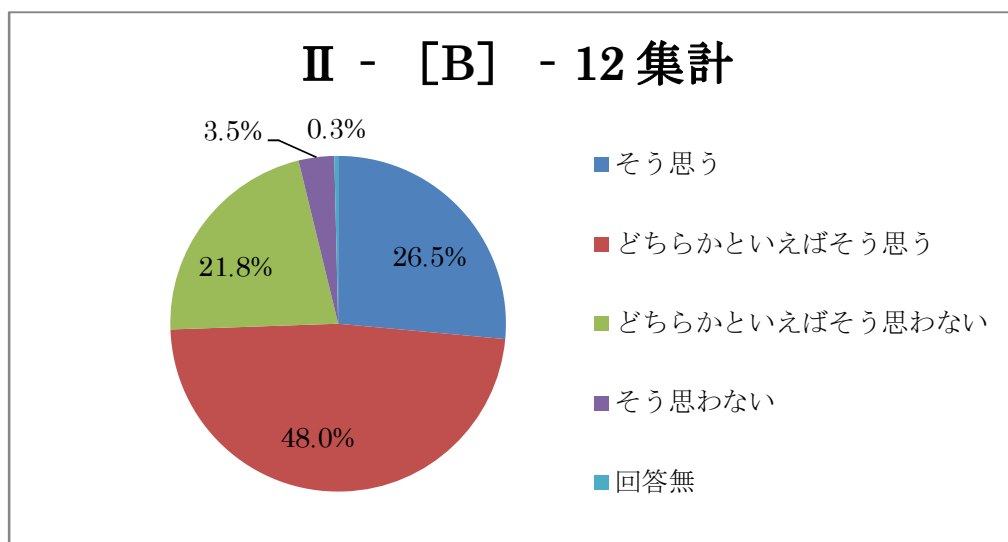
Ⅱ-[B]-11

場合によっては、塾や予備校の講師が学校で教えることがあってもよい。	集計	%
そう思う	77.0	8.6%
どちらかといえばそう思う	372.0	41.5%
どちらかといえばそう思わない	304.0	33.9%
そう思わない	139.0	15.5%
回答無	4.0	0.4%
総計	896.0	



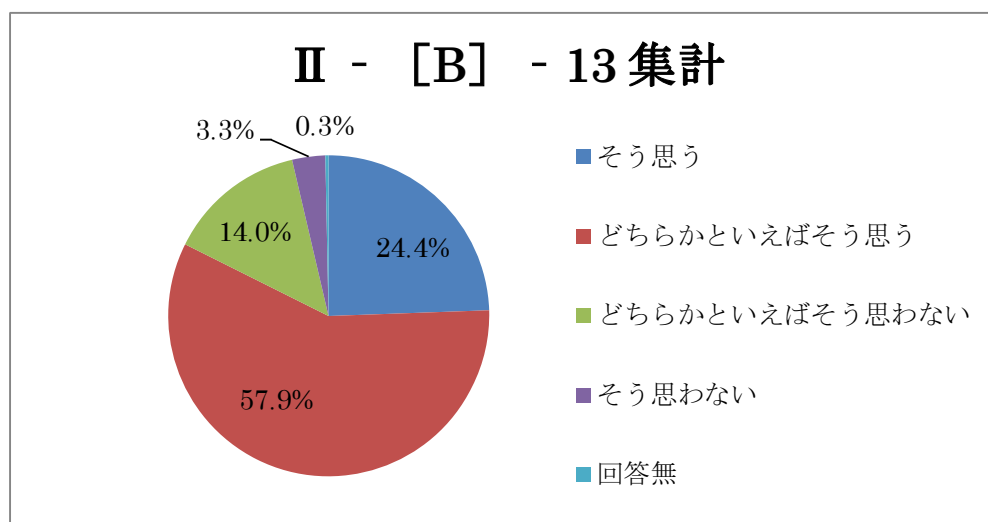
Ⅱ - [B] - 12

生徒相談はスクール・カウンセラーなど民間の専門家に期待するところが大きい。	集計	%
そう思う	237.0	26.5%
どちらかといえばそう思う	430.0	48.0%
どちらかといえばそう思わない	195.0	21.8%
そう思わない	31.0	3.5%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



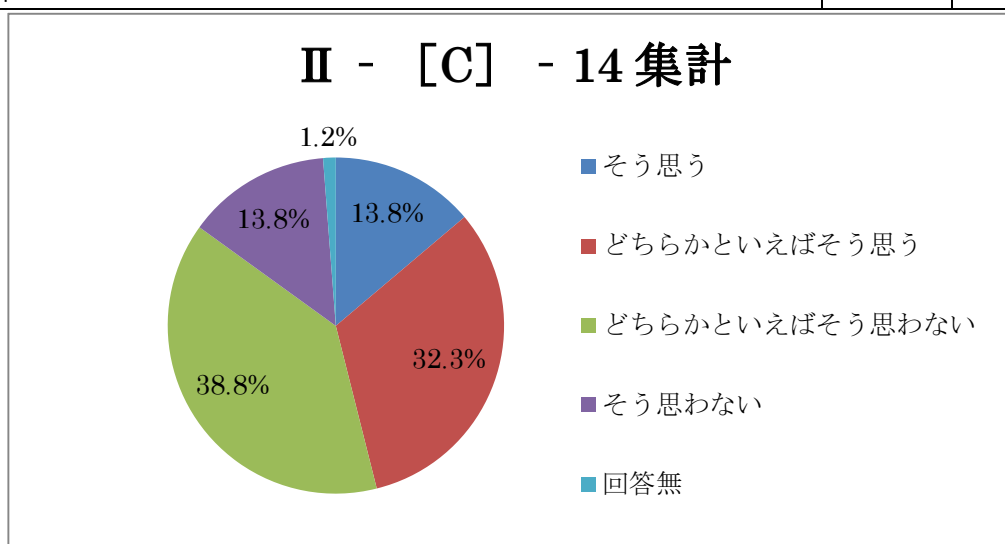
Ⅱ - [B] - 13

教員免許状がなくても、地域や民間の専門家が外部講師として大いに活用されてよい。	集計	%
そう思う	219.0	24.4%
どちらかといえばそう思う	519.0	57.9%
どちらかといえばそう思わない	125.0	14.0%
そう思わない	30.0	3.3%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



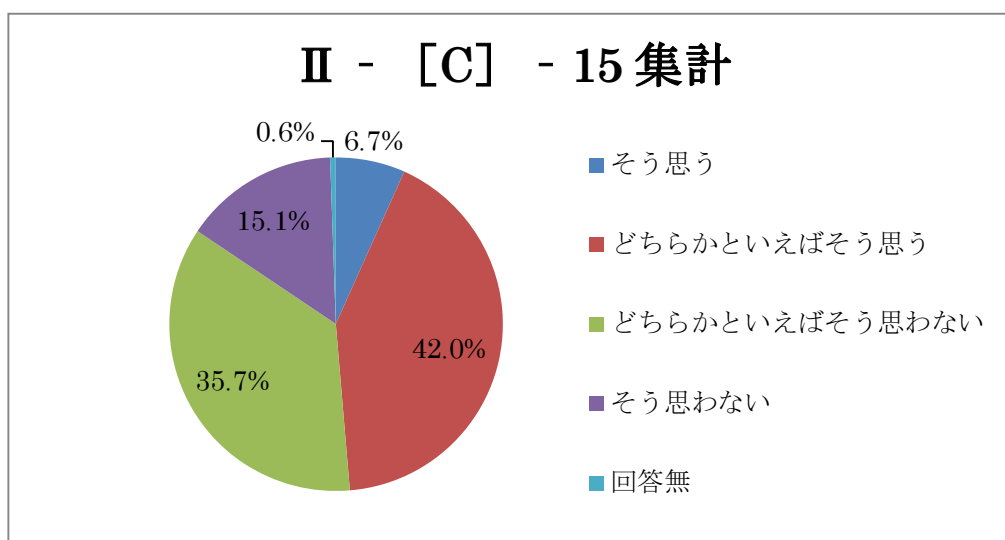
Ⅱ-[C]-14

「プール指導」は原則として民間の水泳教室やスイミング・クラブに委託した方がよい。	集計	%
そう思う	124.0	13.8%
どちらかといえばそう思う	289.0	32.3%
どちらかといえばそう思わない	348.0	38.8%
そう思わない	124.0	13.8%
回答無	11.0	1.2%
総計	896.0	



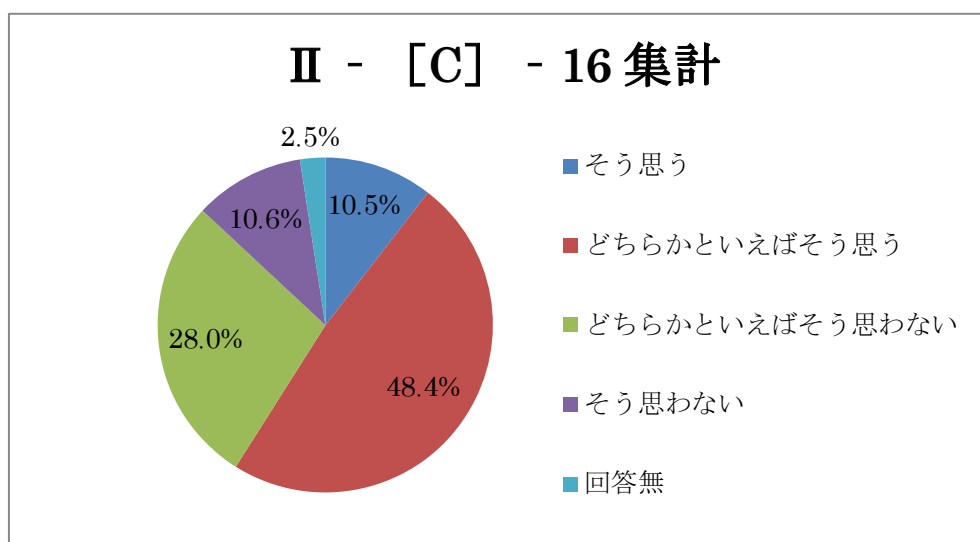
Ⅱ-[C]-15

補習授業に際しては、塾や予備校の援助をうけることがあってよい。	集計	%
そう思う	60.0	6.7%
どちらかといえばそう思う	376.0	42.0%
どちらかといえばそう思わない	320.0	35.7%
そう思わない	135.0	15.1%
回答無	5.0	0.6%
総計	896.0	



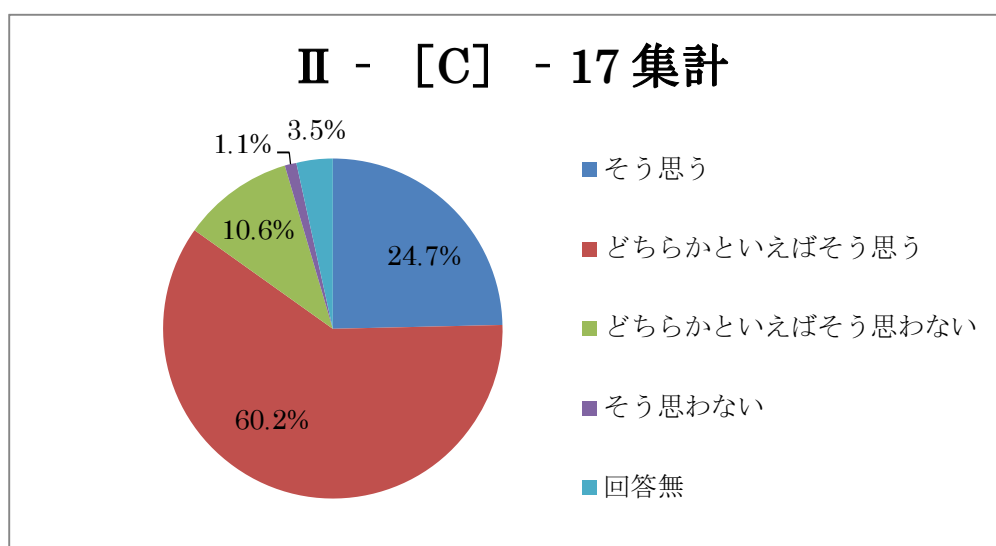
Ⅱ - [C] - 16

高校では予備校の通信衛星授業が利用されてよい。	集計	%
そう思う	94.0	10.5%
どちらかといえばそう思う	434.0	48.4%
どちらかといえばそう思わない	251.0	28.0%
そう思わない	95.0	10.6%
回答無	22.0	2.5%
総計	896.0	



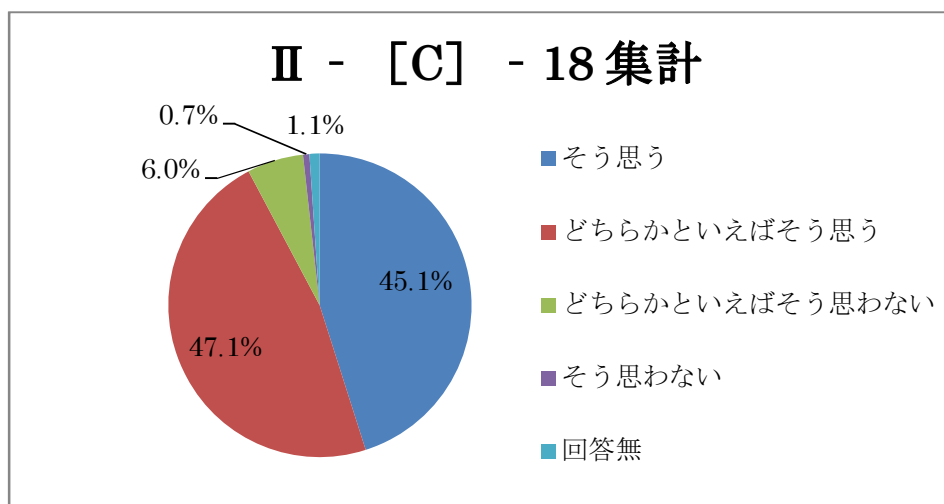
Ⅱ - [C] - 17

公立学校における外国人子弟の教育に際しては、民間の教育機関やスタッフの協力が不可欠である。	集計	%
そう思う	221.0	24.7%
どちらかといえばそう思う	539.0	60.2%
どちらかといえばそう思わない	95.0	10.6%
そう思わない	10.0	1.1%
回答無	31.0	3.5%
総計	896.0	



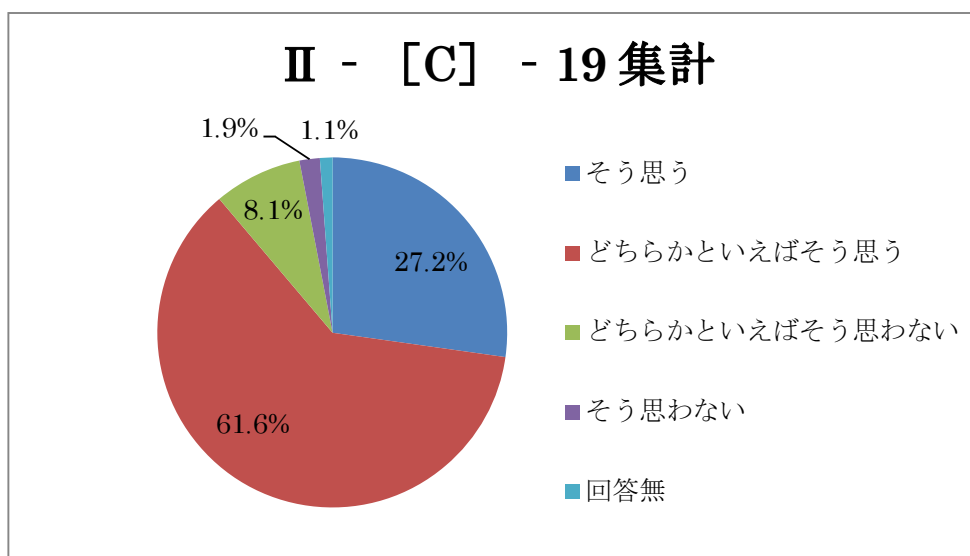
Ⅱ-[C]-18

民間の機関や施設と提携して、勤労体験学習を積極的に推進すべきである。	集計	%
そう思う	404.0	45.1%
どちらかといえばそう思う	422.0	47.1%
どちらかといえばそう思わない	54.0	6.0%
そう思わない	6.0	0.7%
回答無	10.0	1.1%
総計	896.0	



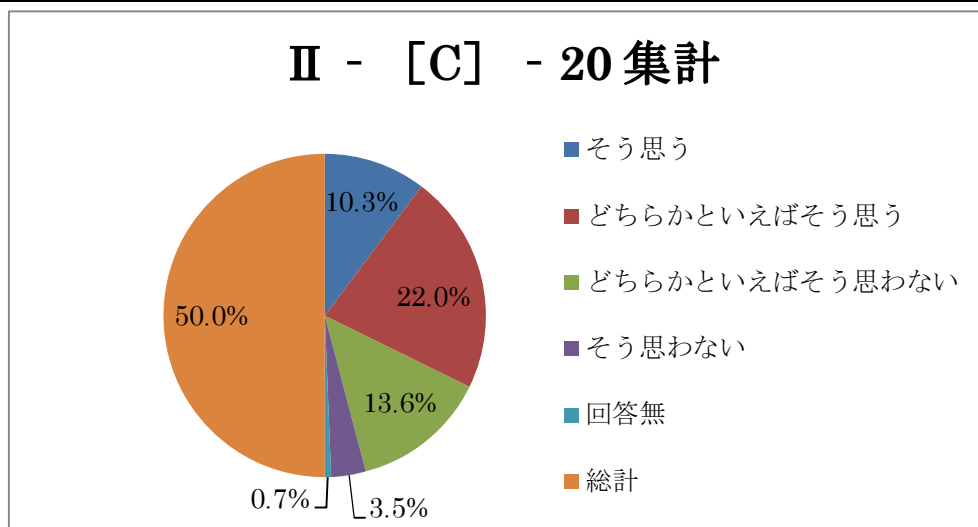
Ⅱ-[C]-19

セカンド・スクール(移動学校・移動教室)の実施にあたっては、民間の教育機関や施設との提携も望まれる。	集計	%
そう思う	244.0	27.2%
どちらかといえばそう思う	552.0	61.6%
どちらかといえばそう思わない	73.0	8.1%
そう思わない	17.0	1.9%
回答無	10.0	1.1%
総計	896.0	



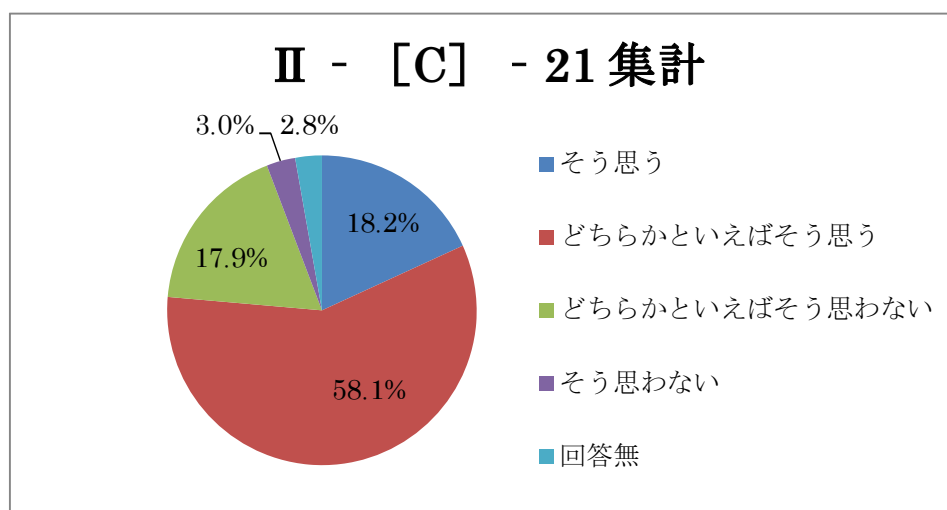
Ⅱ - [C] - 20

スポーツ・芸術領域で才能豊かな生徒は、民間のクラブや団体に委託して、特別な教育・訓練が受けられるように公費で措置すべきである。	集計	%
そう思う	184.0	20.5%
どちらかといえばそう思う	394.0	44.0%
どちらかといえばそう思わない	244.0	27.2%
そう思わない	62.0	6.9%
回答無	12.0	1.3%
総計	896.0	
総計	896.0	



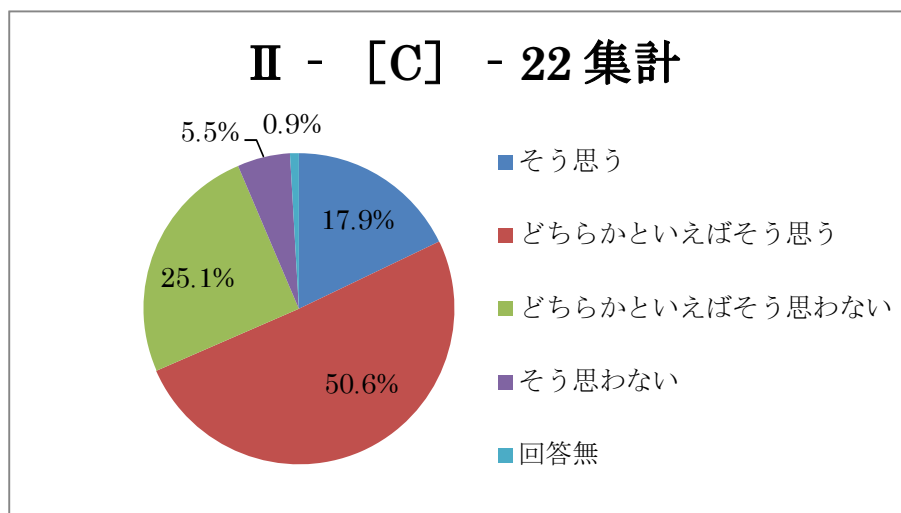
Ⅱ - [C] - 21

高校と専修学校・各種学校との単位の互換制度はさらに拡充される必要がある。	集計	%
そう思う	163.0	18.2%
どちらかといえばそう思う	521.0	58.1%
どちらかといえばそう思わない	160.0	17.9%
そう思わない	27.0	3.0%
回答無	25.0	2.8%
総計	896.0	



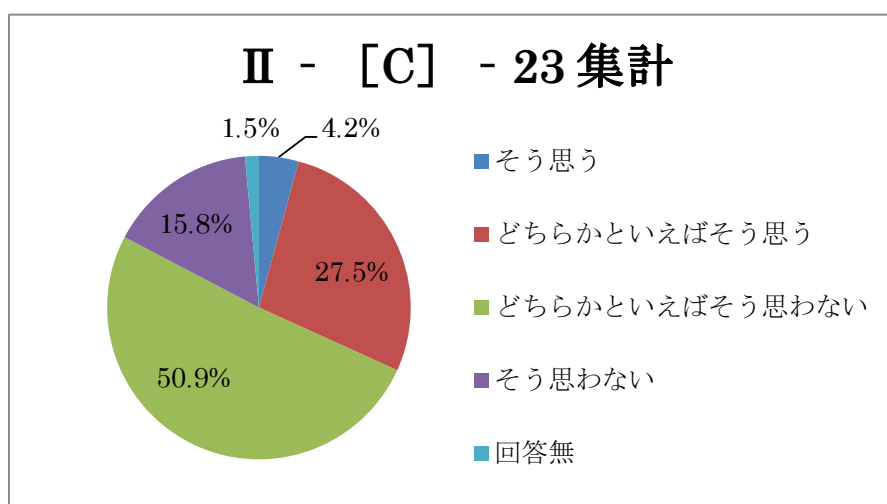
Ⅱ-[C]-22

中学校についても、学校外における学習成果(英検・漢字検など)が教科活動の一部として認定されてもよい。	集計	%
そう思う	160.0	17.9%
どちらかといえばそう思う	453.5	50.6%
どちらかといえばそう思わない	225.0	25.1%
そう思わない	49.5	5.5%
回答無	8.0	0.9%
総計	896.0	



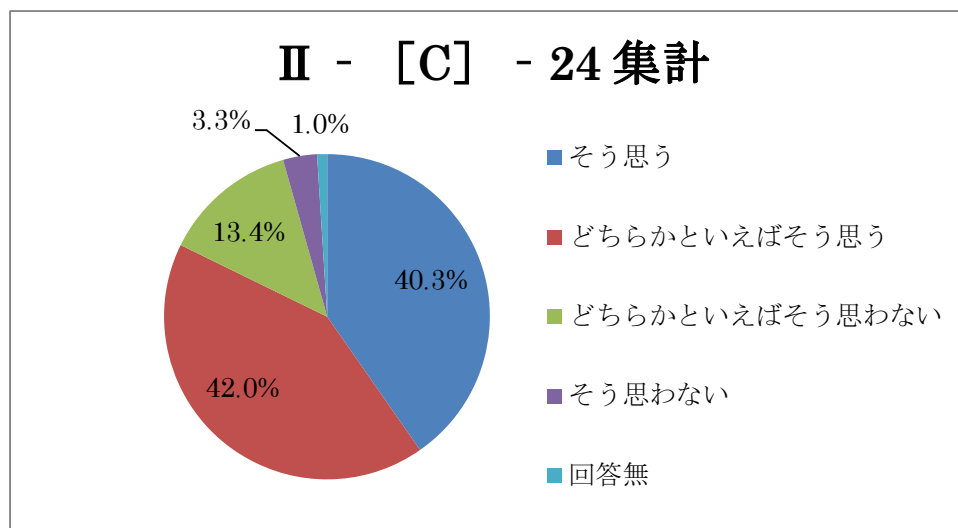
Ⅱ-[C]-23

塾などの民間教育施設における教育も、一定の条件さえ満たせば、フォーマルなものとして認められてよい。	集計	%
そう思う	38.0	4.2%
どちらかといえばそう思う	246.5	27.5%
どちらかといえばそう思わない	456.5	50.9%
そう思わない	142.0	15.8%
回答無	13.0	1.5%
総計	896.0	



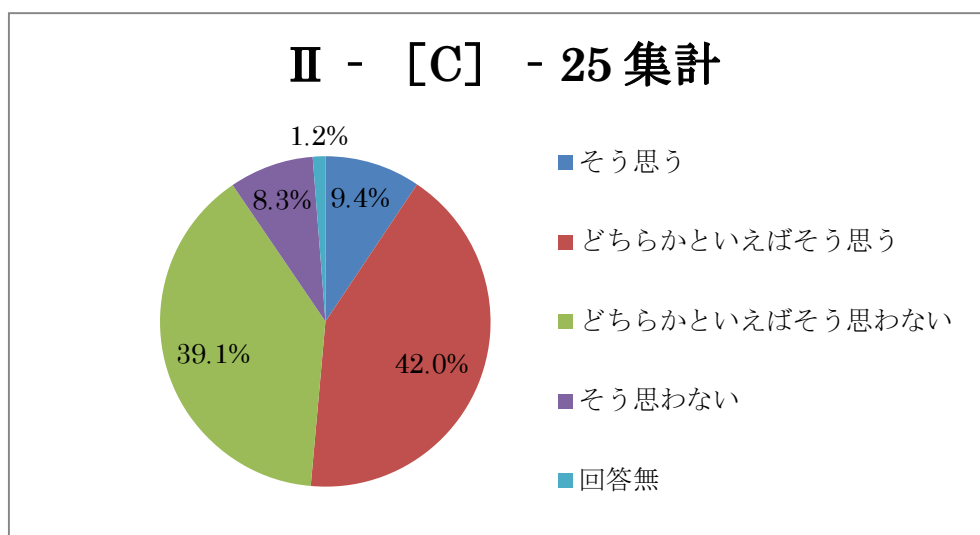
Ⅱ - [C] - 24

学校掃除には教育的な意味があり、業者に委託することは望ましくない。	集計	%
そう思う	361.0	40.3%
どちらかといえばそう思う	376.0	42.0%
どちらかといえばそう思わない	120.0	13.4%
そう思わない	30.0	3.3%
回答無	9.0	1.0%
総計	896.0	



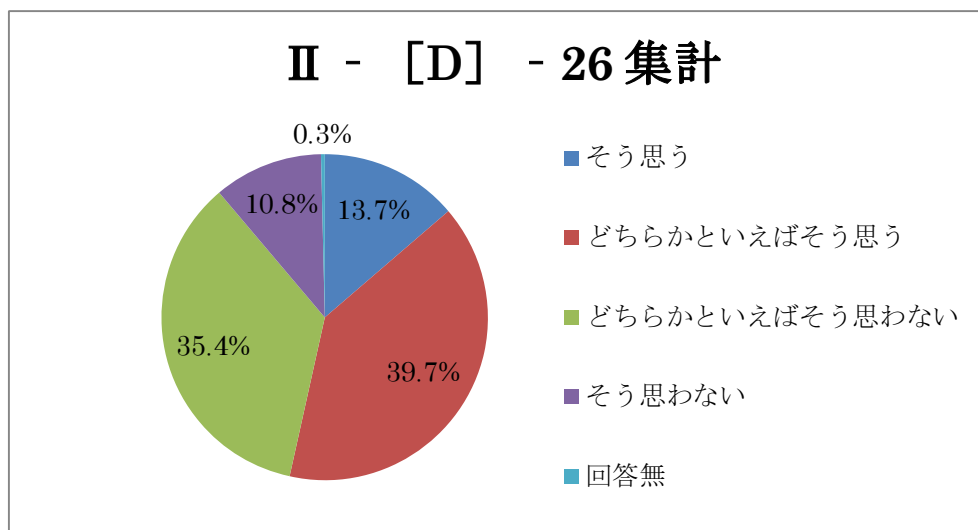
Ⅱ - [C] - 25

不登校児に対する教育に関しては、塾など民間教育施設に期待するところが大きい。	集計	%
そう思う	84.0	9.4%
どちらかといえばそう思う	376.5	42.0%
どちらかといえばそう思わない	350.5	39.1%
そう思わない	74.0	8.3%
回答無	11.0	1.2%
総計	896.0	



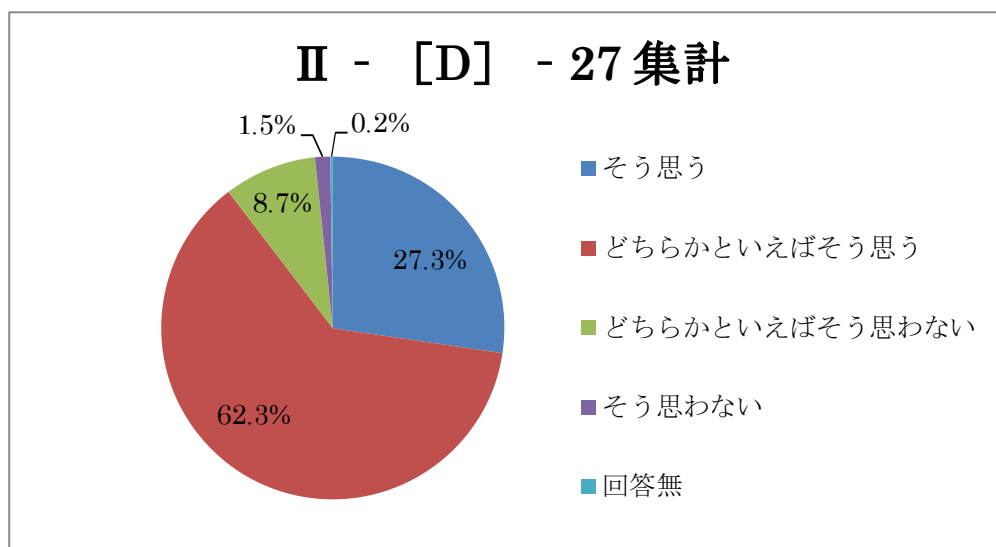
Ⅱ - [D] - 26

進路指導にあたっては、塾や予備校の進学・受験情報を大いに活用すべきである。	集計	%
そう思う	123.0	13.7%
どちらかといえばそう思う	356.0	39.7%
どちらかといえばそう思わない	317.0	35.4%
そう思わない	97.0	10.8%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



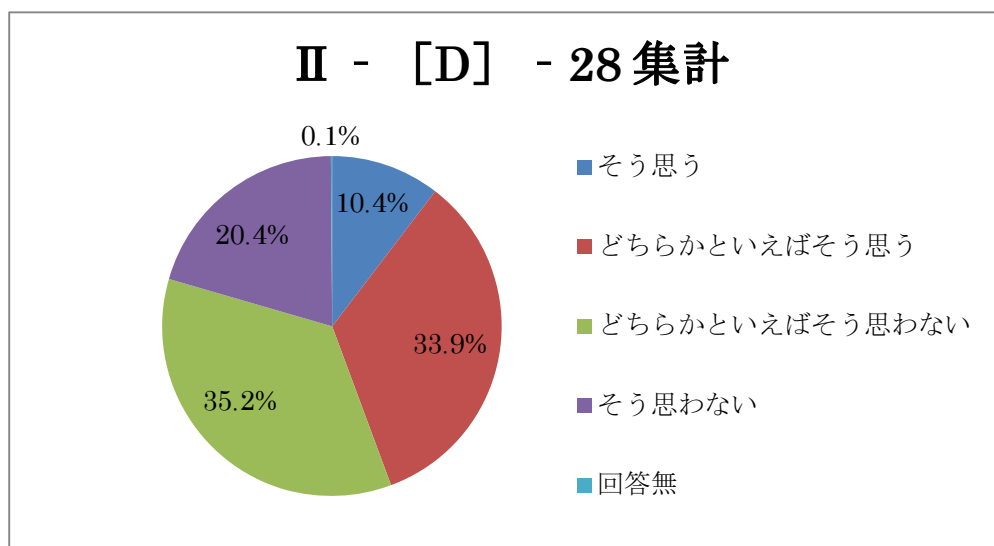
Ⅱ - [D] - 27

いわゆる業者テストには効用が有り、一定の条件付で、学校が利用するのは構わないと思う。	集計	%
そう思う	245.0	27.3%
どちらかといえばそう思う	558.0	62.3%
どちらかといえばそう思わない	78.0	8.7%
そう思わない	13.0	1.5%
回答無	2.0	0.2%
総計	896.0	



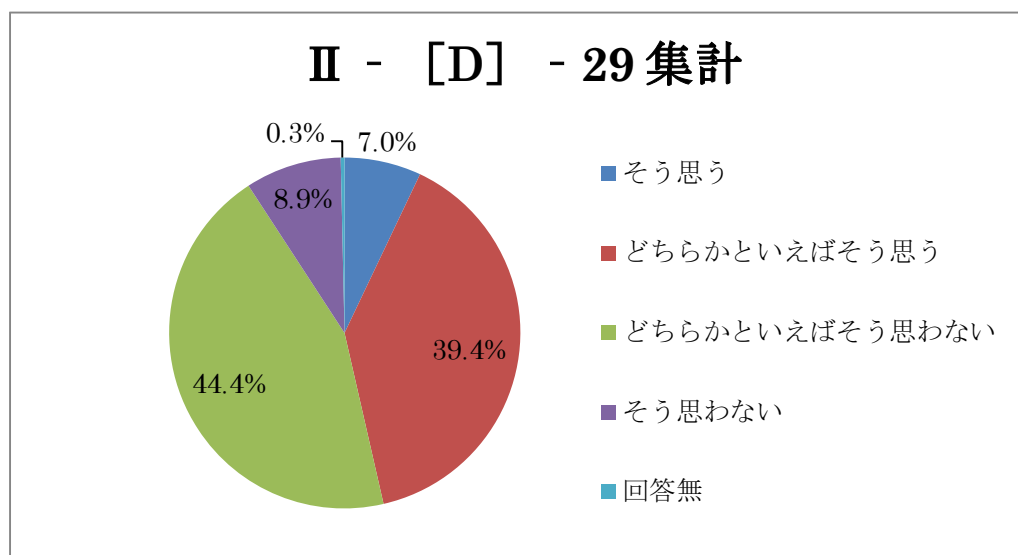
Ⅱ - [D] - 28

ケースによっては、学内テストの採点を一括して業者に委託することが考えられてもよい。	集計	%
そう思う	93.0	10.4%
どちらかといえばそう思う	304.0	33.9%
どちらかといえばそう思わない	315.0	35.2%
そう思わない	183.0	20.4%
回答無	1.0	0.1%
総計	896.0	



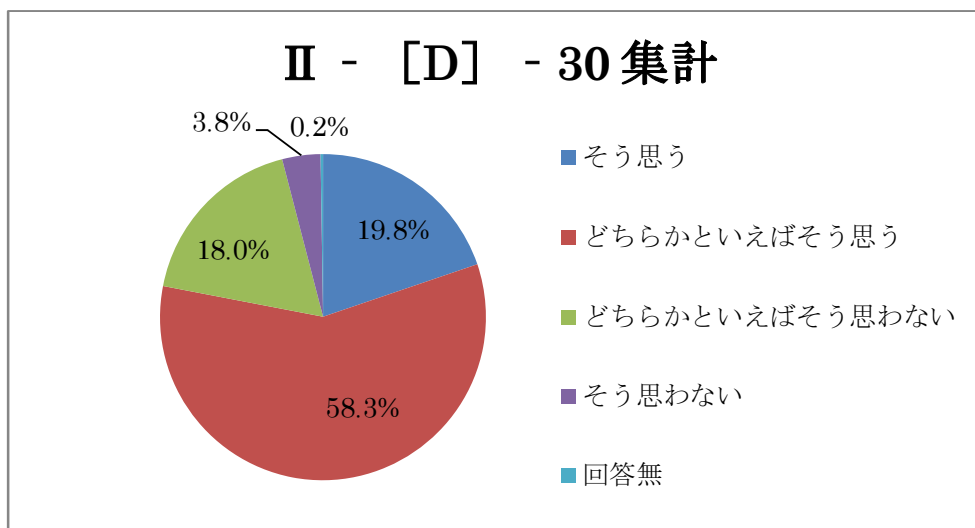
Ⅱ - [D] - 29

補助教材やテストは業者の作成にかかるものを利用した方がよいと思う。	集計	%
そう思う	63.0	7.0%
どちらかといえばそう思う	353.0	39.4%
どちらかといえばそう思わない	397.5	44.4%
そう思わない	79.5	8.9%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



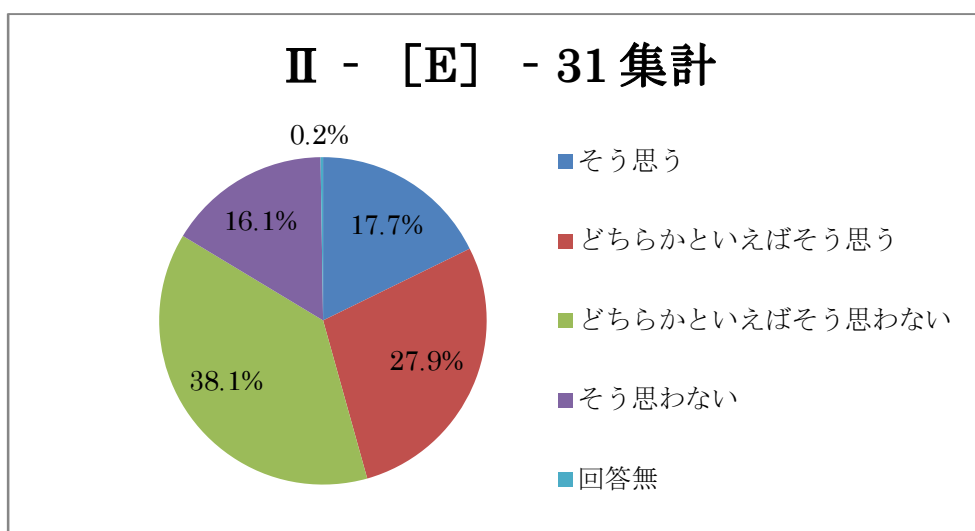
Ⅱ - [D] - 30

入試に際しては、ボランティア活動など学校外における活動が考慮されてよい。	集計	%
そう思う	177.0	19.8%
どちらかといえばそう思う	522.0	58.3%
どちらかといえばそう思わない	161.0	18.0%
そう思わない	34.0	3.8%
回答無	2.0	0.2%
総計	896.0	



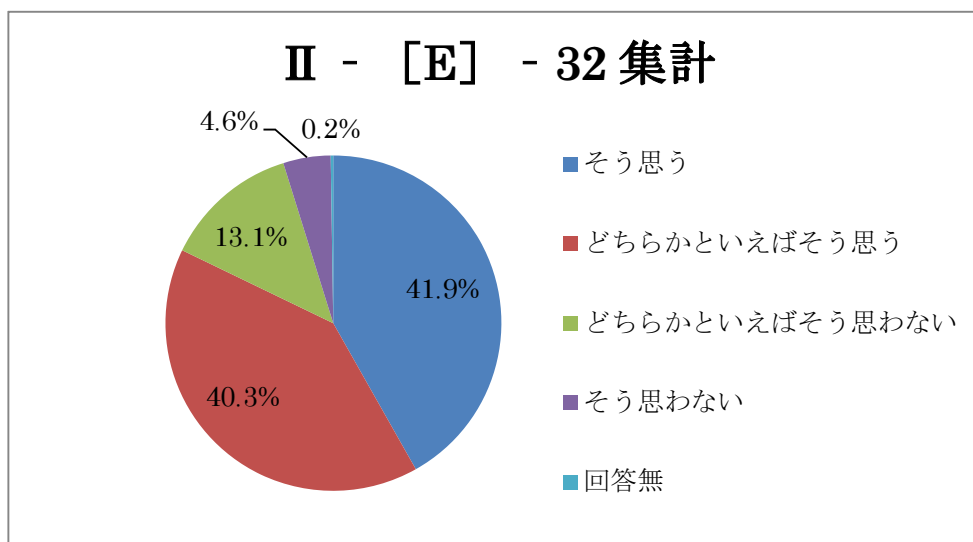
Ⅱ - [E] - 31

部活動はほんらい各学校で行われるべきものではなく、地域の教育・文化・スポーツ活動の一環として位置づけられることが望ましい。	集計	%
そう思う	159.0	17.7%
どちらかといえばそう思う	250.0	27.9%
どちらかといえばそう思わない	341.0	38.1%
そう思わない	144.0	16.1%
回答無	2.0	0.2%
総計	896.0	



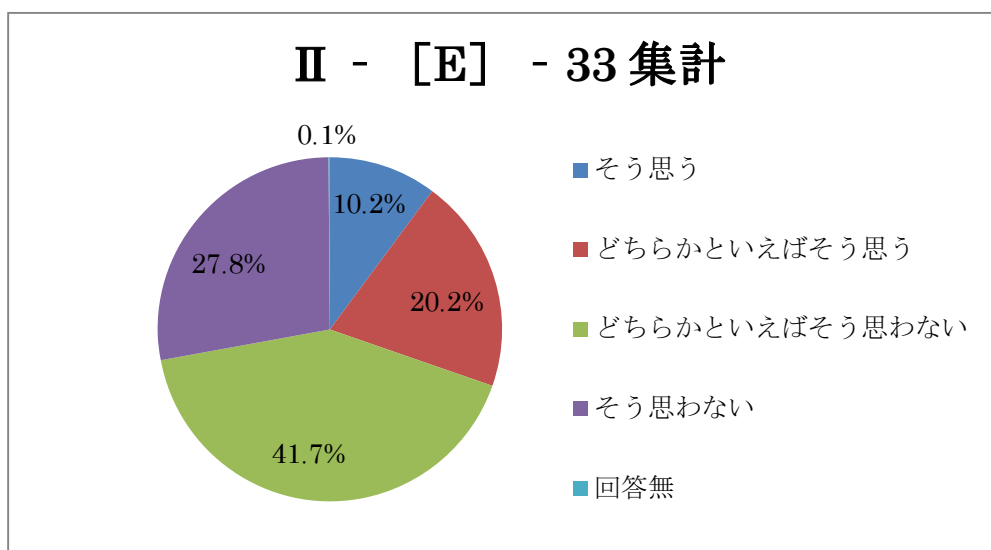
Ⅱ - [E] - 32

学校教育上、部活動はきわめて重要な役割を果たしており、今後も存続させるべきである。	集計	%
そう思う	375.0	41.9%
どちらかといえばそう思う	361.0	40.3%
どちらかといえばそう思わない	117.0	13.1%
そう思わない	41.0	4.6%
回答無	2.0	0.2%
総計	896.0	



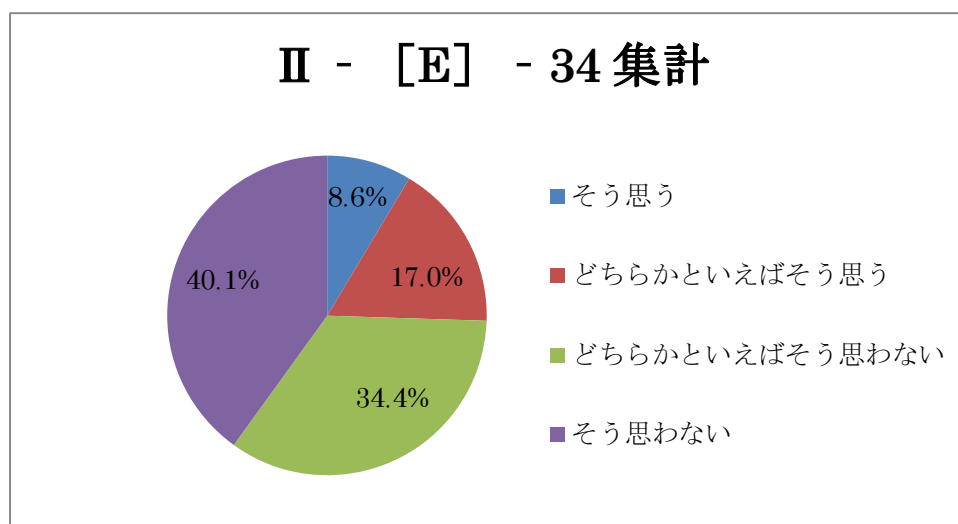
Ⅱ - [E] - 33

部活動はほんらい学校の役割とはいええず、徐々に縮小すべきだと思う。	集計	%
そう思う	91.0	10.2%
どちらかといえばそう思う	181.0	20.2%
どちらかといえばそう思わない	374.0	41.7%
そう思わない	249.0	27.8%
回答無	1.0	0.1%
総計	896.0	



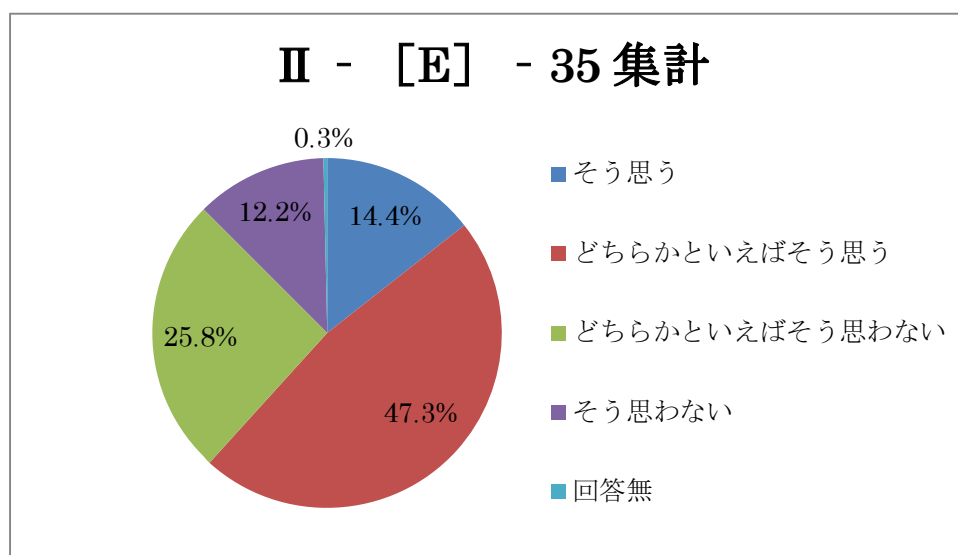
Ⅱ-[E]-34

学校における部活動は原則として廃止し、地域や民間の団体に委ねた方がよい。	集計	%
そう思う	77.0	8.6%
どちらかといえばそう思う	152.0	17.0%
どちらかといえばそう思わない	308.0	34.4%
そう思わない	359.0	40.1%
総計	896.0	



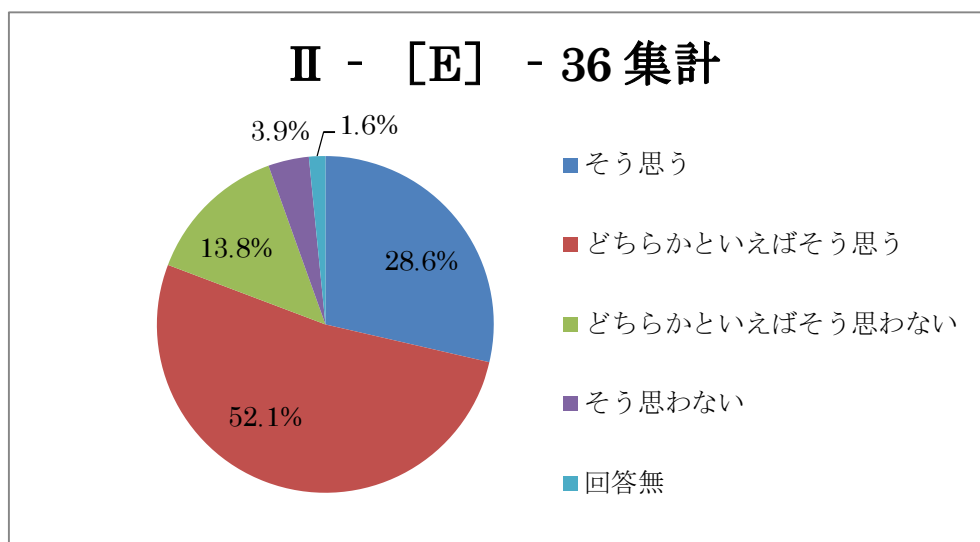
Ⅱ-[E]-35

現在のように学校単位で部活動を行うのではなく、地域の複数の学校が共同で実施するシステムが考えられてよい。	集計	%
そう思う	129.0	14.4%
どちらかといえばそう思う	424.0	47.3%
どちらかといえばそう思わない	231.0	25.8%
そう思わない	109.0	12.2%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



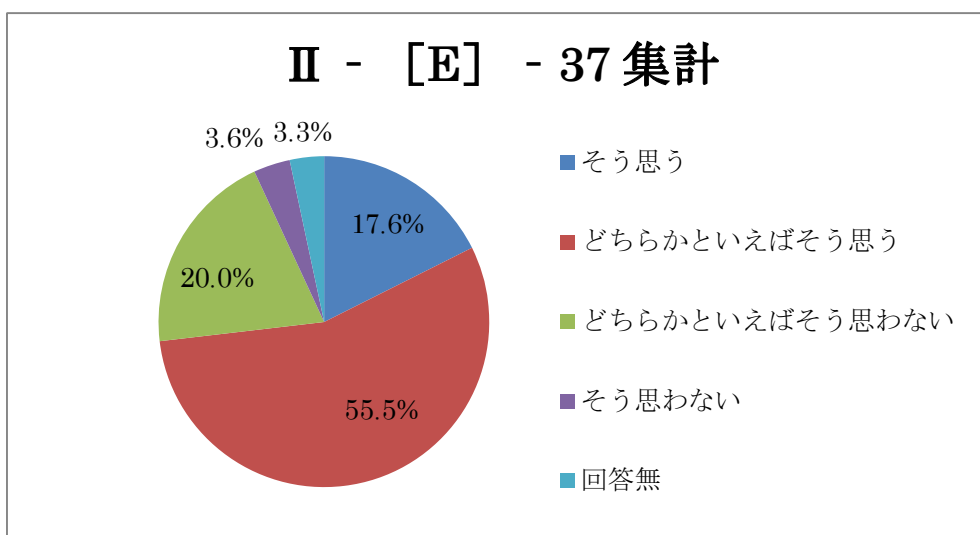
Ⅱ - [E] - 36

部活動の指導者として、地域や民間の専門家を積極的に活用すべきである。	集計	%
そう思う	256.5	28.6%
どちらかといえばそう思う	467.0	52.1%
どちらかといえばそう思わない	123.5	13.8%
そう思わない	35.0	3.9%
回答無	14.0	1.6%
総計	896.0	



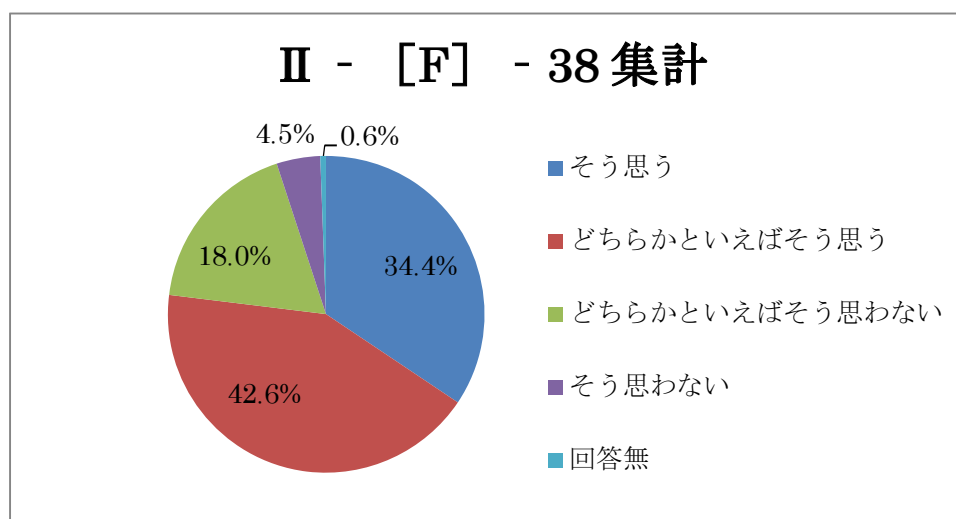
Ⅱ - [E] - 37

部活や生徒会のリーダーには民間の機関や施設で研修をうける機会が与えられた方がよい。	集計	%
そう思う	158.0	17.6%
どちらかといえばそう思う	497.0	55.5%
どちらかといえばそう思わない	179.0	20.0%
そう思わない	32.0	3.6%
回答無	30.0	3.3%
総計	896.0	



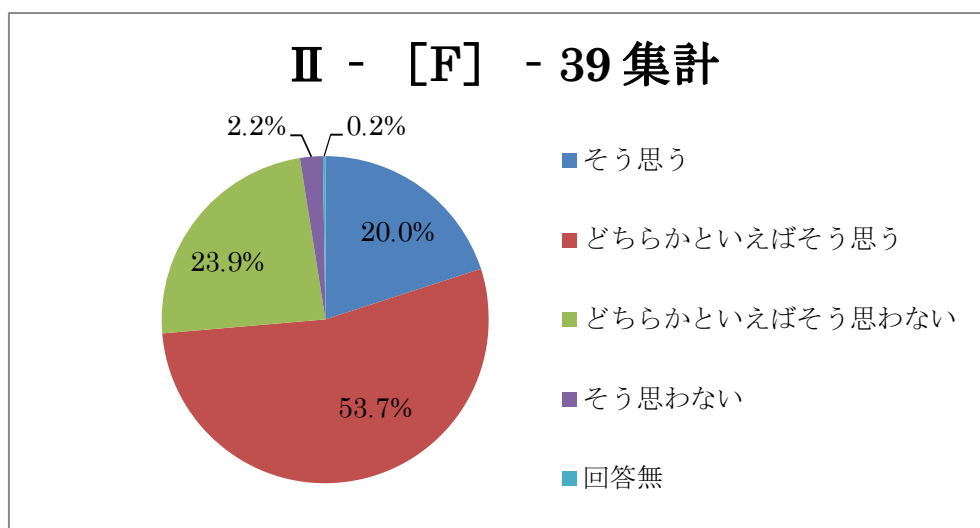
Ⅱ-[F]-38

学校の警備や施設・設備の管理は原則として全面的に民間に委託すべきである。	集計	%
そう思う	308.0	34.4%
どちらかといえばそう思う	381.5	42.6%
どちらかといえばそう思わない	161.5	18.0%
そう思わない	40.0	4.5%
回答無	5.0	0.6%
総計	896.0	



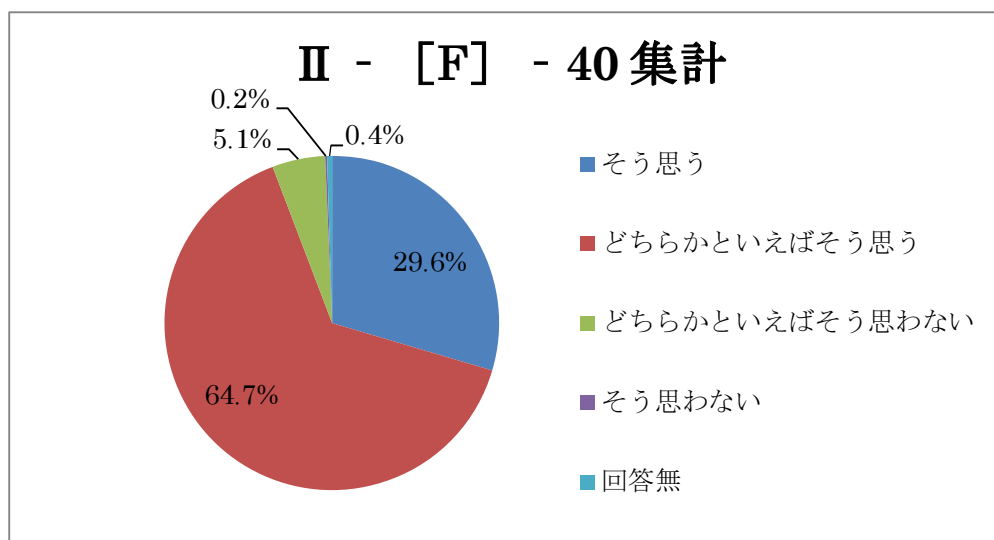
Ⅱ-[F]-39

地域の教育・文化・スポーツ活動のために、学校の施設・設備をもっと積極的に開放すべきである。	集計	%
そう思う	179.0	20.0%
どちらかといえばそう思う	481.0	53.7%
どちらかといえばそう思わない	214.0	23.9%
そう思わない	20.0	2.2%
回答無	2.0	0.2%
総計	896.0	



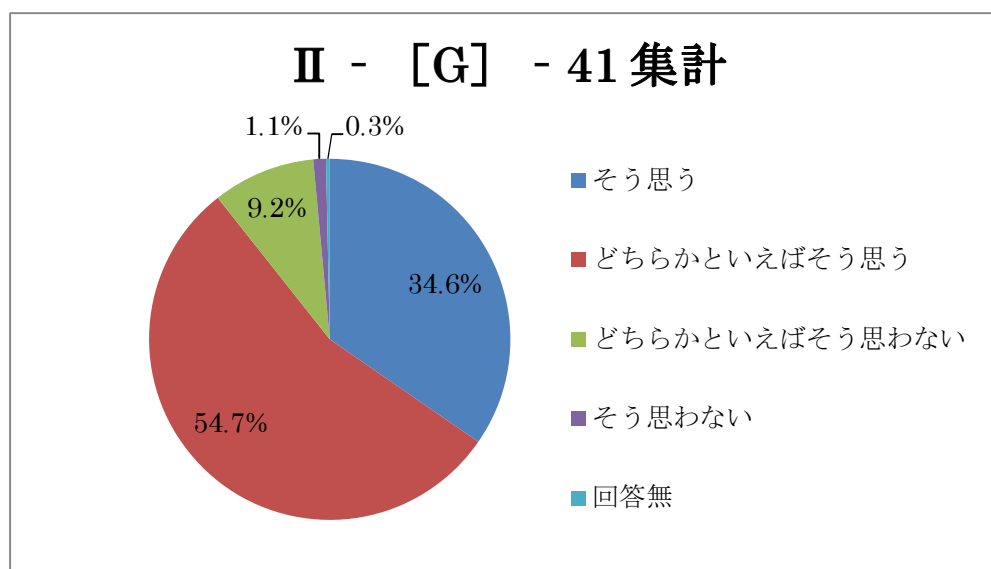
Ⅱ-[F]-40

多様な教育活動を展開するために、民間の施設・設備をもっと活用すべきである。	集計	%
そう思う	265.0	29.6%
どちらかといえばそう思う	579.5	64.7%
どちらかといえばそう思わない	45.5	5.1%
そう思わない	2.0	0.2%
回答無	4.0	0.4%
総計	896.0	



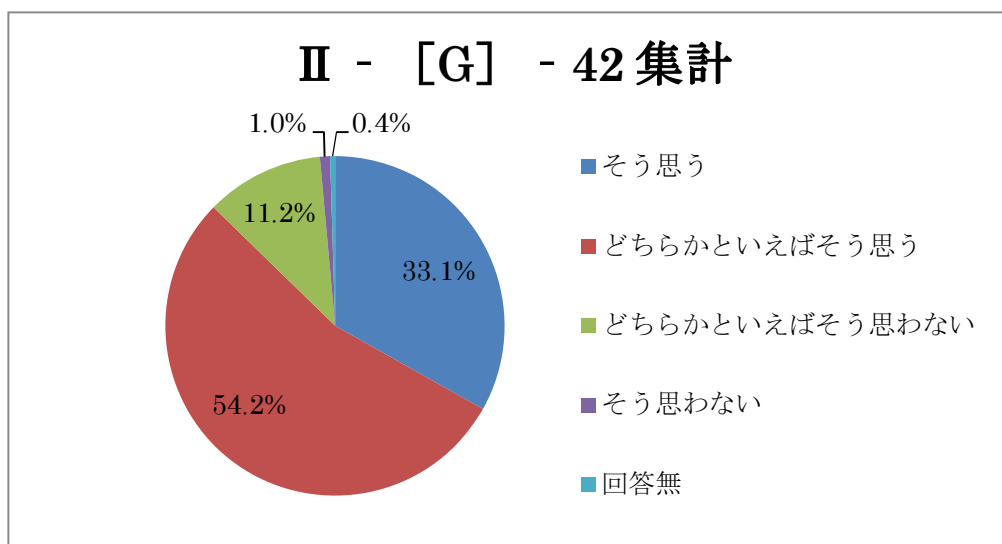
Ⅱ-[G]-41

教員研修に際しては民間の講師を大いに活用すべきである。	集計	%
そう思う	310.0	34.6%
どちらかといえばそう思う	490.5	54.7%
どちらかといえばそう思わない	82.5	9.2%
そう思わない	10.0	1.1%
回答無	3.0	0.3%
総計	896.0	



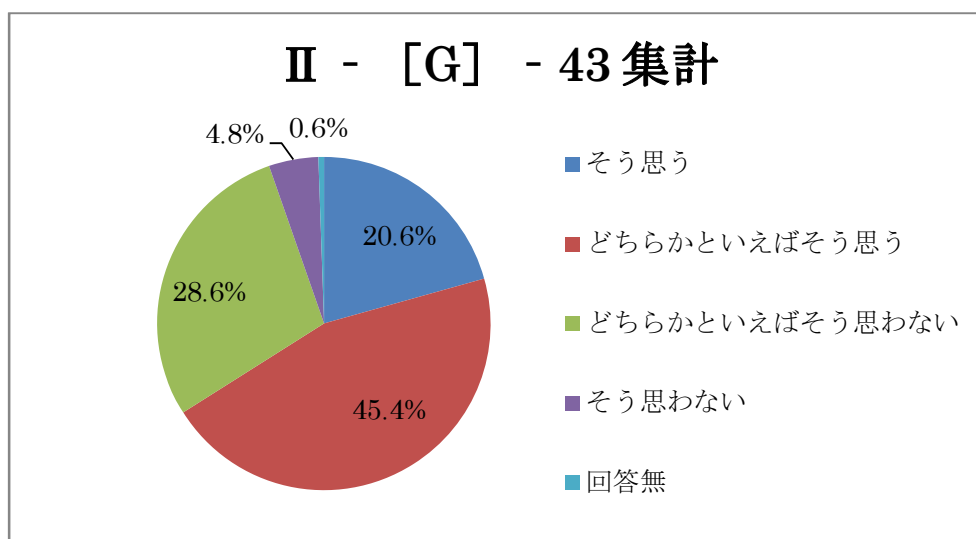
Ⅱ - [G] - 42

民間機関や施設での教員研修が積極的に推進されるべきである。	集計	%
そう思う	297.0	33.1%
どちらかといえばそう思う	485.5	54.2%
どちらかといえばそう思わない	100.5	11.2%
そう思わない	9.0	1.0%
回答無	4.0	0.4%
総計	896.0	



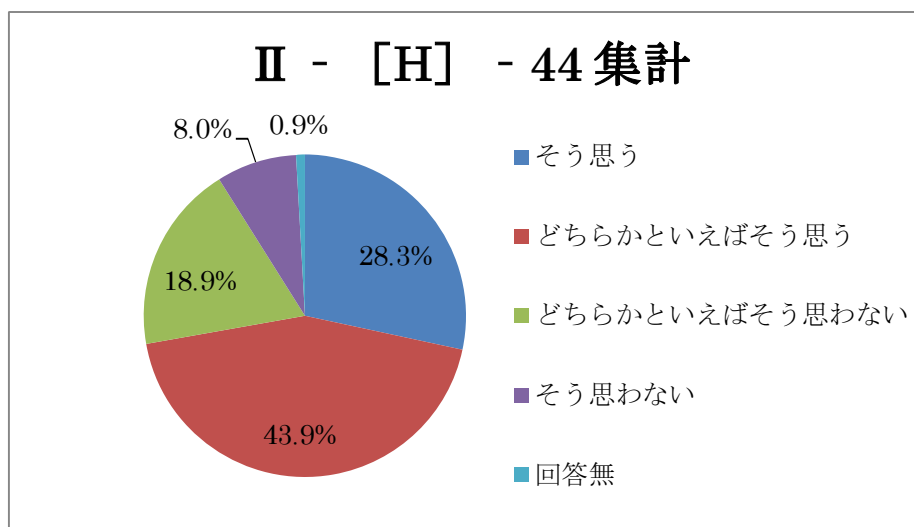
Ⅱ - [G] - 43

教員養成の過程において民間での教育・訓練を制度化することが必要だと思う。	集計	%
そう思う	185.0	20.6%
どちらかといえばそう思う	406.5	45.4%
どちらかといえばそう思わない	256.5	28.6%
そう思わない	43.0	4.8%
回答無	5.0	0.6%
総計	896.0	



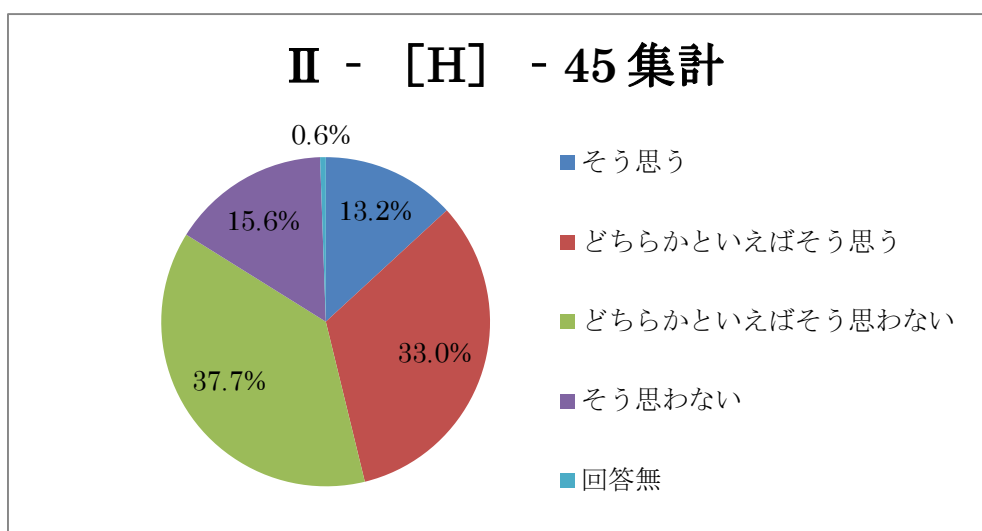
Ⅱ - [H] - 44

小・中学校における給食指導は、教育活動の一環をなしており、学校給食は今後も原則として存続させる必要がある。	集計	%
そう思う	254.0	28.3%
どちらかといえばそう思う	393.0	43.9%
どちらかといえばそう思わない	169.0	18.9%
そう思わない	72.0	8.0%
回答無	8.0	0.9%
総計	896.0	



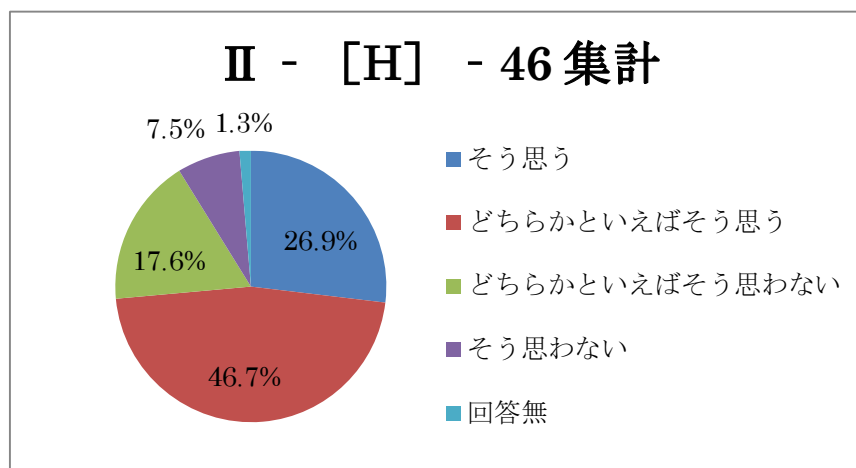
Ⅱ - [H] - 45

高校ではもちろん、中学校でも可能な限り民間経営の食堂を設けるのが望ましい。	集計	%
そう思う	118.0	13.2%
どちらかといえばそう思う	295.5	33.0%
どちらかといえばそう思わない	338.0	37.7%
そう思わない	139.5	15.6%
回答無	5.0	0.6%
総計	896.0	



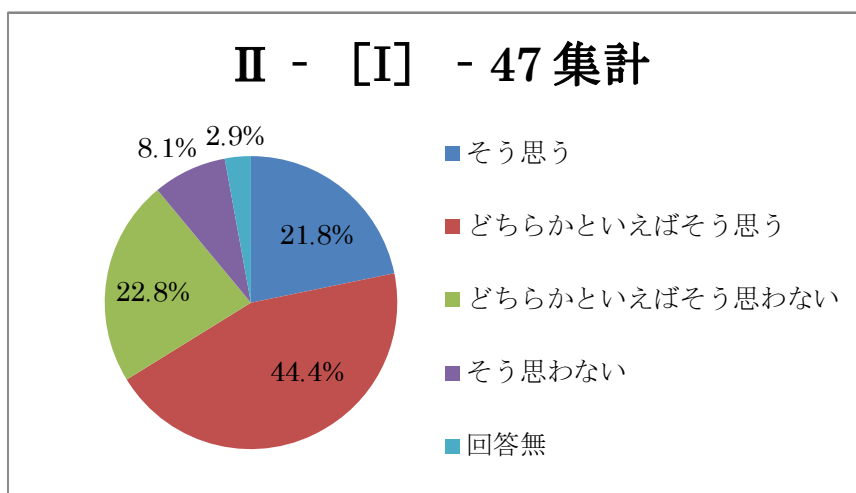
Ⅱ - [H] - 46

学校食堂・売店・カフェテリアなどは原則として民間に委託すべきものである。	集計	%
そう思う	241.0	26.9%
どちらかといえばそう思う	418.0	46.7%
どちらかといえばそう思わない	158.0	17.6%
そう思わない	67.0	7.5%
回答無	12.0	1.3%
総計	896.0	



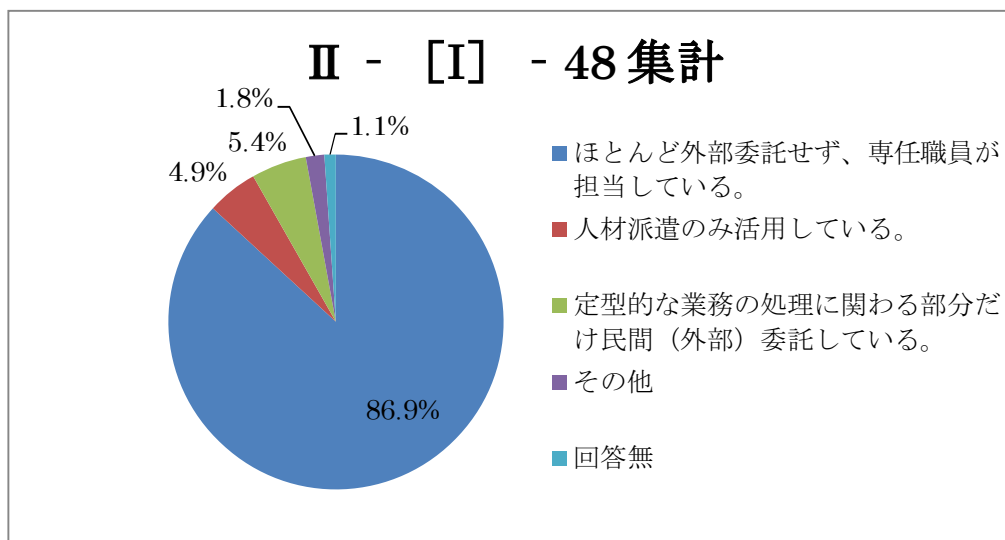
Ⅱ - [I] - 47

学校事務職を教職員の中の不可欠な人材として重視する立場から、民間（外部）委託の可能な分野については積極的に委託し、教務事務的な役割を拡大すべきである。	集計	%
そう思う	195.0	21.8%
どちらかといえばそう思う	398.0	44.4%
どちらかといえばそう思わない	204.0	22.8%
そう思わない	73.0	8.1%
回答無	26.0	2.9%
総計	896.0	



Ⅱ - [I] - 48

学校事務の民間(外部)委託の現状についてどのようにお考えですか。	集計	%
ほとんど外部委託せず、専任職員が担当している。	778.5	86.9%
人材派遣のみ活用している。	43.5	4.9%
定型的な業務の処理に関わる部分だけ民間(外部)委託している。	48.0	5.4%
その他	16.0	1.8%
回答無	10.0	1.1%
総計	896.0	



IV 平成24年調査のクロス集計データ

① 公私立中学校別

I-1) 勤務校の種類

	II-[A]-1	わが国の学校は多くの役割・任務を引き受けすぎており、「守備範囲」を縮小すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	366 53.0%	286 41.4%	32 4.6%	6 0.9%	1 0.1%	691 100.0%
2.私立	52 25.5%	94 46.1%	41 20.1%	14 6.9%	3 1.5%	204 100.0%
回答無	1 100.0%					1 100.0%
総計	419 46.8%	380 42.4%	73 8.1%	20 2.2%	4 0.4%	896 100.0%

	II-[A]-2	現在、学校が担っている役割や任務のなかには、民間の機関や団体に委ねられる事柄が少なくない。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	175 25.3%	379 54.8%	121 17.5%	13 1.9%	3 0.4%	691 100.0%
2.私立	32 15.7%	86 42.2%	68 33.3%	15 7.4%	3 1.5%	204 100.0%
回答無			1 100.0%			1 100.0%
総計	207 23.1%	465 51.9%	190 21.2%	28 3.1%	6 0.7%	896 100.0%

	II-[A]-3	学校と塾は協同できる面があると思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	43 6.2%	304 44.0%	269 38.9%	73 10.6%	2 0.3%	691 100.0%
2.私立	34 16.7%	114 55.9%	40 19.6%	12 5.9%	4 2.0%	204 100.0%
回答無		1 100.0%				1 100.0%
総計	77 8.6%	419 46.8%	309 34.5%	85 9.5%	6 0.7%	896 100.0%

	II - [A] - 4	塾や予備校はわが国の教育において、きわめて大きな役割を果たしていると思う。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	50 7.2%	370 53.5%	227 32.9%	42 6.1%	2 0.3%	691 100.0%
2. 私立	39 19.1%	121 59.3%	36 17.6%	7 3.4%	1 0.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	89 9.9%	492 54.9%	263 29.4%	49 5.5%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [A] - 5	塾などの民間教育施設は、学校週5日制の拡充に伴う「受け皿」としての役割の一端を担うことができると思う。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	29 4.2%	318 46.0%	274 39.7%	66 9.6%	4 0.6%	691 100.0%
2. 私立	24 11.8%	92.5 45.3%	71.5 35.0%	14 6.9%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	53 5.9%	411.5 45.9%	345.5 38.6%	80 8.9%	6 0.7%	896 100.0%

	II - [A] - 6	いわゆるダブル・スクール現象は積極的に評価されてよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	14 2.0%	144 20.8%	428 61.9%	93 13.5%	12 1.7%	691 100.0%
2. 私立	8 3.9%	52 25.5%	119 58.3%	23 11.3%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	22 2.5%	197 22.0%	547 61.0%	116 12.9%	14 1.6%	896 100.0%

	II - [A]-7	学校における生徒補導は、PTAなどの地域パトロールに期待するところが多い。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	67 9.7%	275 39.8%	277 40.1%	68 9.8%	4 0.6%	691 100.0%
2. 私立	12 5.9%	78 38.2%	90 44.1%	23 11.3%	1 0.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	79 8.8%	353 39.4%	368 41.1%	91 10.2%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [B]-8	体育・音楽・美術などの教科の指導に際しては、できるだけ民間の専門家の協力を求めた方がよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	56 8.1%	285 41.2%	269 38.9%	80 11.6%	1 0.1%	691 100.0%
2. 私立	23 11.3%	80 39.2%	74 36.3%	25 12.3%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	79 8.8%	365 40.7%	344 38.4%	105 11.7%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [B]-9	校外ボランティアを教育委員会に登録し、学校教育の領域でも積極的に活用すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	183 26.5%	450 65.1%	49 7.1%	7 1.0%	2 0.3%	691 100.0%
2. 私立	39 19.1%	113 55.4%	40 19.6%	8 3.9%	4 2.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	222 24.8%	564 62.9%	89 9.9%	15 1.7%	6 0.7%	896 100.0%

	II - [B] - 10	国際理解学習の拡充のためには外国人留学生など民間人の貢献が不可欠である。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	105 15.2%	429 62.1%	137 19.8%	18 2.6%	2 0.3%	691 100.0%
2. 私立	44 21.6%	125 61.3%	29 14.2%	4 2.0%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	149 16.6%	555 61.9%	166 18.5%	22 2.5%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [B] - 11	場合によっては、塾や予備校の講師が学校で教えることがあってもよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	51 7.4%	269 38.9%	248 35.9%	121 17.5%	2 0.3%	691 100.0%
2. 私立	26 12.7%	102 50.0%	56 27.5%	18 8.8%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	77 8.6%	372 41.5%	304 33.9%	139 15.5%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [B] - 12	生徒相談はスクール・カウンセラーなど民間の専門家に期待するところが多い。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	171 24.7%	333 48.2%	157 22.7%	29 4.2%	1 0.1%	691 100.0%
2. 私立	66 32.4%	97 47.5%	37 18.1%	2 1.0%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	237 26.5%	430 48.0%	195 21.8%	31 3.5%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [B] - 13	教員免許がなくても、地域や民間の専門家が外部講師として大いに活用されてよい。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	163 23.6%	403 58.3%	99 14.3%	25 3.6%	1 0.1%	691 100.0%
2. 私立	56 27.5%	115 56.4%	26 12.7%	5 2.5%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	219 24.4%	519 57.9%	125 14.0%	30 3.3%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [C] - 14	「プール指導」は原則として民間の水泳教室やスイミング・クラブに委託した方がよい。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	96 13.9%	210 30.4%	281 40.7%	99 14.3%	5 0.7%	691 100.0%
2. 私立	28 13.7%	79 38.7%	66 32.4%	25 12.3%	6 2.9%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	124 13.8%	289 32.3%	348 38.8%	124 13.8%	11 1.2%	896 100.0%

	II - [C] - 15	補習授業に際しては、塾や予備校の援助をうけることがあってよい。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	40 5.8%	281 40.7%	257 37.2%	109 15.8%	4 0.6%	691 100.0%
2. 私立	20 9.8%	94 46.1%	63 30.9%	26 12.7%	1 0.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	60 6.7%	376 42.0%	320 35.7%	135 15.1%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [C] - 16	高校では予備校の通信衛星授業が利用されてよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	70 10.1%	347 50.2%	186 26.9%	68 9.8%	20 2.9%	691 100.0%
2. 私立	24 11.8%	86 42.2%	65 31.9%	27 13.2%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	94 10.5%	434 48.4%	251 28.0%	95 10.6%	22 2.5%	896 100.0%

	II - [C] - 17	公立学校における外国人子弟の教育に際しては、民間の教育機関やスタッフの協力が不可欠である。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	189 27.4%	423 61.2%	66 9.6%	6 0.9%	7 1.0%	691 100.0%
2. 私立	32 15.7%	115 56.4%	29 14.2%	4 2.0%	24 11.8%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	221 24.7%	539 60.2%	95 10.6%	10 1.1%	31 3.5%	896 100.0%

	II - [C] - 18	民間の機関や施設と提携して、勤労体験学習を積極的に推進すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	332 48.0%	319 46.2%	30 4.3%	3 0.4%	7 1.0%	691 100.0%
2. 私立	72 35.3%	102 50.0%	24 11.8%	3 1.5%	3 1.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	404 45.1%	422 47.1%	54 6.0%	6 0.7%	10 1.1%	896 100.0%

	II - [C] -19	セカンド・スクール(移動学校・移動教室)の実施にあたっては、民間の教育機関や施設との提携も望まれる。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	185 26.8%	429 62.1%	57 8.2%	14 2.0%	6 0.9%	691 100.0%
2.私立	58 28.4%	123 60.3%	16 7.8%	3 1.5%	4 2.0%	204 100.0%
回答無	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	244 27.2%	552 61.6%	73 8.1%	17 1.9%	10 1.1%	896 100.0%

	II - [C] -20	スポーツ・芸術領域で才能豊かな生徒は、民間のクラブや団体に委託して、特別な教育・訓練が受けられるように公費で措置すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	129 18.7%	311 45.0%	192 27.8%	52 7.5%	7 1.0%	691 100.0%
2.私立	54.5 26.7%	82.5 40.4%	52 25.5%	10 4.9%	5 2.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	183.5 20.5%	394.5 44.0%	244 27.2%	62 6.9%	12 1.3%	896 100.0%

	II - [C] -21	高校と専修学校・各種学校との単位の互換制度はさらに拡充される必要がある。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	137 19.8%	441 63.8%	77 11.1%	16 2.3%	20 2.9%	691 100.0%
2.私立	26 12.7%	79 38.7%	83 40.7%	11 5.4%	5 2.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	163 18.2%	521 58.1%	160 17.9%	27 3.0%	25 2.8%	896 100.0%

	II - [C] -22	中学校についても、学校外における学習成果(英検・漢字検など)が教科活動の一部として認定されてもよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	100 14.5%	353.5 51.2%	189 27.4%	43.5 6.3%	5 0.7%	691 100.0%
2.私立	60 29.4%	100 49.0%	35 17.2%	6 2.9%	3 1.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	160 17.9%	453.5 50.6%	225 25.1%	49.5 5.5%	8 0.9%	896 100.0%

	II - [C] -23	塾などの民間教育施設における教育も、一定の条件さえ満たせば、フォーマルなものとして認められてよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	34 4.9%	196 28.4%	339 49.1%	113 16.4%	9 1.3%	691 100.0%
2.私立	4 2.0%	49.5 24.3%	117.5 57.6%	29 14.2%	4 2.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	38 4.2%	246.5 27.5%	456.5 50.9%	142 15.8%	13 1.5%	896 100.0%

	II - [C] -24	学校掃除には教育的な意味があり、業者に委託することは望ましくない。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	295 42.7%	283 41.0%	88 12.7%	20 2.9%	5 0.7%	691 100.0%
2.私立	66 32.4%	92 45.1%	32 15.7%	10 4.9%	4 2.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	361 40.3%	376 42.0%	120 13.4%	30 3.3%	9 1.0%	896 100.0%

	II - [C] -25	不登校児に対する教育に関しては、塾など民間教育施設に期待するところが大きい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	56 8.1%	278.5 40.3%	286.5 41.5%	64 9.3%	6 0.9%	691 100.0%
2.私立	28 13.7%	97 47.5%	64 31.4%	10 4.9%	5 2.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	84 9.4%	376.5 42.0%	350.5 39.1%	74 8.3%	11 1.2%	896 100.0%

	II - [D] -26	進路指導にあたっては、塾や予備校の進学・受験情報を大いに活用するべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	53 7.7%	258 37.3%	286 41.4%	91 13.2%	3 0.4%	691 100.0%
2.私立	70 34.3%	97 47.5%	31 15.2%	6 2.9%	0.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	123 13.7%	356 39.7%	317 35.4%	97 10.8%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [D] -27	いわゆる業者テストには効用が有り、一定の条件付で、学校が利用するのは構わないと思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	171 24.7%	441 63.8%	66 9.6%	12 1.7%	1 0.1%	691 100.0%
2.私立	74 36.3%	116 56.9%	12 5.9%	1 0.5%	1 0.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	245 27.3%	558 62.3%	78 8.7%	13 1.5%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [D] -28	ケースによっては、学内テストの採点を一括して業者に委託することが考えられてもよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	85 12.3%	261 37.8%	225 32.6%	119 17.2%	1 0.1%	691 100.0%
2.私立	8 3.9%	42 20.6%	90 44.1%	64 31.4%		204 100.0%
回答無		1 100.0%				1 100.0%
総計	93 10.4%	304 33.9%	315 35.2%	183 20.4%	1 0.1%	896 100.0%

	II - [D] -29	補助教材やテストは業者の作成にかかるものを利用した方がよいと思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	54 7.8%	291 42.1%	284.5 41.2%	59.5 8.6%	2 0.3%	691 100.0%
2.私立	9 4.4%	61 29.9%	113 55.4%	20 9.8%	1 0.5%	204 100.0%
回答無		1 100.0%				1 100.0%
総計	63 7.0%	353 39.4%	397.5 44.4%	79.5 8.9%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [D] -30	入試に際しては、ボランティア活動など学校外における活動が考慮されてよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	149 21.6%	416 60.2%	104 15.1%	20 2.9%	2 0.3%	691 100.0%
2.私立	28 13.7%	105 51.5%	57 27.9%	14 6.9%		204 100.0%
回答無		1 100.0%				1 100.0%
総計	177 19.8%	522 58.3%	161 18.0%	34 3.8%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [E] - 31	部活動はほんらい各学校で行われるべきものではなく、地域の教育・文化・スポーツ活動の一環として位置づけられることが望ましい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	140 20.3%	211 30.5%	243 35.2%	95 13.7%	2 0.3%	691 100.0%
2. 私立	19 9.3%	38 18.6%	98 48.0%	49 24.0%	0.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	159 17.7%	250 27.9%	341 38.1%	144 16.1%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [E] - 32	学校教育上、部活動はきわめて重要な役割を果たしており、今後も存続させるべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	276 39.9%	286 41.4%	96 13.9%	31 4.5%	2 0.3%	691 100.0%
2. 私立	98 48.0%	75 36.8%	21 10.3%	10 4.9%	0.0%	204 100.0%
回答無	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	375 41.9%	361 40.3%	117 13.1%	41 4.6%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [E] - 33	部活動はほんらい学校の役割とはいえず、徐々に縮小すべきだと思う。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	78 11.3%	159 23.0%	283 41.0%	171 24.7%	0.0%	691 100.0%
2. 私立	13 6.4%	22 10.8%	90 44.1%	78 38.2%	1 0.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	91 10.2%	181 20.2%	374 41.7%	249 27.8%	1 0.1%	896 100.0%

	II - [E] - 34	学校における部活動は原則として廃止し、地域や民間の団体に委ねた方がよい。			
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	総計
1. 公立	66 9.6%	134 19.4%	241 34.9%	250 36.2%	691 100.0%
2. 私立	11 5.4%	18 8.8%	66 32.4%	109 53.4%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	1 100.0%
総計	77 8.6%	152 17.0%	308 34.4%	359 40.1%	896 100.0%

	II - [E] - 35	現在のように学校単位で部活動を行うのではなく、地域の複数の学校が共同で実施するシステムが考えられてよい。					
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計	
1. 公立	116 16.8%	346 50.1%	154 22.3%	73 10.6%	2 0.3%	691 100.0%	
2. 私立	13 6.4%	78 38.2%	76 37.3%	36 17.6%	1 0.5%	204 100.0%	
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%	
総計	129 14.4%	424 47.3%	231 25.8%	109 12.2%	3 0.3%	896 100.0%	

	II - [E] - 36	部活動の指導者として、地域や民間の専門家を積極的に活用すべきである。					
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計	
1. 公立	202.5 29.3%	365.5 52.9%	90.5 13.1%	22.5 3.3%	10 1.4%	691 100.0%	
2. 私立	53 26.0%	101.5 49.8%	33 16.2%	12.5 6.1%	4 2.0%	204 100.0%	
回答無	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%	
総計	256.5 28.6%	467 52.1%	123.5 13.8%	35 3.9%	14 1.6%	896 100.0%	

	II - [E] - 37	部活や生徒会のリーダーには民間の機関や施設で研修をうける機会が与えられた方がよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	119 17.2%	384 55.6%	143 20.7%	24 3.5%	21 3.0%	691 100.0%
2. 私立	39 19.1%	112 54.9%	36 17.6%	8 3.9%	9 4.4%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	158 17.6%	497 55.5%	179 20.0%	32 3.6%	30 3.3%	896 100.0%

	II - [F] - 38	学校の警備や施設・設備の管理は原則として全面的に民間に委託すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	272 39.4%	305.5 44.2%	88.5 12.8%	22 3.2%	3 0.4%	691 100.0%
2. 私立	36 17.6%	75 36.8%	73 35.8%	18 8.8%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	308 34.4%	381.5 42.6%	161.5 18.0%	40 4.5%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [F] - 39	地域の教育・文化・スポーツ活動のために、学校の施設・設備をもっと積極的に開放すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	149 21.6%	379 54.8%	146 21.1%	16 2.3%	1 0.1%	691 100.0%
2. 私立	30 14.7%	101 49.5%	68 33.3%	4 2.0%	1 0.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	179 20.0%	481 53.7%	214 23.9%	20 2.2%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [F] - 40	多様な教育活動を展開するために、民間の施設・設備をもっと活用すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	214 31.0%	441.5 63.9%	31.5 4.6%	2 0.3%	2 0.3%	691 100.0%
2. 私立	51 25.0%	137 67.2%	14 6.9%	0.0%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	265 29.6%	579.5 64.7%	45.5 5.1%	2 0.2%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [G] - 41	教員研修に際しては民間の講師を大いに活用すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	239 34.6%	377.5 54.6%	64.5 9.3%	8 1.2%	2 0.3%	691 100.0%
2. 私立	71 34.8%	112 54.9%	18 8.8%	2 1.0%	1 0.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	310 34.6%	490.5 54.7%	82.5 9.2%	10 1.1%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [G] - 42	民間機関や施設での教員研修が積極的に推進されるべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 公立	227 32.9%	372.5 53.9%	82.5 11.9%	7 1.0%	2 0.3%	691 100.0%
2. 私立	70 34.3%	112 54.9%	18 8.8%	2 1.0%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	297 33.1%	485.5 54.2%	100.5 11.2%	9 1.0%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [G] -43	教員養成の過程において民間での教育・訓練を制度化することが必要だと思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	145 21.0%	319.5 46.2%	190.5 27.6%	33 4.8%	3 0.4%	691 100.0%
2.私立	40 19.6%	87 42.6%	65 31.9%	10 4.9%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	185 20.6%	406.5 45.4%	256.5 28.6%	43 4.8%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [H] -44	小・中学校における給食指導は、教育活動の一環をなしており、学校給食は今後も原則として存続させる必要がある。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	217 31.4%	312 45.2%	112 16.2%	49 7.1%	1 0.1%	691 100.0%
2.私立	36 17.6%	81 39.7%	57 27.9%	23 11.3%	7 3.4%	204 100.0%
回答無	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	254 28.3%	393 43.9%	169 18.9%	72 8.0%	8 0.9%	896 100.0%

	II - [H] -45	高校ではもちろん、中学校でも可能な限り民間経営の食堂を設けるのが望ましい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	78 11.3%	205 29.7%	280.5 40.6%	124.5 18.0%	3 0.4%	691 100.0%
2.私立	40 19.6%	90.5 44.4%	57.5 28.2%	14 6.9%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	1 100.0%
総計	118 13.2%	295.5 33.0%	338 37.7%	139.5 15.6%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [H] - 46	学校食堂・売店・カフェテリアなどは原則として民間に委託すべきものである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	184 26.6%	312 45.2%	127 18.4%	59 8.5%	9 1.3%	691 100.0%
2.私立	57 27.9%	106 52.0%	30 14.7%	8 3.9%	3 1.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	241 26.9%	418 46.7%	158 17.6%	67 7.5%	12 1.3%	896 100.0%

	II - [I] - 47	学校事務職を教職員の中の不可欠な人材として重視する立場から、民間(外部)委託の可能な分野については積極的に委託し、教務事務的な役割を拡大すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.公立	156 22.6%	314 45.4%	139 20.1%	61 8.8%	21 3.0%	691 100.0%
2.私立	39 19.1%	84 41.2%	65 31.9%	11 5.4%	5 2.5%	204 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%	0.0%	1 100.0%
総計	195 21.8%	398 44.4%	204 22.8%	73 8.1%	26 2.9%	896 100.0%

	II - [I] - 48	学校事務の民間(外部)委託の現状についてどのようにお考えですか。				
	1.ほとんど外 部委託せ ず、専任職 員が担当し ている	2.人材派遣のみ活 用している	3.定型的な業務の 処理に関わる部分 だけ民間(外部)委 託している	5.その他	回答無	総計
1.公立	651.5 94.3%	12 1.7%	7 1.0%	12.5 1.8%	8 1.2%	691 100.0%
2.私立	126 61.8%	31.5 15.4%	41 20.1%	3.5 1.7%	2 1.0%	204 100.0%
回答無	1 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 100.0%
総計	778.5 86.9%	43.5 4.9%	48 5.4%	16 1.8%	10 1.1%	896 100.0%

② 性別

	II - [A] - 1	わが国の学校は多くの役割・任務を引き受けすぎており、「守備範囲」を縮小すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	391 47.5%	346 42.0%	66 8.0%	19 2.3%	2 0.2%	824 100.0%
2.女	27 38.6%	33 47.1%	7 10.0%	1 1.4%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	419 46.8%	380 42.4%	73 8.1%	20 2.2%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [A] - 2	現在、学校が担っている役割や任務のなかには、民間の機関や団体に委ねられる事柄が少なくない。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	191 23.2%	431 52.3%	170 20.6%	27 3.3%	5 0.6%	824 100.0%
2.女	16 22.9%	33 47.1%	19 27.1%	1 1.4%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	207 23.1%	465 51.9%	190 21.2%	28 3.1%	6 0.7%	896 100.0%

	II - [A] - 3	学校と塾は協同できる面があると思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	70 8.5%	379 46.0%	290 35.2%	80 9.7%	5 0.6%	824 100.0%
2.女	7 10.0%	39 55.7%	19 27.1%	4 5.7%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	77 8.6%	419 46.8%	309 34.5%	85 9.5%	6 0.7%	896 100.0%

	Ⅱ-[A]-4	塾や予備校はわが国の教育において、きわめて大きな役割を果たしていると思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	82 10.0%	452 54.9%	241 29.2%	47 5.7%	2 0.2%	824 100.0%
2.女	7 10.0%	38 54.3%	22 31.4%	2 2.9%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	0.0%	2 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	89 9.9%	492 54.9%	263 29.4%	49 5.5%	3 0.3%	896 100.0%

	Ⅱ-[A]-5	塾などの民間教育施設は、学校週5日制の拡充に伴う「受け皿」としての役割の一端を担うことができると思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	51 6.2%	376 45.6%	315 38.2%	77 9.3%	5 0.6%	824 100.0%
2.女	2 2.9%	34.5 49.3%	29.5 42.1%	3 4.3%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	53 5.9%	411.5 45.9%	345.5 38.6%	80 8.9%	6 0.7%	896 100.0%

	Ⅱ-[A]-6	いわゆるダブル・スクール現象は積極的に評価されてよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	22 2.7%	178 21.6%	502 60.9%	110 13.3%	12 1.5%	824 100.0%
2.女	0.0%	18 25.7%	45 64.3%	5 7.1%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	0.0%	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	2 100.0%
総計	22 2.5%	197 22.0%	547 61.0%	116 12.9%	14 1.6%	896 100.0%

	II-[A]-7	学校における生徒補導は、PTAなどの地域パトロールに期待するところが大きい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	70 8.5%	333 40.4%	333 40.4%	84 10.2%	4 0.5%	824 100.0%
2.女	8 11.4%	19 27.1%	35 50.0%	7 10.0%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	79 8.8%	353 39.4%	368 41.1%	91 10.2%	5 0.6%	896 100.0%

	II-[B]-8	体育・音楽・美術などの教科の指導に際しては、できるだけ民間の専門家の協力を求めた方がよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	71 8.6%	337 40.9%	316 38.3%	99 12.0%	1 0.1%	824 100.0%
2.女	8 11.4%	27 38.6%	27 38.6%	6 8.6%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	79 8.8%	365 40.7%	344 38.4%	105 11.7%	3 0.3%	896 100.0%

	II-[B]-9	校外ボランティアを教育委員会に登録し、学校教育の領域でも積極的に活用すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	203 24.6%	521 63.2%	83 10.1%	13 1.6%	4 0.5%	824 100.0%
2.女	18 25.7%	43 61.4%	5 7.1%	2 2.9%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	222 24.8%	564 62.9%	89 9.9%	15 1.7%	6 0.7%	896 100.0%

	II - [B] - 10	国際理解学習の拡充のためには外国人留学生など民間人の貢献が不可欠である。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	132 16.0%	513 62.3%	156 18.9%	21 2.5%	2 0.2%	824 100.0%
2. 女	16 22.9%	42 60.0%	9 12.9%	1 1.4%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	149 16.6%	555 61.9%	166 18.5%	22 2.5%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [B] - 11	場合によっては、塾や予備校の講師が学校で教えることがあってもよい。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	73 8.9%	341 41.4%	276 33.5%	132 16.0%	2 0.2%	824 100.0%
2. 女	4 5.7%	30 42.9%	28 40.0%	6 8.6%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	0.0%	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	2 100.0%
総計	77 8.6%	372 41.5%	304 33.9%	139 15.5%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [B] - 12	生徒相談はスクール・カウンセラーなど民間の専門家に期待するところが多い。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	215 26.1%	400 48.5%	177 21.5%	31 3.8%	1 0.1%	824 100.0%
2. 女	21 30.0%	30 42.9%	17 24.3%	0.0%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	237 26.5%	430 48.0%	195 21.8%	31 3.5%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [B] - 13	教員免許状がなくても、地域や民間の専門家が外部講師として大いに活用されてよい。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	205 24.9%	474 57.5%	116 14.1%	28 3.4%	1 0.1%	824 100.0%
2. 女	13 18.6%	45 64.3%	8 11.4%	2 2.9%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	219 24.4%	519 57.9%	125 14.0%	30 3.3%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [C] - 14	「プール指導」は原則として民間の水泳教室やスイミング・クラブに委託した方がよい。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	113 13.7%	263 31.9%	324 39.3%	114 13.8%	10 1.2%	824 100.0%
2. 女	11 15.7%	25 35.7%	23 32.9%	10 14.3%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	124 13.8%	289 32.3%	348 38.8%	124 13.8%	11 1.2%	896 100.0%

	II - [C] - 15	補習授業に際しては、塾や予備校の援助をうけることがあってよい。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	53 6.4%	350 42.5%	289 35.1%	127 15.4%	5 0.6%	824 100.0%
2. 女	7 10.0%	26 37.1%	30 42.9%	7 10.0%	0.0%	70 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	2 100.0%
総計	60 6.7%	376 42.0%	320 35.7%	135 15.1%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [C] - 16	高校では予備校の通信衛星授業が利用されてよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	86 10.4%	404 49.0%	228 27.7%	86 10.4%	20 2.4%	824 100.0%
2.女	8 11.4%	29 41.4%	23 32.9%	8 11.4%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	0.0%	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	2 100.0%
総計	94 10.5%	434 48.4%	251 28.0%	95 10.6%	22 2.5%	896 100.0%

	II - [C] - 17	公立学校における外国人子弟の教育に際しては、民間の教育機関やスタッフの協力が不可欠である。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	202 24.5%	500 60.7%	88 10.7%	9 1.1%	25 3.0%	824 100.0%
2.女	18 25.7%	39 55.7%	6 8.6%	1 1.4%	6 8.6%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	221 24.7%	539 60.2%	95 10.6%	10 1.1%	31 3.5%	896 100.0%

	II - [C] - 18	民間の機関や施設と提携して、勤労体験学習を積極的に推進すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	374 45.4%	386 46.8%	49 5.9%	6 0.7%	9 1.1%	824 100.0%
2.女	29 41.4%	36 51.4%	4 5.7%	0.0%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	404 45.1%	422 47.1%	54 6.0%	6 0.7%	10 1.1%	896 100.0%

	II - [C] -19	セカンド・スクール(移動学校・移動教室)の実施にあたっては、民間の教育機関や施設との提携も望まれる。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	218 26.5%	513 62.3%	66 8.0%	17 2.1%	10 1.2%	824 100.0%
2.女	25 35.7%	39 55.7%	6 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	244 27.2%	552 61.6%	73 8.1%	17 1.9%	10 1.1%	896 100.0%

	II - [C] -20	スポーツ・芸術領域で才能豊かな生徒は、民間のクラブや団体に委託して、特別な教育・訓練が受けられるように公費で措置すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	167.5 20.3%	362.5 44.0%	226 27.4%	57 6.9%	11 1.3%	824 100.0%
2.女	15 21.4%	32 45.7%	17 24.3%	5 7.1%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	183.5 20.5%	394.5 44.0%	244 27.2%	62 6.9%	12 1.3%	896 100.0%

	II - [C] -21	高校と専修学校・各種学校との単位の互換制度はさらに拡充される必要がある。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	145 17.6%	487 59.1%	145 17.6%	23 2.8%	24 2.9%	824 100.0%
2.女	17 24.3%	34 48.6%	14 20.0%	4 5.7%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	163 18.2%	521 58.1%	160 17.9%	27 3.0%	25 2.8%	896 100.0%

	II - [C] -22	中学校についても、学校外における学習成果(英検・漢字検など)が教科活動の一部として認定されてもよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	148 18.0%	415.5 50.4%	205 24.9%	47.5 5.8%	8 1.0%	824 100.0%
2.女	12 17.1%	36 51.4%	20 28.6%	2 2.9%	0.0%	70 100.0%
回答無	0.0%	2 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	160 17.9%	453.5 50.6%	225 25.1%	49.5 5.5%	8 0.9%	896 100.0%

	II - [C] -23	塾などの民間教育施設における教育も、一定の条件さえ満たせば、フォーマルなものとして認められてよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	35 4.2%	229.5 27.9%	417.5 50.7%	131 15.9%	11 1.3%	824 100.0%
2.女	3 4.3%	17 24.3%	38 54.3%	10 14.3%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	2 100.0%
総計	38 4.2%	246.5 27.5%	456.5 50.9%	142 15.8%	13 1.5%	896 100.0%

	II - [C] -24	学校掃除には教育的な意味があり、業者に委託することは望ましくない。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	336 40.8%	339 41.1%	111 13.5%	30 3.6%	8 1.0%	824 100.0%
2.女	24 34.3%	36 51.4%	9 12.9%	0.0%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	361 40.3%	376 42.0%	120 13.4%	30 3.3%	9 1.0%	896 100.0%

	II - [C] -25	不登校児に対する教育に関しては、塾など民間教育施設に期待するところが大きい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	77 9.3%	343.5 41.7%	322.5 39.1%	71 8.6%	10 1.2%	824 100.0%
2.女	7 10.0%	33 47.1%	26 37.1%	3 4.3%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	2 100.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	84 9.4%	376.5 42.0%	350.5 39.1%	74 8.3%	11 1.2%	896 100.0%

	II - [D] -26	進路指導にあたっては、塾や予備校の進学・受験情報を大いに活用するべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	113 13.7%	323 39.2%	293 35.6%	92 11.2%	3 0.4%	824 100.0%
2.女	10 14.3%	32 45.7%	23 32.9%	5 7.1%	0.0%	70 100.0%
回答無	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	123 13.7%	356 39.7%	317 35.4%	97 10.8%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [D] -27	いわゆる業者テストには効用が有り、一定の条件付で、学校が利用するのは構わないと思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	224 27.2%	519 63.0%	67 8.1%	12 1.5%	2 0.2%	824 100.0%
2.女	20 28.6%	38 54.3%	11 15.7%	1 1.4%	0.0%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	245 27.3%	558 62.3%	78 8.7%	13 1.5%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [D] -28	ケースによっては、学内テストの採点を一括して業者に委託することが考えられてもよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	86 10.4%	285 34.6%	284 34.5%	168 20.4%	1 0.1%	824 100.0%
2.女	6 8.6%	19 27.1%	30 42.9%	15 21.4%		70 100.0%
回答無	1 50.0%		1 50.0%			2 100.0%
総計	93 10.4%	304 33.9%	315 35.2%	183 20.4%	1 0.1%	896 100.0%

	II - [D] -29	補助教材やテストは業者の作成にかかるものを利用した方がよいと思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	58 7.0%	330 40.0%	355.5 43.1%	77.5 9.4%	3 0.4%	824 100.0%
2.女	4 5.7%	23 32.9%	41 58.6%	2 2.9%		70 100.0%
回答無	1 50.0%		1 50.0%			2 100.0%
総計	63 7.0%	353 39.4%	397.5 44.4%	79.5 8.9%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [D] -30	入試に際しては、ボランティア活動など学校外における活動が考慮されてよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	165 20.0%	479 58.1%	147 17.8%	31 3.8%	2 0.2%	824 100.0%
2.女	12 17.1%	42 60.0%	13 18.6%	3 4.3%		70 100.0%
回答無		1 50.0%	1 50.0%			2 100.0%
総計	177 19.8%	522 58.3%	161 18.0%	34 3.8%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [E] - 31	部活動はほんらい各学校で行われるべきものではなく、地域の教育・文化・スポーツ活動の一環として位置づけられることが望ましい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	147 17.8%	229 27.8%	316 38.3%	130 15.8%	2 0.2%	824 100.0%
2. 女	11 15.7%	21 30.0%	24 34.3%	14 20.0%	0 0.0%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	159 17.7%	250 27.9%	341 38.1%	144 16.1%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [E] - 32	学校教育上、部活動はきわめて重要な役割を果たしており、今後も存続させるべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	346 42.0%	334 40.5%	101 12.3%	41 5.0%	2 0.2%	824 100.0%
2. 女	28 40.0%	26 37.1%	16 22.9%	0 0.0%	0 0.0%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	375 41.9%	361 40.3%	117 13.1%	41 4.6%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [E] - 33	部活動はほんらい学校の役割とはいえず、徐々に縮小すべきだと思う。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	85 10.3%	162 19.7%	347 42.1%	229 27.8%	1 0.1%	824 100.0%
2. 女	6 8.6%	19 27.1%	25 35.7%	20 28.6%	0 0.0%	70 100.0%
回答無	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	91 10.2%	181 20.2%	374 41.7%	249 27.8%	1 0.1%	896 100.0%

	II - [E] - 34	学校における部活動は原則として廃止し、地域や民間の団体に委ねた方がよい。			
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	総計
1. 男	71 8.6%	135 16.4%	289 35.1%	329 39.9%	824 100.0%
2. 女	6 8.6%	17 24.3%	18 25.7%	29 41.4%	70 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%
総計	77 8.6%	152 17.0%	308 34.4%	359 40.1%	896 100.0%

	II - [E] - 35	現在のように学校単位で部活動を行うのではなく、地域の複数の学校が共同で実施するシステムが考えられてよい。					
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計	
1. 男	119 14.4%	391 47.5%	213 25.8%	98 11.9%	3 0.4%	824 100.0%	
2. 女	10 14.3%	32 45.7%	17 24.3%	11 15.7%	0.0%	70 100.0%	
回答無	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%	
総計	129 14.4%	424 47.3%	231 25.8%	109 12.2%	3 0.3%	896 100.0%	

	II - [E] - 36	部活動の指導者として、地域や民間の専門家を積極的に活用すべきである。					
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計	
1. 男	229.5 27.9%	432 52.4%	117.5 14.3%	32 3.9%	13 1.6%	824 100.0%	
2. 女	27 38.6%	34 48.6%	5 7.1%	3 4.3%	1 1.4%	70 100.0%	
回答無	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%	
総計	256.5 28.6%	467 52.1%	123.5 13.8%	35 3.9%	14 1.6%	896 100.0%	

	II - [E] - 37	部活や生徒会のリーダーには民間の機関や施設で研修をうける機会が与えられた方がよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	147 17.8%	459 55.7%	165 20.0%	28 3.4%	25 3.0%	824 100.0%
2. 女	11 15.7%	37 52.9%	13 18.6%	4 5.7%	5 7.1%	70 100.0%
回答無	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	158 17.6%	497 55.5%	179 20.0%	32 3.6%	30 3.3%	896 100.0%

	II - [F] - 38	学校の警備や施設・設備の管理は原則として全面的に民間に委託すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	292 35.4%	343.5 41.7%	146.5 17.8%	37 4.5%	5 0.6%	824 100.0%
2. 女	15 21.4%	38 54.3%	14 20.0%	3 4.3%	0.0%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	308 34.4%	381.5 42.6%	161.5 18.0%	40 4.5%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [F] - 39	地域の教育・文化・スポーツ活動のために、学校の施設・設備をもっと積極的に開放すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	171 20.8%	447 54.2%	186 22.6%	18 2.2%	2 0.2%	824 100.0%
2. 女	8 11.4%	34 48.6%	27 38.6%	1 1.4%	0.0%	70 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	2 100.0%
総計	179 20.0%	481 53.7%	214 23.9%	20 2.2%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [F] - 40	多様な教育活動を展開するために、民間の施設・設備をもっと活用すべきである。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	243 29.5%	534.5 64.9%	40.5 4.9%	2 0.2%	4 0.5%	824 100.0%
2. 女	21 30.0%	45 64.3%	4 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	265 29.6%	579.5 64.7%	45.5 5.1%	2 0.2%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [G] - 41	教員研修に際しては民間の講師を大いに活用すべきである。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	281 34.1%	455.5 55.3%	74.5 9.0%	10 1.2%	3 0.4%	824 100.0%
2. 女	29 41.4%	34 48.6%	7 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	70 100.0%
回答無	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	310 34.6%	490.5 54.7%	82.5 9.2%	10 1.1%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [G] - 42	民間機関や施設での教員研修が積極的に推進されるべきである。				
	1. と思う	2. どちらかといえば と思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 男	269 32.6%	449.5 54.6%	92.5 11.2%	9 1.1%	4 0.5%	824 100.0%
2. 女	27 38.6%	36 51.4%	7 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	297 33.1%	485.5 54.2%	100.5 11.2%	9 1.0%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [G] -43	教員養成の過程において民間での教育・訓練を制度化することが必要だと思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	169 20.5%	369.5 44.8%	240.5 29.2%	40 4.9%	5 0.6%	824 100.0%
2.女	15 21.4%	37 52.9%	15 21.4%	3 4.3%	0 0.0%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	185 20.6%	406.5 45.4%	256.5 28.6%	43 4.8%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [H] -44	小・中学校における給食指導は、教育活動の一環をなしており、学校給食は今後も原則として存続させる必要がある。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	235 28.5%	362 43.9%	155 18.8%	64 7.8%	8 1.0%	824 100.0%
2.女	18 25.7%	31 44.3%	13 18.6%	8 11.4%	0 0.0%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	254 28.3%	393 43.9%	169 18.9%	72 8.0%	8 0.9%	896 100.0%

	II - [H] -45	高校ではもちろん、中学校でも可能な限り民間経営の食堂を設けるのが望ましい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	112 13.6%	272 33.0%	307.5 37.3%	128.5 15.6%	4 0.5%	824 100.0%
2.女	6 8.6%	23.5 33.6%	29.5 42.1%	10 14.3%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	118 13.2%	295.5 33.0%	338 37.7%	139.5 15.6%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [H] - 46	学校食堂・売店・カフェテリアなどは原則として民間に委託すべきものである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	225 27.3%	385 46.7%	140 17.0%	63 7.6%	11 1.3%	824 100.0%
2.女	16 22.9%	32 45.7%	17 24.3%	4 5.7%	1 1.4%	70 100.0%
回答無	0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	241 26.9%	418 46.7%	158 17.6%	67 7.5%	12 1.3%	896 100.0%

	II - [I] - 47	学校事務職を教職員の中の不可欠な人材として重視する立場から、民間(外部)委託の可能な分野については積極的に委託し、教務事務的な役割を拡大すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.男	178 21.6%	365 44.3%	189 22.9%	68 8.3%	24 2.9%	824 100.0%
2.女	16 22.9%	33 47.1%	14 20.0%	5 7.1%	2 2.9%	70 100.0%
回答無	1 50.0%	0.0%	1 50.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	195 21.8%	398 44.4%	204 22.8%	73 8.1%	26 2.9%	896 100.0%

	II - [I] - 48	学校事務の民間(外部)委託の現状についてどのようにお考えですか。				
	1.ほとんど外部委託せず、専任職員が担当している	2.人材派遣のみ活用している	3.定型的な業務の処理に関わる部分だけ民間(外部)委託している	5.その他	回答無	総計
1.男	721 87.5%	36.5 4.4%	42.5 5.2%	14 1.7%	10 1.2%	824 100.0%
2.女	55.5 79.3%	7 10.0%	5.5 7.9%	2 2.9%	0.0%	70 100.0%
回答無	2 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2 100.0%
総計	778.5 86.9%	43.5 4.9%	48 5.4%	16 1.8%	10 1.1%	896 100.0%

③ コミュニティ・スクールとしての指定

	II - [A] - 1	わが国の学校は多くの役割・任務を引き受けすぎており、「守備範囲」を縮小すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	20 48.8%	18 43.9%	2 4.9%	1 2.4%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	398 46.8%	361 42.4%	70 8.2%	19 2.2%	3 0.4%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0.0%	1 25.0%	4 100.0%
総計	419 46.8%	380 42.4%	73 8.1%	20 2.2%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [A] - 2	現在、学校が担っている役割や任務のなかには、民間の機関や団体に委ねられる事柄が少なくない。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	10 24.4%	22 53.7%	7 17.1%	2 4.9%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	196 23.0%	441 51.8%	182 21.4%	26 3.1%	6 0.7%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	207 23.1%	465 51.9%	190 21.2%	28 3.1%	6 0.7%	896 100.0%

	II - [A] - 3	学校と塾は協同できる面があると思う。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	4 9.8%	17 41.5%	17 41.5%	3 7.3%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	73 8.6%	400 47.0%	291 34.2%	81 9.5%	6 0.7%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0.0%	4 100.0%
総計	77 8.6%	419 46.8%	309 34.5%	85 9.5%	6 0.7%	896 100.0%

	II - [A] - 4	塾や予備校はわが国の教育において、きわめて大きな役割を果たしていると思う。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	4 9.8%	17 41.5%	16 39.0%	4 9.8%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	85 10.0%	473 55.6%	245 28.8%	45 5.3%	3 0.4%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	89 9.9%	492 54.9%	263 29.4%	49 5.5%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [A] - 5	塾などの民間教育施設は、学校週5日制の拡充に伴う「受け皿」としての役割の一端を担うことができると思う。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	4 9.8%	12 29.3%	22 53.7%	3 7.3%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	49 5.8%	397.5 46.7%	322.5 37.9%	76 8.9%	6 0.7%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0.0%	4 100.0%
総計	53 5.9%	411.5 45.9%	345.5 38.6%	80 8.9%	6 0.7%	896 100.0%

	II - [A] - 6	いわゆるダブル・スクール現象は積極的に評価されてよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	2 4.9%	10 24.4%	21 51.2%	8 19.5%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	20 2.4%	185 21.7%	524 61.6%	108 12.7%	14 1.6%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	22 2.5%	197 22.0%	547 61.0%	116 12.9%	14 1.6%	896 100.0%

	II - [A]-7	学校における生徒補導は、PTAなどの地域パトロールに期待するところが大きい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	5 12.2%	16 39.0%	11 26.8%	9 22.0%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	74 8.7%	335 39.4%	356 41.8%	81 9.5%	5 0.6%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0.0%	4 100.0%
総計	79 8.8%	353 39.4%	368 41.1%	91 10.2%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [B]-8	体育・音楽・美術などの教科の指導に際しては、できるだけ民間の専門家の協力を求めた方がよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	4 9.8%	11 26.8%	21 51.2%	5 12.2%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	74 8.7%	353 41.5%	322 37.8%	100 11.8%	2 0.2%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0.0%	1 25.0%	4 100.0%
総計	79 8.8%	365 40.7%	344 38.4%	105 11.7%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [B]-9	校外ボランティアを教育委員会に登録し、学校教育の領域でも積極的に活用すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	14 34.1%	27 65.9%	0.0%	0.0%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	208 24.4%	534 62.7%	89 10.5%	15 1.8%	5 0.6%	851 100.0%
回答無	0.0%	3 75.0%	0.0%	0.0%	1 25.0%	4 100.0%
総計	222 24.8%	564 62.9%	89 9.9%	15 1.7%	6 0.7%	896 100.0%

	II - [B] - 10	国際理解学習の拡充のためには外国人留学生など民間人の貢献が不可欠である。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	9 22.0%	25 61.0%	6 14.6%	1 2.4%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	139 16.3%	529 62.2%	159 18.7%	21 2.5%	3 0.4%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0.0%	1 25.0%	4 100.0%
総計	149 16.6%	555 61.9%	166 18.5%	22 2.5%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [B] - 11	場合によっては、塾や予備校の講師が学校で教えることがあってもよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	3 7.3%	19 46.3%	9 22.0%	10 24.4%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	74 8.7%	352 41.4%	292 34.3%	129 15.2%	4 0.5%	851 100.0%
回答無	0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	77 8.6%	372 41.5%	304 33.9%	139 15.5%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [B] - 12	生徒相談はスクール・カウンセラーなど民間の専門家に期待するところが多い。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	16 39.0%	15 36.6%	8 19.5%	2 4.9%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	221 26.0%	411 48.3%	187 22.0%	29 3.4%	3 0.4%	851 100.0%
回答無	0.0%	4 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	237 26.5%	430 48.0%	195 21.8%	31 3.5%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [B] - 13	教員免許状がなくても、地域や民間の専門家が外部講師として大いに活用されてよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	7 17.1%	30 73.2%	3 7.3%	1 2.4%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	212 24.9%	486 57.1%	122 14.3%	28 3.3%	3 0.4%	851 100.0%
回答無	0.0%	3 75.0%	0.0%	1 25.0%	0.0%	4 100.0%
総計	219 24.4%	519 57.9%	125 14.0%	30 3.3%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [C] - 14	「プール指導」は原則として民間の水泳教室やスイミング・クラブに委託した方がよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	7 17.1%	13 31.7%	14 34.1%	6 14.6%	1 2.4%	41 100.0%
2. 指定されていない	117 13.7%	274 32.2%	333 39.1%	118 13.9%	9 1.1%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0.0%	1 25.0%	4 100.0%
総計	124 13.8%	289 32.3%	348 38.8%	124 13.8%	11 1.2%	896 100.0%

	II - [C] - 15	補習授業に際しては、塾や予備校の援助をうけることがあってよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	3 7.3%	17 41.5%	14 34.1%	6 14.6%	1 2.4%	41 100.0%
2. 指定されていない	57 6.7%	357 42.0%	304 35.7%	129 15.2%	4 0.5%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	60 6.7%	376 42.0%	320 35.7%	135 15.1%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [C] - 16	高校では予備校の通信衛星授業が利用されてよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	5 12.2%	22 53.7%	10 24.4%	3 7.3%	1 2.4%	41 100.0%
2. 指定されていない	89 10.5%	410 48.2%	239 28.1%	92 10.8%	21 2.5%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	94 10.5%	434 48.4%	251 28.0%	95 10.6%	22 2.5%	896 100.0%

	II - [C] - 17	公立学校における外国人子弟の教育に際しては、民間の教育機関やスタッフの協力が不可欠である。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	15 36.6%	20 48.8%	5 12.2%	0.0%	1 2.4%	41 100.0%
2. 指定されていない	205 24.1%	518 60.9%	90 10.6%	10 1.2%	28 3.3%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	1 25.0%	0.0%	0.0%	2 50.0%	4 100.0%
総計	221 24.7%	539 60.2%	95 10.6%	10 1.1%	31 3.5%	896 100.0%

	II - [C] - 18	民間の機関や施設と提携して、勤労体験学習を積極的に推進すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	18 43.9%	19 46.3%	2 4.9%	1 2.4%	1 2.4%	41 100.0%
2. 指定されていない	385 45.2%	400 47.0%	52 6.1%	5 0.6%	9 1.1%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	3 75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	404 45.1%	422 47.1%	54 6.0%	6 0.7%	10 1.1%	896 100.0%

	II - [C] -19	セカンド・スクール(移動学校・移動教室)の実施にあたっては、民間の教育機関や施設との提携も望まれる。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	11 26.8%	20 48.8%	6 14.6%	3 7.3%	1 2.4%	41 100.0%
2.指定されていない	233 27.4%	528 62.0%	67 7.9%	14 1.6%	9 1.1%	851 100.0%
回答無	0.0%	4 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	244 27.2%	552 61.6%	73 8.1%	17 1.9%	10 1.1%	896 100.0%

	II - [C] -20	スポーツ・芸術領域で才能豊かな生徒は、民間のクラブや団体に委託して、特別な教育・訓練が受けられるように公費で措置すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	3 7.3%	21 51.2%	10 24.4%	6 14.6%	1 2.4%	41 100.0%
2.指定されていない	179.5 21.1%	371.5 43.7%	233 27.4%	56 6.6%	11 1.3%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	183.5 20.5%	394.5 44.0%	244 27.2%	62 6.9%	12 1.3%	896 100.0%

	II - [C] -21	高校と専修学校・各種学校との単位の互換制度はさらに拡充される必要がある。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	6 14.6%	26 63.4%	7 17.1%	1 2.4%	1 2.4%	41 100.0%
2.指定されていない	157 18.4%	494 58.0%	150 17.6%	26 3.1%	24 2.8%	851 100.0%
回答無	0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	163 18.2%	521 58.1%	160 17.9%	27 3.0%	25 2.8%	896 100.0%

	II - [C] -22	中学校についても、学校外における学習成果(英検・漢字検など)が教科活動の一部として認定されてもよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	5 12.2%	17 41.5%	13 31.7%	5 12.2%	1 2.4%	41 100.0%
2.指定されていない	155 18.2%	434.5 51.1%	210 24.7%	44.5 5.2%	7 0.8%	851 100.0%
回答無		2 50.0%	2 50.0%			4 100.0%
総計	160 17.9%	453.5 50.6%	225 25.1%	49.5 5.5%	8 0.9%	896 100.0%

	II - [C] -23	塾などの民間教育施設における教育も、一定の条件さえ満たせば、フォーマルなものとして認められてよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	3 7.3%	10 24.4%	17 41.5%	10 24.4%	1 2.4%	41 100.0%
2.指定されていない	35 4.1%	235.5 27.7%	437.5 51.4%	132 15.5%	11 1.3%	851 100.0%
回答無		1 25.0%	2 50.0%		1 25.0%	4 100.0%
総計	38 4.2%	246.5 27.5%	456.5 50.9%	142 15.8%	13 1.5%	896 100.0%

	II - [C] -24	学校掃除には教育的な意味があり、業者に委託することは望ましくない。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	12 29.3%	23 56.1%	2 4.9%	3 7.3%	1 2.4%	41 100.0%
2.指定されていない	348 40.9%	350 41.1%	118 13.9%	27 3.2%	8 0.9%	851 100.0%
回答無		1 25.0%	3 75.0%			4 100.0%
総計	361 40.3%	376 42.0%	120 13.4%	30 3.3%	9 1.0%	896 100.0%

	II - [C] -25	不登校児に対する教育に関しては、塾など民間教育施設に期待するところが大きい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	2 4.9%	17 41.5%	14 34.1%	7 17.1%	1 2.4%	41 100.0%
2.指定されていない	82 9.6%	356.5 41.9%	335.5 39.4%	67 7.9%	10 1.2%	851 100.0%
回答無	0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	84 9.4%	376.5 42.0%	350.5 39.1%	74 8.3%	11 1.2%	896 100.0%

	II - [D] -26	進路指導にあたっては、塾や予備校の進学・受験情報を大いに活用するべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	4 9.8%	16 39.0%	13 31.7%	8 19.5%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	119 14.0%	336 39.5%	304 35.7%	89 10.5%	3 0.4%	851 100.0%
回答無	0.0%	4 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	123 13.7%	356 39.7%	317 35.4%	97 10.8%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [D] -27	いわゆる業者テストには効用が有り、一定の条件付で、学校が利用するのは構わないと思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	10 24.4%	27 65.9%	3 7.3%	1 2.4%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	235 27.6%	527 61.9%	75 8.8%	12 1.4%	2 0.2%	851 100.0%
回答無	0.0%	4 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	245 27.3%	558 62.3%	78 8.7%	13 1.5%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [D] -28	ケースによっては、学内テストの採点を一括して業者に委託することが考えられてもよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	6 14.6%	16 39.0%	12 29.3%	7 17.1%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	87 10.2%	287 33.7%	300 35.3%	176 20.7%	1 0.1%	851 100.0%
回答無	0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	93 10.4%	304 33.9%	315 35.2%	183 20.4%	1 0.1%	896 100.0%

	II - [D] -29	補助教材やテストは業者の作成にかかるものを利用した方がよいと思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	4 9.8%	15 36.6%	15 36.6%	7 17.1%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	59 6.9%	337 39.6%	379.5 44.6%	72.5 8.5%	3 0.4%	851 100.0%
回答無	0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	63 7.0%	353 39.4%	397.5 44.4%	79.5 8.9%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [D] -30	入試に際しては、ボランティア活動など学校外における活動が考慮されてよい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	7 17.1%	24 58.5%	9 22.0%	1 2.4%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	169 19.9%	497 58.4%	151 17.7%	32 3.8%	2 0.2%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0.0%	4 100.0%
総計	177 19.8%	522 58.3%	161 18.0%	34 3.8%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [E] - 31	部活動はほんらい各学校で行われるべきものではなく、地域の教育・文化・スポーツ活動の一環として位置づけられることが望ましい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	8 19.5%	12 29.3%	15 36.6%	6 14.6%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	151 17.7%	238 28.0%	324 38.1%	136 16.0%	2 0.2%	851 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0.0%	4 100.0%
総計	159 17.7%	250 27.9%	341 38.1%	144 16.1%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [E] - 32	学校教育上、部活動はきわめて重要な役割を果たしており、今後も存続させるべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	17 41.5%	15 36.6%	8 19.5%	1 2.4%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	354 41.6%	346 40.7%	109 12.8%	40 4.7%	2 0.2%	851 100.0%
回答無	4 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	375 41.9%	361 40.3%	117 13.1%	41 4.6%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [E] - 33	部活動はほんらい学校の役割とはいえず、徐々に縮小すべきだと思う。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	3 7.3%	14 34.1%	13 31.7%	11 26.8%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	88 10.3%	167 19.6%	359 42.2%	236 27.7%	1 0.1%	851 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0.0%	4 100.0%
総計	91 10.2%	181 20.2%	374 41.7%	249 27.8%	1 0.1%	896 100.0%

	II - [E] - 34	学校における部活動は原則として廃止し、地域や民間の団体に委ねた方がよい。			
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	総計
1. 指定されている	3 7.3%	10 24.4%	14 34.1%	14 34.1%	41 100.0%
2. 指定されていない	74 8.7%	142 16.7%	293 34.4%	342 40.2%	851 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 25.0%	3 75.0%	4 100.0%
総計	77 8.6%	152 17.0%	308 34.4%	359 40.1%	896 100.0%

	II - [E] - 35	現在のように学校単位で部活動を行うのではなく、地域の複数の学校が共同で実施するシステムが考えられてよい。					
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計	
1. 指定されている	3 7.3%	19 46.3%	12 29.3%	7 17.1%	0.0%	41 100.0%	
2. 指定されていない	126 14.8%	404 47.5%	218 25.6%	100 11.8%	3 0.4%	851 100.0%	
回答無	0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0.0%	4 100.0%	
総計	129 14.4%	424 47.3%	231 25.8%	109 12.2%	3 0.3%	896 100.0%	

	II - [E] - 36	部活動の指導者として、地域や民間の専門家を積極的に活用すべきである。					
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計	
1. 指定されている	12 29.3%	17 41.5%	5 12.2%	6 14.6%	1 2.4%	41 100.0%	
2. 指定されていない	244.5 28.7%	448 52.6%	118.5 13.9%	29 3.4%	11 1.3%	851 100.0%	
回答無	0.0%	2 50.0%	0.0%	0.0%	2 50.0%	4 100.0%	
総計	256.5 28.6%	467 52.1%	123.5 13.8%	35 3.9%	14 1.6%	896 100.0%	

	II - [E] - 37	部活や生徒会のリーダーには民間の機関や施設で研修をうける機会が与えられた方がよい。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	8 19.5%	19 46.3%	9 22.0%	2 4.9%	3 7.3%	41 100.0%
2. 指定されていない	150 17.6%	477 56.1%	168 19.7%	29 3.4%	27 3.2%	851 100.0%
回答無	0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0.0%	4 100.0%
総計	158 17.6%	497 55.5%	179 20.0%	32 3.6%	30 3.3%	896 100.0%

	II - [F] - 38	学校の警備や施設・設備の管理は原則として全面的に民間に委託すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	19 46.3%	17 41.5%	3 7.3%	2 4.9%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	288 33.8%	363.5 42.7%	158.5 18.6%	36 4.2%	5 0.6%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	1 25.0%	0.0%	2 50.0%	0.0%	4 100.0%
総計	308 34.4%	381.5 42.6%	161.5 18.0%	40 4.5%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [F] - 39	地域の教育・文化・スポーツ活動のために、学校の施設・設備をもっと積極的に開放すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	11 26.8%	21 51.2%	9 22.0%	0.0%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	168 19.7%	459 53.9%	202 23.7%	20 2.4%	2 0.2%	851 100.0%
回答無	0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	179 20.0%	481 53.7%	214 23.9%	20 2.2%	2 0.2%	896 100.0%

	II - [F] - 40	多様な教育活動を展開するために、民間の施設・設備をもっと活用すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	15 36.6%	24 58.5%	2 4.9%	0.0%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	250 29.4%	551.5 64.8%	43.5 5.1%	2 0.2%	4 0.5%	851 100.0%
回答無	0.0%	4 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	265 29.6%	579.5 64.7%	45.5 5.1%	2 0.2%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [G] - 41	教員研修に際しては民間の講師を大いに活用すべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	20 48.8%	15 36.6%	5 12.2%	1 2.4%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	289 34.0%	472.5 55.5%	77.5 9.1%	9 1.1%	3 0.4%	851 100.0%
回答無	1 25.0%	3 75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	310 34.6%	490.5 54.7%	82.5 9.2%	10 1.1%	3 0.3%	896 100.0%

	II - [G] - 42	民間機関や施設での教員研修が積極的に推進されるべきである。				
	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらかといえば そう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 指定されている	19 46.3%	17 41.5%	4 9.8%	1 2.4%	0.0%	41 100.0%
2. 指定されていない	278 32.7%	464.5 54.6%	96.5 11.3%	8 0.9%	4 0.5%	851 100.0%
回答無	0.0%	4 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	297 33.1%	485.5 54.2%	100.5 11.2%	9 1.0%	4 0.4%	896 100.0%

	II - [G] -43	教員養成の過程において民間での教育・訓練を制度化することが必要だと思う。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	11 26.8%	18 43.9%	11 26.8%	1 2.4%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	174 20.4%	386.5 45.4%	243.5 28.6%	42 4.9%	5 0.6%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	185 20.6%	406.5 45.4%	256.5 28.6%	43 4.8%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [H] -44	小・中学校における給食指導は、教育活動の一環をなしており、学校給食は今後も原則として存続させる必要がある。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	12 29.3%	19 46.3%	5 12.2%	5 12.2%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	242 28.4%	370 43.5%	164 19.3%	67 7.9%	8 0.9%	851 100.0%
回答無	0.0%	4 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	254 28.3%	393 43.9%	169 18.9%	72 8.0%	8 0.9%	896 100.0%

	II - [H] -45	高校ではもちろん、中学校でも可能な限り民間経営の食堂を設けるのが望ましい。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	5 12.2%	15 36.6%	13 31.7%	8 19.5%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	113 13.3%	278.5 32.7%	323 38.0%	131.5 15.5%	5 0.6%	851 100.0%
回答無	0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	118 13.2%	295.5 33.0%	338 37.7%	139.5 15.6%	5 0.6%	896 100.0%

	II - [H] - 46	学校食堂・売店・カフェテリアなどは原則として民間に委託すべきものである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	13 31.7%	20 48.8%	4 9.8%	4 9.8%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	228 26.8%	395 46.4%	153 18.0%	63 7.4%	12 1.4%	851 100.0%
回答無	0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	241 26.9%	418 46.7%	158 17.6%	67 7.5%	12 1.3%	896 100.0%

	II - [I] - 47	学校事務職を教職員の中の不可欠な人材として重視する立場から、民間(外部)委託の可能な分野については積極的に委託し、教務事務的な役割を拡大すべきである。				
	1.そう思う	2.どちらかといえば そう思う	3.どちらかといえば そう思わない	4.そう思わない	回答無	総計
1.指定されている	11 26.8%	21 51.2%	6 14.6%	3 7.3%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	184 21.6%	376 44.2%	196 23.0%	69 8.1%	26 3.1%	851 100.0%
回答無	0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0.0%	4 100.0%
総計	195 21.8%	398 44.4%	204 22.8%	73 8.1%	26 2.9%	896 100.0%

	II - [I] - 48	学校事務の民間(外部)委託の現状についてどのようにお考えですか。				
	1.ほとんど外部委託せず、専任職員が担当している	2.人材派遣のみ活用している	3.定型的な業務の処理に関わる部分だけ民間(外部)委託している	5.その他	回答無	総計
1.指定されている	39.5 96.3%	0.0%	0.0%	1.5 3.7%	0.0%	41 100.0%
2.指定されていない	736 86.5%	42.5 5.0%	48 5.6%	14.5 1.7%	10 1.2%	851 100.0%
回答無	3 75.0%	1 25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4 100.0%
総計	778.5 86.9%	43.5 4.9%	48 5.4%	16 1.8%	10 1.1%	896 100.0%

④ 学校が所在する地方公共団体の種類

わが国の学校は多くの役割・任務を引き受けすぎており、「守備範囲」を縮小すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	97 42.0%	99 42.9%	24 10.4%	10 4.3%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	38 43.2%	38 43.2%	7 8.0%	5 5.7%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	218 50.2%	176 40.6%	32 7.4%	5 1.2%	3 0.7%	434 100.0%
4. 町村	65 46.4%	65 46.4%	10 7.1%	0.0%	0.0%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	419 46.8%	380 42.4%	73 8.1%	20 2.2%	4 0.4%	896 100.0%

II - [A] - 2

現在、学校が担っている役割や任務のなかには、民間の機関や団体に委ねられる事柄が少なくない。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	62 26.8%	105 45.5%	53 22.9%	10 4.3%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	14 15.9%	50 56.8%	17 19.3%	6 6.8%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	100 23.0%	236 54.4%	84 19.4%	10 2.3%	4 0.9%	434 100.0%
4. 町村	31 22.1%	73 52.1%	34 24.3%	2 1.4%	0.0%	140 100.0%
回答無	0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	207 23.1%	465 51.9%	190 21.2%	28 3.1%	6 0.7%	896 100.0%

II - [A] - 3

学校と塾は協働できる面があると思う。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	22 9.5%	124 53.7%	65 28.1%	19 8.2%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	8 9.1%	42 47.7%	28 31.8%	10 11.4%	0 0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	36 8.3%	195 44.9%	159 36.6%	40 9.2%	4 0.9%	434 100.0%
4. 町村	11 7.9%	56 40.0%	57 40.7%	15 10.7%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
総計	77 8.6%	419 46.8%	309 34.5%	85 9.5%	6 0.7%	896 100.0%

II - [A] - 4

塾や予備校はわが国の教育において、きわめて大きな役割を果たしていると思う。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	30 13.0%	131 56.7%	58 25.1%	11 4.8%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	7 8.0%	50 56.8%	24 27.3%	7 8.0%	0 0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	42 9.7%	234 53.9%	135 31.1%	21 4.8%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	10 7.1%	74 52.9%	46 32.9%	10 7.1%	0 0.0%	140 100.0%
回答無	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
総計	89 9.9%	492 54.9%	263 29.4%	49 5.5%	3 0.3%	896 100.0%

II - [A] - 5

塾などの民間教育施設は、学校週5日制の拡充に伴う「受け皿」としての役割の一端を担うことができると思う。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかとい えばそう思 う	3. どちらかとい えばそう思 わない	4. そう思わ ない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	19 8.2%	106 45.9%	87 37.7%	19 8.2%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	4 4.5%	41 46.6%	34 38.6%	9 10.2%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	22 5.1%	201.5 46.4%	168.5 38.8%	39 9.0%	3 0.7%	434 100.0%
4. 町村	8 5.7%	62 44.3%	54 38.6%	13 9.3%	3 2.1%	140 100.0%
回答無	0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	53 5.9%	411.5 45.9%	345.5 38.6%	80 8.9%	6 0.7%	896 100.0%

II - [A] - 6

いわゆるダブル・スクール現象は積極的に評価されてよい。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかとい えばそう思 う	3. どちらかとい えばそう思 わない	4. そう思わ ない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	13 5.6%	43 18.6%	142 61.5%	33 14.3%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	0.0%	21 23.9%	57 64.8%	9 10.2%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	5 1.2%	109 25.1%	259 59.7%	53 12.2%	8 1.8%	434 100.0%
4. 町村	4 2.9%	22 15.7%	88 62.9%	21 15.0%	5 3.6%	140 100.0%
回答無	0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	22 2.5%	197 22.0%	547 61.0%	116 12.9%	14 1.6%	896 100.0%

II-[A]-7

学校における生徒補導は、PTAなどの地域パトロールに期待するところが大きい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	14 6.1%	83 35.9%	98 42.4%	36 15.6%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	7 8.0%	32 36.4%	40 45.5%	8 9.1%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	45 10.4%	179 41.2%	171 39.4%	37 8.5%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	13 9.3%	56 40.0%	59 42.1%	10 7.1%	2 1.4%	140 100.0%
回答無	0.0%	3 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	79 8.8%	353 39.4%	368 41.1%	91 10.2%	5 0.6%	896 100.0%

II-[B]-8

体育・音楽・美術などの教科の指導に際しては、できるだけ民間の専門家の協力を求めた方がよい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	15 6.5%	88 38.1%	94 40.7%	33 14.3%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	5 5.7%	29 33.0%	38 43.2%	16 18.2%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	44 10.1%	190 43.8%	155 35.7%	43 9.9%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	14 10.0%	58 41.4%	56 40.0%	12 8.6%	0.0%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	79 8.8%	365 40.7%	344 38.4%	105 11.7%	3 0.3%	896 100.0%

II-[B]-9

校外ボランティアを教育委員会に登録し、学校教育の領域でも積極的に活用すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	55 23.8%	140 60.6%	28 12.1%	6 2.6%	2 0.9%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	17 19.3%	55 62.5%	11 12.5%	5 5.7%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	108 24.9%	281 64.7%	38 8.8%	4 0.9%	3 0.7%	434 100.0%
4. 町村	40 28.6%	87 62.1%	12 8.6%	0.0%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	2 66.7%	1 33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	222 24.8%	564 62.9%	89 9.9%	15 1.7%	6 0.7%	896 100.0%

II-[B]-10

国際理解学習の拡充のためには外国人留学生など民間人の貢献が不可欠である。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	48 20.8%	146 63.2%	34 14.7%	2 0.9%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	14 15.9%	53 60.2%	18 20.5%	3 3.4%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	72 16.6%	266 61.3%	82 18.9%	12 2.8%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	15 10.7%	87 62.1%	32 22.9%	5 3.6%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	0.0%	3 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	149 16.6%	555 61.9%	166 18.5%	22 2.5%	4 0.4%	896 100.0%

II-[B]-11

場合によっては、塾や予備校の講師が学校で教えることがあってもよい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	22 9.5%	106 45.9%	73 31.6%	30 13.0%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	6 6.8%	37 42.0%	26 29.5%	19 21.6%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	34 7.8%	171 39.4%	155 35.7%	70 16.1%	4 0.9%	434 100.0%
4. 町村	14 10.0%	57 40.7%	49 35.0%	20 14.3%	0.0%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	77 8.6%	372 41.5%	304 33.9%	139 15.5%	4 0.4%	896 100.0%

II-[B]-12

生徒相談はスクール・カウンセラーなど民間の専門家に期待するところが多い。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	71 30.7%	110 47.6%	46 19.9%	4 1.7%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	25 28.4%	45 51.1%	14 15.9%	3 3.4%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	111 25.6%	210 48.4%	95 21.9%	16 3.7%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	30 21.4%	63 45.0%	39 27.9%	8 5.7%	0.0%	140 100.0%
回答無	0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	237 26.5%	430 48.0%	195 21.8%	31 3.5%	3 0.3%	896 100.0%

II - [B] - 13

教員免許状がなくても、地域や民間の専門家が外部講師として大いに活用されてよい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	63 27.3%	123 53.2%	37 16.0%	8 3.5%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	24 27.3%	46 52.3%	11 12.5%	6 6.8%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	98 22.6%	269 62.0%	53 12.2%	12 2.8%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	33 23.6%	79 56.4%	24 17.1%	4 2.9%	0.0%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	219 24.4%	519 57.9%	125 14.0%	30 3.3%	3 0.3%	896 100.0%

II - [C] - 14

「プール指導」は原則として民間の水泳教室やスイミング・クラブに委託した方がよい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	32 13.9%	88 38.1%	73 31.6%	33 14.3%	5 2.2%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	8 9.1%	27 30.7%	38 43.2%	15 17.0%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	70 16.1%	123 28.3%	186 42.9%	51 11.8%	4 0.9%	434 100.0%
4. 町村	14 10.0%	50 35.7%	50 35.7%	24 17.1%	2 1.4%	140 100.0%
回答無	0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	124 13.8%	289 32.3%	348 38.8%	124 13.8%	11 1.2%	896 100.0%

II - [C] - 15

補習授業に際しては、塾や予備校の援助を
うけることがあってよい。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらか といえばそう思 う	3. どちらか といえばそう思 わない	4. そう思わ ない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	27 11.7%	110 47.6%	61 26.4%	31 13.4%	2 0.9%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	5 5.7%	37 42.0%	31 35.2%	15 17.0%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	24 5.5%	173 39.9%	165 38.0%	70 16.1%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	4 2.9%	55 39.3%	62 44.3%	18 12.9%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	60 6.7%	376 42.0%	320 35.7%	135 15.1%	5 0.6%	896 100.0%

II - [C] - 16

高校では予備校の通信衛星授業が利用さ
れてよい。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらか といえばそう思 う	3. どちらか といえばそう思 わない	4. そう思わ ない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	25 10.8%	109 47.2%	69 29.9%	22 9.5%	6 2.6%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	8 9.1%	42 47.7%	23 26.1%	13 14.8%	2 2.3%	88 100.0%
3. 上記以外の市	47 10.8%	212 48.8%	118 27.2%	47 10.8%	10 2.3%	434 100.0%
4. 町村	13 9.3%	70 50.0%	41 29.3%	12 8.6%	4 2.9%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	94 10.5%	434 48.4%	251 28.0%	95 10.6%	22 2.5%	896 100.0%

II - [C] - 17

公立学校における外国人子弟の教育に際しては、民間の教育機関やスタッフの協力が不可欠である。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	53 22.9%	135 58.4%	27 11.7%	2 0.9%	14 6.1%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	18 20.5%	53 60.2%	14 15.9%	0 0.0%	3 3.4%	88 100.0%
3. 上記以外の市	117 27.0%	260 59.9%	39 9.0%	6 1.4%	12 2.8%	434 100.0%
4. 町村	32 22.9%	90 64.3%	15 10.7%	1 0.7%	2 1.4%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
総計	221 24.7%	539 60.2%	95 10.6%	10 1.1%	31 3.5%	896 100.0%

II - [C] - 18

民間の機関や施設と提携して、勤労体験学習を積極的に推進すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	100 43.3%	111 48.1%	15 6.5%	3 1.3%	2 0.9%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	34 38.6%	44 50.0%	9 10.2%	1 1.1%	0 0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	199 45.9%	206 47.5%	22 5.1%	1 0.2%	6 1.4%	434 100.0%
4. 町村	69 49.3%	60 42.9%	8 5.7%	1 0.7%	2 1.4%	140 100.0%
回答無	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
総計	404 45.1%	422 47.1%	54 6.0%	6 0.7%	10 1.1%	896 100.0%

II - [C] - 19

セカンド・スクール(移動学校・移動教室)の実施にあたっては、民間の教育機関や施設との提携も望まれる。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	68 29.4%	139 60.2%	16 6.9%	6 2.6%	2 0.9%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	15 17.0%	61 69.3%	9 10.2%	2 2.3%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	122 28.1%	264 60.8%	36 8.3%	7 1.6%	5 1.2%	434 100.0%
4. 町村	37 26.4%	87 62.1%	12 8.6%	2 1.4%	2 1.4%	140 100.0%
回答無	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
総計	244 27.2%	552 61.6%	73 8.1%	17 1.9%	10 1.1%	896 100.0%

II - [C] - 20

スポーツ・芸術領域で才能豊かな生徒は、民間のクラブや団体に委託して、特別な教育・訓練が受けられるように公費で措置すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	49 21.2%	114 49.4%	49 21.2%	17 7.4%	2 0.9%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	24 27.3%	35 39.8%	22 25.0%	6 6.8%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	91.5 21.1%	175.5 40.4%	130 30.0%	31 7.1%	6 1.4%	434 100.0%
4. 町村	18 12.9%	70 50.0%	42 30.0%	7 5.0%	3 2.1%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
総計	183.5 20.5%	394.5 44.0%	244 27.2%	62 6.9%	12 1.3%	896 100.0%

II - [C] -21

高校と専修学校・各種学校との単位の互換制度はさらに
拡充される必要がある。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかと いえばそう思 う	3. どちらかと いえばそう思 わない	4. そう思わ ない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	49 21.2%	116 50.2%	54 23.4%	7 3.0%	5 2.2%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	15 17.0%	42 47.7%	24 27.3%	5 5.7%	2 2.3%	88 100.0%
3. 上記以外の市	73 16.8%	270 62.2%	65 15.0%	13 3.0%	13 3.0%	434 100.0%
4. 町村	25 17.9%	92 65.7%	16 11.4%	2 1.4%	5 3.6%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	163 18.2%	521 58.1%	160 17.9%	27 3.0%	25 2.8%	896 100.0%

II - [C] -22

中学校についても、学校外における学習成果(英検・漢字検など)が教科
活動の一部として認定されてもよい。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかと いえばそう思 う	3. どちらかと いえばそう思 わない	4. そう思わ ない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	48 20.8%	120.5 52.2%	47 20.3%	12.5 5.4%	3 1.3%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	18 20.5%	42 47.7%	22 25.0%	6 6.8%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	75 17.3%	213 49.1%	117 27.0%	25 5.8%	4 0.9%	434 100.0%
4. 町村	18 12.9%	76 54.3%	39 27.9%	6 4.3%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	160 17.9%	453.5 50.6%	225 25.1%	49.5 5.5%	8 0.9%	896 100.0%

II - [C] - 23

塾などの民間教育施設における教育も、一定の条件さえ満たせば、フォーマルなものとして認められてよい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	11 4.8%	65.5 28.4%	109.5 47.4%	40 17.3%	5 2.2%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	3 3.4%	25 28.4%	45 51.1%	14 15.9%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	19 4.4%	117 27.0%	228 52.5%	65 15.0%	5 1.2%	434 100.0%
4. 町村	5 3.6%	38 27.1%	73 52.1%	22 15.7%	2 1.4%	140 100.0%
回答無	0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	38 4.2%	246.5 27.5%	456.5 50.9%	142 15.8%	13 1.5%	896 100.0%

II - [C] - 24

学校掃除には教育的な意味があり、業者に委託することは望ましくない。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	78 33.8%	104 45.0%	38 16.5%	9 3.9%	2 0.9%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	36 40.9%	36 40.9%	12 13.6%	4 4.5%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	188 43.3%	173 39.9%	53 12.2%	14 3.2%	6 1.4%	434 100.0%
4. 町村	59 42.1%	61 43.6%	16 11.4%	3 2.1%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	361 40.3%	376 42.0%	120 13.4%	30 3.3%	9 1.0%	896 100.0%

II - [C] -25

不登校児に対する教育に関しては、塾など民間教育施設に期待するところが大きい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	24 10.4%	101 43.7%	88 38.1%	16 6.9%	2 0.9%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	6 6.8%	37 42.0%	38 43.2%	7 8.0%	0 0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	41 9.4%	183 42.2%	169 38.9%	34 7.8%	7 1.6%	434 100.0%
4. 町村	13 9.3%	54.5 38.9%	54.5 38.9%	16 11.4%	2 1.4%	140 100.0%
回答無	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
総計	84 9.4%	376.5 42.0%	350.5 39.1%	74 8.3%	11 1.2%	896 100.0%

II - [D] -26

進路指導にあたっては、塾や予備校の進学・受験情報を大いに活用するべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	51 22.1%	97 42.0%	61 26.4%	22 9.5%	0 0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	10 11.4%	40 45.5%	28 31.8%	10 11.4%	0 0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	46 10.6%	161 37.1%	172 39.6%	54 12.4%	1 0.2%	434 100.0%
4. 町村	16 11.4%	56 40.0%	55 39.3%	11 7.9%	2 1.4%	140 100.0%
回答無	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
総計	123 13.7%	356 39.7%	317 35.4%	97 10.8%	3 0.3%	896 100.0%

II - [D] - 27

いわゆる業者テストには効用が有り、一定の条件付で、学校が利用するのは構わないと思う。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	64 27.7%	138 59.7%	23 10.0%	6 2.6%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	23 26.1%	57 64.8%	6 6.8%	1 1.1%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	119 27.4%	268 61.8%	43 9.9%	4 0.9%	0.0%	434 100.0%
4. 町村	38 27.1%	93 66.4%	6 4.3%	2 1.4%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	245 27.3%	558 62.3%	78 8.7%	13 1.5%	2 0.2%	896 100.0%

II - [D] - 28

ケースによっては、学内テストの採点を一括して業者に委託することが考えられてもよい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	19 8.2%	68 29.4%	88 38.1%	56 24.2%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	4 4.5%	38 43.2%	27 30.7%	19 21.6%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	54 12.4%	154 35.5%	142 32.7%	84 19.4%	0.0%	434 100.0%
4. 町村	16 11.4%	44 31.4%	57 40.7%	22 15.7%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	3 100.0%
総計	93 10.4%	304 33.9%	315 35.2%	183 20.4%	1 0.1%	896 100.0%

II - [D] - 29

補助教材やテストは業者の作成にかかるものを利用した方がよいと思う。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	12 5.2%	75.5 32.7%	114 49.4%	29.5 12.8%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	5 5.7%	39 44.3%	37 42.0%	7 8.0%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	35 8.1%	176 40.6%	189 43.5%	32 7.4%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	10 7.1%	62.5 44.6%	55.5 39.6%	11 7.9%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	0.0%	2 66.7%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	63 7.0%	353 39.4%	397.5 44.4%	79.5 8.9%	3 0.3%	896 100.0%

II - [D] - 30

入試に際しては、ボランティア活動など学校外における活動が考慮されてよい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	40 17.3%	133 57.6%	45 19.5%	12 5.2%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	10 11.4%	62 70.5%	13 14.8%	3 3.4%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	89 20.5%	261 60.1%	71 16.4%	13 3.0%	0.0%	434 100.0%
4. 町村	38 27.1%	66 47.1%	31 22.1%	4 2.9%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	3 100.0%
総計	177 19.8%	522 58.3%	161 18.0%	34 3.8%	2 0.2%	896 100.0%

II - [E] -31

部活動はほんらい各学校で行われるべきものではなく、地域の教育・文化・スポーツ活動の一環として位置づけられることが望ましい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	39 16.9%	56 24.2%	94 40.7%	42 18.2%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	5 5.7%	28 31.8%	36 40.9%	19 21.6%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	83 19.1%	124 28.6%	161 37.1%	65 15.0%	1 0.2%	434 100.0%
4. 町村	32 22.9%	40 28.6%	50 35.7%	17 12.1%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	0.0%	2 66.7%	0.0%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	159 17.7%	250 27.9%	341 38.1%	144 16.1%	2 0.2%	896 100.0%

II - [E] -32

学校教育上、部活動はきわめて重要な役割を果たしており、今後も存続させるべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	103 44.6%	85 36.8%	34 14.7%	9 3.9%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	42 47.7%	37 42.0%	7 8.0%	2 2.3%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	182 41.9%	168 38.7%	60 13.8%	23 5.3%	1 0.2%	434 100.0%
4. 町村	47 33.6%	69 49.3%	16 11.4%	7 5.0%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	375 41.9%	361 40.3%	117 13.1%	41 4.6%	2 0.2%	896 100.0%

Ⅱ - [E] -33

部活動はほんらい学校の役割とはいえ、
徐々に縮小すべきだと思う。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかとい えばそう思 う	3. どちらかとい えばそう思 わない	4. そう思わ ない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	16 6.9%	39 16.9%	100 43.3%	76 32.9%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	8 9.1%	12 13.6%	35 39.8%	33 37.5%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	49 11.3%	93 21.4%	174 40.1%	118 27.2%	0.0%	434 100.0%
4. 町村	18 12.9%	36 25.7%	64 45.7%	21 15.0%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	91 10.2%	181 20.2%	374 41.7%	249 27.8%	1 0.1%	896 100.0%

Ⅱ - [E] -34

学校における部活動は原則として廃止し、地域や民間の
団体に委ねた方がよい。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかとい えばそう思 う	3. どちらかとい えばそう思 わない	4. そう思わ ない	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	16 6.9%	33 14.3%	74 32.0%	108 46.8%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	6 6.8%	10 11.4%	32 36.4%	40 45.5%	88 100.0%
3. 上記以外の市	40 9.2%	82 18.9%	147 33.9%	165 38.0%	434 100.0%
4. 町村	15 10.7%	27 19.3%	53 37.9%	45 32.1%	140 100.0%
回答無	0.0%	0.0%	2 66.7%	1 33.3%	3 100.0%
総計	77 8.6%	152 17.0%	308 34.4%	359 40.1%	896 100.0%

II - [E] -35

現在のように学校単位で部活動を行うのではなく、地域の複数の学校が共同で実施するシステムが考えられてよい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	20 8.7%	99 42.9%	72 31.2%	40 17.3%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	7 8.0%	40 45.5%	27 30.7%	13 14.8%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	71 16.4%	215 49.5%	102 23.5%	45 10.4%	1 0.2%	434 100.0%
4. 町村	31 22.1%	67 47.9%	30 21.4%	11 7.9%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	0.0%	3 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	129 14.4%	424 47.3%	231 25.8%	109 12.2%	3 0.3%	896 100.0%

II - [E] -36

部活動の指導者として、地域や民間の専門家を積極的に活用すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	67 29.0%	113 48.9%	34 14.7%	14 6.1%	3 1.3%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	22 25.0%	45 51.1%	13 14.8%	6 6.8%	2 2.3%	88 100.0%
3. 上記以外の市	125 28.8%	233.5 53.8%	62 14.3%	7.5 1.7%	6 1.4%	434 100.0%
4. 町村	41.5 29.6%	74.5 53.2%	13.5 9.6%	7.5 5.4%	3 2.1%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	256.5 28.6%	467 52.1%	123.5 13.8%	35 3.9%	14 1.6%	896 100.0%

II - [E] -37

部活や生徒会のリーダーには民間の機関や施設で研修を受ける機会が与えられた方がよい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	43 18.6%	120 51.9%	51 22.1%	10 4.3%	7 3.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	17 19.3%	59 67.0%	8 9.1%	2 2.3%	2 2.3%	88 100.0%
3. 上記以外の市	68 15.7%	247 56.9%	87 20.0%	15 3.5%	17 3.9%	434 100.0%
4. 町村	29 20.7%	71 50.7%	32 22.9%	4 2.9%	4 2.9%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	158 17.6%	497 55.5%	179 20.0%	32 3.6%	30 3.3%	896 100.0%

II - [F] -38

学校の警備や施設・設備の管理は原則として全面的に民間に委託すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	86 37.2%	91 39.4%	40 17.3%	13 5.6%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	27 30.7%	34 38.6%	18 20.5%	8 9.1%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	143 32.9%	198 45.6%	78 18.0%	13 3.0%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	51 36.4%	58.5 41.8%	24.5 17.5%	5 3.6%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	308 34.4%	381.5 42.6%	161.5 18.0%	40 4.5%	5 0.6%	896 100.0%

II - [F] - 39

地域の教育・文化・スポーツ活動のために、学校の施設・設備をもっと積極的に開放すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかとい えばそう思 う	3. どちらかとい えばそう思 わない	4. そう思わ ない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	42 18.2%	109 47.2%	70 30.3%	10 4.3%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	9 10.2%	48 54.5%	28 31.8%	3 3.4%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	90 20.7%	246 56.7%	90 20.7%	6 1.4%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	37 26.4%	76 54.3%	26 18.6%	1 0.7%	0.0%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	179 20.0%	481 53.7%	214 23.9%	20 2.2%	2 0.2%	896 100.0%

II - [F] - 40

多様な教育活動を展開するために、民間の施設・設備をもっと活用すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公 共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかとい えばそう思 う	3. どちらかとい えばそう思 わない	4. そう思わ ない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京 23区	72 31.2%	144 62.3%	14 6.1%	0.0%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外 の県庁所在市	17 19.3%	66 75.0%	5 5.7%	0.0%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	132 30.4%	275 63.4%	22 5.1%	2 0.5%	3 0.7%	434 100.0%
4. 町村	43 30.7%	92.5 66.1%	4.5 3.2%	0.0%	0.0%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	2 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	265 29.6%	579.5 64.7%	45.5 5.1%	2 0.2%	4 0.4%	896 100.0%

II - [G]-41

教員研修に際しては民間の講師を大いに活用すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	94 40.7%	113 48.9%	19 8.2%	5 2.2%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	20 22.7%	56 63.6%	10 11.4%	2 2.3%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	147 33.9%	245 56.5%	37 8.5%	3 0.7%	2 0.5%	434 100.0%
4. 町村	47 33.6%	75.5 53.9%	16.5 11.8%	0.0%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	2 66.7%	1 33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	310 34.6%	490.5 54.7%	82.5 9.2%	10 1.1%	3 0.3%	896 100.0%

II - [G]-42

民間機関や施設での教員研修が積極的に推進されるべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	91 39.4%	117 50.6%	20 8.7%	3 1.3%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	17 19.3%	56 63.6%	13 14.8%	2 2.3%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	139 32.0%	244 56.2%	44 10.1%	4 0.9%	3 0.7%	434 100.0%
4. 町村	48 34.3%	67.5 48.2%	23.5 16.8%	0.0%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	2 66.7%	1 33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	297 33.1%	485.5 54.2%	100.5 11.2%	9 1.0%	4 0.4%	896 100.0%

II - [G]-43

教員養成の過程において民間での教育・訓練を制度化することが必要だと思う。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	58 25.1%	108 46.8%	57 24.7%	8 3.5%	0.0%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	10 11.4%	32 36.4%	36 40.9%	9 10.2%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	87 20.0%	207 47.7%	118 27.2%	19 4.4%	3 0.7%	434 100.0%
4. 町村	29 20.7%	58.5 41.8%	45.5 32.5%	6 4.3%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	1 33.3%	0.0%	3 100.0%
総計	185 20.6%	406.5 45.4%	256.5 28.6%	43 4.8%	5 0.6%	896 100.0%

II - [H]-44

小・中学校における給食指導は、教育活動の一環をなしており、学校給食は今後も原則として存続させる必要がある。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	65 28.1%	90 39.0%	52 22.5%	21 9.1%	3 1.3%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	26 29.5%	32 36.4%	22 25.0%	8 9.1%	0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	118 27.2%	207 47.7%	68 15.7%	36 8.3%	5 1.2%	434 100.0%
4. 町村	44 31.4%	63 45.0%	26 18.6%	7 5.0%	0.0%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0.0%	0.0%	3 100.0%
総計	254 28.3%	393 43.9%	169 18.9%	72 8.0%	8 0.9%	896 100.0%

II - [H] -45

高校ではもちろん、中学校でも可能な限り民間経営の食堂を設けるのが望ましい。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	44 19.0%	86 37.2%	71 30.7%	29 12.6%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	9 10.2%	25 28.4%	36 40.9%	18 20.5%	0 0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	52 12.0%	146.5 33.8%	167.5 38.6%	65 15.0%	3 0.7%	434 100.0%
4. 町村	12 8.6%	36 25.7%	63.5 45.4%	27.5 19.6%	1 0.7%	140 100.0%
回答無	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
総計	118 13.2%	295.5 33.0%	338 37.7%	139.5 15.6%	5 0.6%	896 100.0%

II - [H] -46

学校食堂・売店・カフェテリアなどは原則として民間に委託すべきものである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	74 32.0%	121 52.4%	26 11.3%	8 3.5%	2 0.9%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	15 17.0%	44 50.0%	20 22.7%	8 9.1%	1 1.1%	88 100.0%
3. 上記以外の市	114 26.3%	192 44.2%	85 19.6%	38 8.8%	5 1.2%	434 100.0%
4. 町村	36 25.7%	60 42.9%	27 19.3%	13 9.3%	4 2.9%	140 100.0%
回答無	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
総計	241 26.9%	418 46.7%	158 17.6%	67 7.5%	12 1.3%	896 100.0%

Ⅱ - [I] - 47

学校事務職を教職員の中の不可欠な人材として重視する立場から、民間(外部)委託の可能な分野については積極的に委託し、教務事務的な役割を拡大すべきである。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	63 27.3%	102 44.2%	51 22.1%	14 6.1%	1 0.4%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	14 15.9%	39 44.3%	25 28.4%	5 5.7%	5 5.7%	88 100.0%
3. 上記以外の市	92 21.2%	193 44.5%	95 21.9%	37 8.5%	17 3.9%	434 100.0%
4. 町村	24 17.1%	63 45.0%	33 23.6%	17 12.1%	3 2.1%	140 100.0%
回答無	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
総計	195 21.8%	398 44.4%	204 22.8%	73 8.1%	26 2.9%	896 100.0%

Ⅱ - [I] - 48

学校事務の民間(外部)委託の現状についてどのようにお考えですか。

I-2) 学校が所在する地方公共団体の種類	1. ほとんど外部委託せず、専任職員が担当している。	2. 人材派遣のみ活用している。	3. 定型的な業務の処理に関わる部分だけ民間(外部)委託している。	5. その他	回答無	総計
1. 政令指定都市・東京23区	178.5 77.3%	20 8.7%	24.5 10.6%	5 2.2%	3 1.3%	231 100.0%
2. 政令指定都市以外の県庁所在市	79.5 90.3%	2 2.3%	5.5 6.3%	1 1.1%	0 0.0%	88 100.0%
3. 上記以外の市	388.5 89.5%	17.5 4.0%	15 3.5%	8 1.8%	5 1.2%	434 100.0%
4. 町村	130 92.9%	4 2.9%	2 1.4%	2 1.4%	2 1.4%	140 100.0%
回答無	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
総計	778.5 86.9%	43.5 4.9%	48 5.4%	16 1.8%	10 1.1%	896 100.0%

V 平成24年調査の調査票

学校と学校外教育セクターの連携・協力に関する調査

— 校長 調査 票 —

お願い

日頃国立教育政策研究所の調査研究にご協力いただき、誠にありがとうございます。調査のお願いでございます。

本研究所では、外部人材等の活用を進め、力のある学校づくりを促進するには、今後の学校組織、運営をどう改善するか、また、そのためには、今後どのようなスタッフ等がどのように整備されたらよいか、あるいは、外部セクターとの連携協力をどう考え、どのような運用を考えたら良いか等々について、調査研究を進めております。アンケート用紙は、平成6年に実施されました科学研究費に基づく調査研究（研究代表者：国研次長〈当時〉市川昭午）の際のものを用い、17年間の変化を解明することも想定しています。

校長という重責を担われご多用中であることは重々承知しておりますが、学校運営の改善を通じて、どのように質の高い、信頼される学校を構築するかという課題は、国の直面する重要課題の一つになっています。

しばらくお時間をいただき、ご回答いただければ幸いです。

なお、ご回答は統計的にのみ処理され、どなたがどのように回答されたかについては公表いたしません。なお、集計結果については、作業が終了し次第、本研究所のHPで公表する予定です。

ご多用中はなはだ恐縮ですが、この調査の趣旨を理解され、ご回答いただければ幸いです。ご回答は、同封の封筒に入れ**8月末まで**にご返送ください。

*返送先は、本研究所と異なった機関、住所となっておりますが、発送や回収の作業スペースの不足のため、外部委託していることによります。この調査は、本研究所によるものに間違いございません。

2012年8月10日

<調査責任者> 〒100-8951 東京都千代田区霞が関3-2-2

国立教育政策研究所・教育政策・評価研究部 部長

葉養（はよう）正明 Tel:03-6733-6940

Fax:03-6733-6947

e-mail:hayo@nier.go.jp

I. あなたご自身および勤務校について、該当する番号を○で囲んでください。なお、以下の回答では、とくに記載する場合以外は、2012年5月1日現在でお答えください。

1) 勤務校の種類

1. 公 立
2. 私 立

2) 学校が所在する地方公共団体の種類

1. 政令指定都市・東京23区
2. 政令指定都市以外の県庁所在市
3. 上記以外の市
4. 町村

3) 性 別

1. 男
2. 女

4) 年 齢

1. 45歳未満
2. 45歳～50歳未満
3. 50歳～55歳未満
4. 55歳～60歳未満
5. 60歳以上

5) 校長としての在職年数

1. 1年未満
2. 1年～3年未満
3. 3年～5年未満
4. 5年～7年未満
5. 7年以上

6) 学級数 (特別支援学級は含まない)

1. 3学級以下
2. 4学級～11学級
3. 12学級～17学級
4. 18学級～23学級
5. 24学級以上

7) コミュニティ・スクールとしての指定

- 1, 指定されている。
- 2, 指定されていない。

II. それでは、学校と学校外教育セクターとの連携や協力の可能と限界にかかわっておたずねします。以下のことについて、どのようにお考えですか。該当する番号に○印をつけて下さい。

なお、設問中に「学校」とあるのは、もっぱら中学校を意識してお答え下さい。

そ う 思 う	ど ち う ら 思 わ か う と い え ば	ど ち う ら 思 わ か な い と い え ば	そ う 思 わ な い
------------------	--	---	----------------------------

[A] 学校の役割や任務と関連して

1. わが国の学校は多くの役割・任務を引き受けすぎており、「守備範囲」を縮小すべきである。

..... 1 — 2 — 3 — 4

2. 現在、学校が担っている役割や任務のなかには、民間の機関や団体に委ねられる事柄が少なくない。

1 — 2 — 3 — 4

3. 学校と塾は協同できる面があると思う。

..... 1 — 2 — 3 — 4

4. 塾や予備校はわが国の教育において、きわめて大きな役割を果たしていると思う。

..... 1 — 2 — 3 — 4

5. 塾などの民間教育施設は、学校週5日制の拡充に伴う「受け皿」としての役割の一端を担うことができると思う。

..... 1 — 2 — 3 — 4

6. いわゆるダブル・スクール現象は積極的に評価されてよい。

- 1 — 2 — 3 — 4
7. 学校における生徒補導は、PTAなどの地域パトロールに期待するところが大きい。
..... 1 — 2 — 3 — 4

[B] 学校教育への民間人の活用と関連して

8. 体育・音楽・美術などの教科の指導に際しては、できるだけ民間の専門家の協力を求めた方がよい。

1 — 2 — 3 — 4

9. 校外ボランティアを教育委員会に登録し、学校教育の領域でも積極的に活用すべきである。

..... 1 — 2 — 3 — 4

10. 国際理解学習の拡充のためには外国人留学生など民間人の貢献が不可欠である。

..... 1 — 2 — 3 — 4

11. 場合によっては、塾や予備校の講師が学校で教えることがあってもよい。

..... 1 — 2 — 3 — 4

12. 生徒相談はスクール・カウンセラーなど民間の専門家に期待するところが大きい。

..... 1 — 2 — 3 — 4

13. 教員免許状がなくても、地域や民間の専門家が外部講師として大いに活用されてよい。

..... 1 — 2 — 3 — 4

そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------

[C] 教科の指導や教育活動と関連して

14. 「プール指導」は原則として民間の水泳教室やスイミング・クラブに委託した方がよい。
..... 1 — 2 — 3 — 4
15. 補習授業に際しては、塾や予備校の援助をうけることがあってよい。
..... 1 — 2 — 3 — 4
16. 高校では予備校の通信衛星授業が利用されてよい。
..... 1 — 2 — 3 — 4
17. 公立学校における外国人子弟の教育に際しては、民間の教育機関やスタッフの協力が不可欠である。
..... 1 — 2 — 3 — 4
18. 民間の機関や施設と提携して、勤労体験学習を積極的に推進すべきである。
..... 1 — 2 — 3 — 4
- 4 19. セカンド・スクール（移動学校・移動教室）の実施にあたっては、民間の教育機関や施設との提携も望まれる。
..... 1 — 2 — 3 — 4
20. スポーツ・芸術領域で才能豊かな生徒は、民間のクラブや団体に委託して、特別な教育・訓練が受けられるように公費で措置すべきである。
..... 1 — 2 — 3 — 4
21. 高校と専修学校・各種学校との単位の互換制度はさらに拡充される必要がある。
..... 1 — 2 — 3 — 4
22. 中学校についても、学校外における学習成果（英検・漢字検など）が教科活動の一部として認定されてもよい。
..... 1 — 2 — 3 — 4
23. 塾などの民間教育施設における教育も、一定の条件さえ満たせば、フォーマルなものとして認められてよい。
..... 1 — 2 — 3 — 4
24. 学校掃除には教育的な意味があり、業者に委託することは望ましくない。
..... 1 — 2 — 3 — 4
25. 不登校児に対する教育に関しては、塾など民間教育施設に期待するところが大きい。
..... 1 — 2 — 3 — 4

そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い
------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------

[D] 進路指導・入試・テストなどに関連して

26. 進路指導にあたっては、塾や予備校の進学・受験情報を大いに活用するべきである。
 1 — 2 — 3 — 4
27. いわゆる業者テストには効用が有り、一定の条件付で、学校が利用するのは構わないと思う。
 1 — 2 — 3 — 4
28. ケースによっては、学内テストの採点を一括して業者に委託することが考えられてもよい。
 1 — 2 — 3 — 4
29. 補助教材やテストは業者の作成にかかるものを利用した方がよいと思う。
 1 — 2 — 3 — 4
30. 入試に際しては、ボランティア活動など学校外における活動が考慮されてよい。
 1 — 2 — 3 — 4

[E] 部活動と関連して

31. 部活動はほんらい各学校で行われるべきものではなく、地域の教育・文化・スポーツ活動の一環として位置づけられることが望ましい。
 1 — 2 — 3 — 4
32. 学校教育上、部活動はきわめて重要な役割を果たしており、今後も存続させるべきである。
 1 — 2 — 3 — 4
33. 部活動はほんらい学校の役割とはいえ、徐々に縮小すべきだと思う。
 1 — 2 — 3 — 4
34. 学校における部活動は原則として廃止し、地域や民間の団体に委ねた方がよい。
 1 — 2 — 3 — 4
35. 現在のように学校単位で部活動を行うのではなく、地域の複数の学校が共同で実施するシステムが考えられてよい。
 1 — 2 — 3 — 4
36. 部活動の指導者として、地域や民間の専門家を積極的に活用すべきである。
 1 — 2 — 3 — 4
37. 部活や生徒会のリーダーには民間の機関や施設で研修をうける機会が与えられた方がよい。
 1 — 2 — 3 — 4

そ
う
思
う

ど
ち
ら
か
と
い
え
ば

ど
ち
ら
か
と
い
え
ば

そ
う
思
わ
な
い

[F] 学校施設・設備の管理や利用と関連して

38. 学校の警備や施設・設備の管理は原則として全面的に民間に委託すべきである。
..... 1 — 2 — 3 — 4
39. 地域の教育・文化・スポーツ活動のために、学校の施設・設備をもっと積極的に開放すべきである。
..... 1 — 2 — 3 — 4
40. 多様な教育活動を展開するために、民間の施設・設備をもっと活用すべきである。
..... 1 — 2 — 3 — 4

[G] 教員養成や教員研修と関連して

41. 教員研修に際しては民間の講師を大いに活用すべきである。
..... 1 — 2 — 3 — 4
42. 民間機関や施設での教員研修が積極的に推進されるべきである。
..... 1 — 2 — 3 — 4
43. 教員養成の過程において民間での教育・訓練を制度化することが必要だと思う。
..... 1 — 2 — 3 — 4

[H] 学校給食・食堂などに関連して

44. 小・中学校における給食指導は、教育活動の一環をなしており、学校給食は今後も原則として存続させる必要がある。
..... 1 — 2 — 3 — 4
45. 高校ではもちろん、中学校でも可能な限り民間経営の食堂を設けるのが望ましい。
..... 1 — 2 — 3 — 4
46. 学校食堂・売店・カフェテリアなどは原則として民間に委託すべきものである。
..... 1 — 2 — 3 — 4

[I]学校事務（図書館運営、給食・食堂、施設・設備の維持管理を除いた総務事務を指す）
に関連して

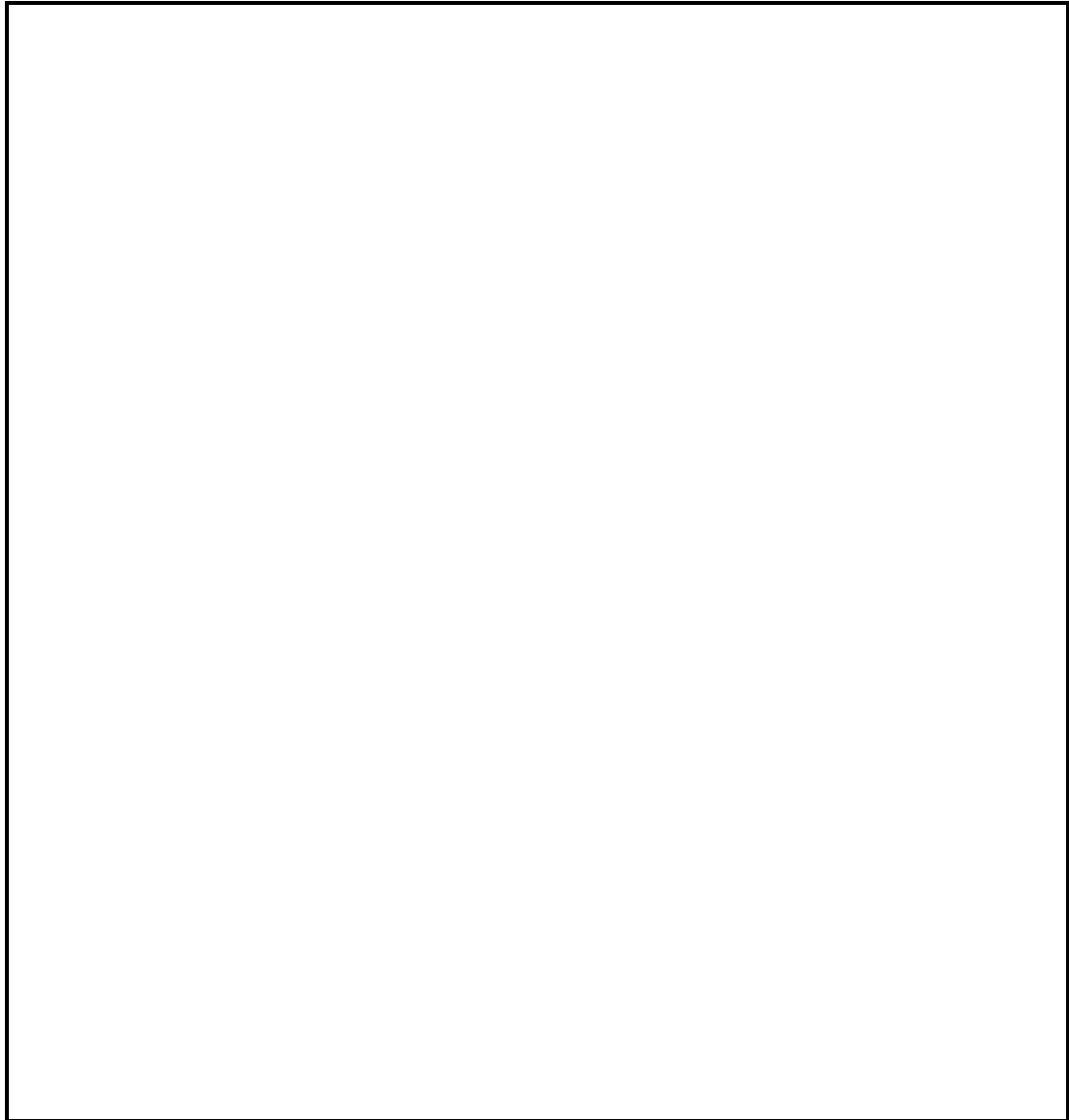
47、学校事務職を教職員の中の不可欠な人材として重視する立場から、民間（外部）委託の可能な分野については積極的に委託し、教務事務的な役割を拡大すべきである。

そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か わ た い え ば	そ う 思 わ な い
1	2	3	4

48、学校事務の民間（外部）委託の現状についてどのようにお考えですか。以下の選択肢のうち、該当する番号を○で囲んでください。

- ① ほとんど外部委託せず、専任職員が担当している。
- ② 人材派遣のみ活用している。
- ③ 定型的な業務の処理に関わる部分だけ民間（外部）委託している。
- ④ 業務の企画・実施を含めて、全面的に民間（外部）委託を活用している。
- ⑤ その他（具体的にお書きください）。

このテーマとかかわってご提言やご意見があれば、ぜひお聞かせ下さい。



— ご協力ありがとうございました —

学校教育における外部セクターとの連携・協力に関する公私立中学校長の意識
～ふたつの調査の対比による17年間の変化～

平成25（2013）年3月

発行者 国立教育政策研究所

住所 〒100-8951

東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

電話 03-6733-6833（代）